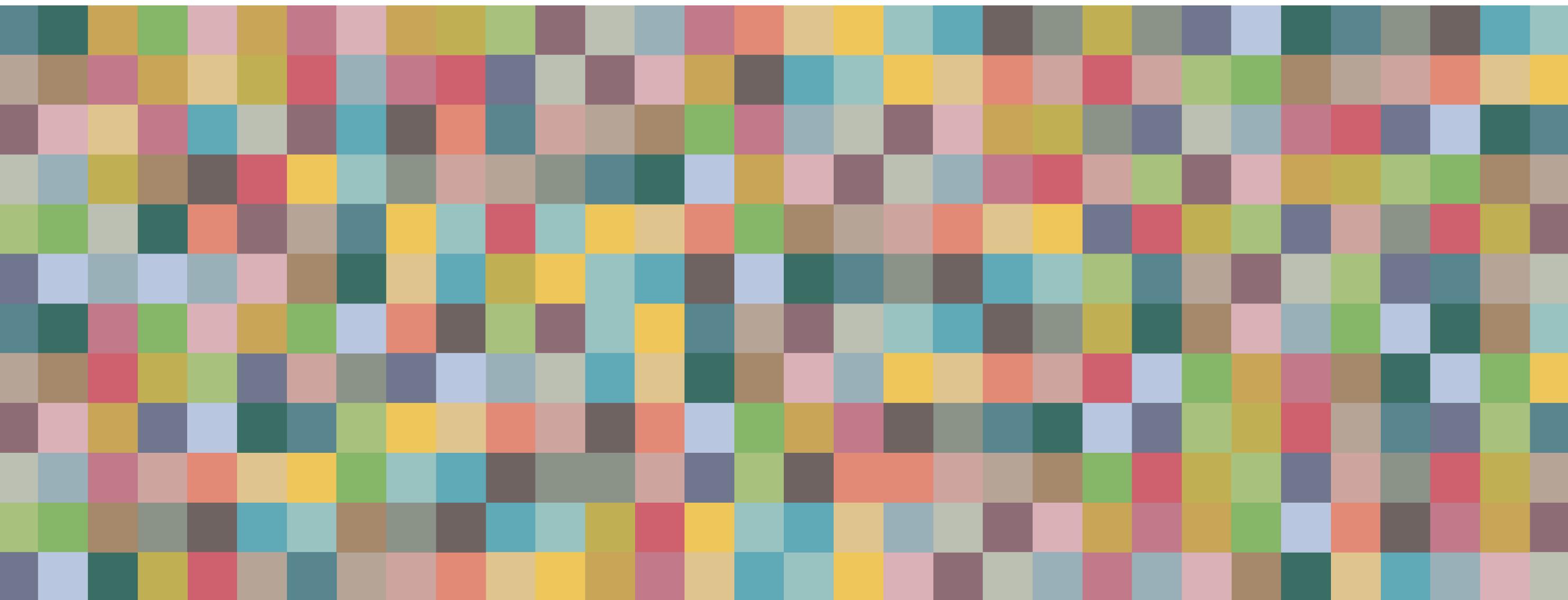


芦屋市

市民参画協働推進に関する
市民意識調査

調査結果報告書



2019年(平成31年)3月

芦屋市企画部市民参画課

目次

1 調査の概要	1
1-1. 調査目的	2
1-2. 調査項目	2
1-3. 調査の概要及び回収結果	3
1-4. 報告書の見方	3
2 調査結果まとめ	4
2-1. 調査結果まとめ概要	5
2-2. 調査結果要約	5
2-3. 人、活動、情報をつなげるための仕組みづくりについて	8
2-4. 新しいまちづくり人材の発掘、育成について	10
2-5. 市民参画協働施策について(前回調査比較)	10
3 調査結果	12
3-1. 回答者属性	13
3-2. 「お住まいの地域に対する意識」について	16
3-3. 「地域の人とのつながり」について	32
3-4. 「地域での活動との関わり」について	40
3-5. 「市民参画協働施策に対する意識・行動」について	72
4 調査票様式	88
4-1. 調査票(見本)	89

1

調査の概要

1-1 調査目的

芦屋市民の市民参画や協働についての意識や行動についての調査・分析を行い、『第3次芦屋市市民参画協働推進計画』策定の基となる情報を得ることを目的とし、調査を実施した。

1-2 調査項目

芦屋市の過去の市民意識調査および『第2次芦屋市市民参画協働推進計画』に定める成果目標(指標)と比較できるようにするため、前回の質問項目は残しつつ、「住んでいる地域に対する意識」「地域の人とのつながり」「地域での活動との関わり」の3つに注目し、構成の組み直しと新たな調査項目を追加した。

今回の調査項目の内訳は以下の通り。

1. 回答者属性	性別、年齢、居住地、居住歴、職業	問1～問5
2. 住んでいる地域に対する意識	住み心地について	問6～問7
	地域への関心について	問8～問11
	気になることや必要に思うことについて	問12～問13
3. 地域の人とのつながり	関わりの現状について	問14～問15
	関わることにする考えについて	問16～問17
4. 地域での活動との関わり	地域の活動への参加状況とそれに対する考えについて	問18～問26
	地域にとらわれない活動への参加状況とそれに対する考えについて	問27～問33
5. 市民参画協働施策に対する意識・行動	行政から提供される機会について	問34
	行政から提供される情報について	問35～問37
	市民参画協働全般に対する考えについて	問38～問41

1-3 調査の概要及び回収結果

対象	芦屋市内の18歳以上の男女2000名
方法	郵送法による調査票・ ウェブアンケートフォーム(調査票記載QRコードより)で回答
期間	22日間(2019年2月22日～3月15日)
対象者数	2000名
有効回答数	889名
有効回答率	44.45%
調査主体	芦屋市企画部市民参画課
委託調査機関	株式会社ライフデザイン阪急阪神

1-4 報告書の見方

- ・「n」は、各設問に答えた回答者の総数である。
- ・「SA」は1つ選択する設問、「MA」はあてはまるものすべてを選択する設問、「ML3」はあてはまるもの3つ以内を選択する設問である。
- ・「MA」「ML3」の設問については、各選択肢間での影響度を優先して見るために、回答者(889名)ではなく、その設問で選択された回答の合計値を分母として百分比(%)を出している。
- ・グラフ内の数字は特記のない限り、百分比(%)であり、小数点以下第2位を四捨五入して算出している。このため、百分比の合計値が100.0にならないことがある。
- ・文中のポイントの数字は特記のない限り、小数点以下第2位を四捨五入して算出している。
- ・基数が極端に小さい場合は、乖離が大きくても言及しない場合がある。
- ・「性・年齢別」のグラフについて、性別「自認の性」については基数が極端に少ないため、グラフで表していない場合がある。
- ・「性・年齢別」のグラフについて、ラベル名のみ記載があり、棒グラフの表示がないものは、該当する回答が無いものである。
- ・本報告書における若者の定義については、日本の若者向けの政策(『子供・若者育成支援推進大綱』(平成28年、内閣府))の対象年齢などを参考に、10～30歳代としている。

2

調査結果まとめ

2-1 調査結果まとめ概要

芦屋市では、「市民参画・協働による住みよいまちづくり」を目指すために、『第2次芦屋市市民参画協働推進計画』（平成26年）を定めている。「市民参画」とは、市民が市政に参加する意思を反映させることを目的として市の施策の企画・実施・評価の過程に関わることをいい、「協働」とは、市民や市がそれぞれの役割や責務を自覚しながら互いに尊重・補完・協力をすることを意味している。

すべての市民が市や地域をより良くする過程に関わることができる手段として、「考える」「情報を通わせる」「仕組みや制度を作る」「事業を行う」などの「まちづくり」に取り組む機会を持つことができるよう、情報発信や環境整備について「そだつ」「つながる」「すすむ」「ささえる」という指標を掲げ、市全体として市民参画協働の取組みを実施してきた。

そして、今回の調査では、市民が自分たちのまちに愛着を持ち、積極的に地域へ関わっていくために「住んでいる地域に対する意識」「地域の人とのつながり」「地域での活動との関わり」の3つを重要な要素と設定し、市民参画協働推進に関する市民の意識調査を行った。

本章では、今回の調査結果の要約を掲載するとともに、そこから見えてきた2つのキーワード「人、活動、情報をつなげるための仕組みづくり」「新しいまちづくり人材の発掘、育成」、そして、『第2次芦屋市市民参画協働推進計画』で設定した目標値の達成状況について記載する。

※なお、「1-4. 報告書の見方」に記載の通り、若者の定義は10～30歳代とする。

2-2 調査結果要約

「お住まいの地域に対する意識」について

ほぼすべての人が 住み心地を肯定的にとらえている (問6,7)

住み心地について肯定的な回答をしている人は90.8%おり、その理由は「交通の便」26.4%、「景観・環境」23.4%、「買い物の利便性」16.5%が上位3つとなっている。

70%を超える人が 地域に対して関心を持っている (問8,9)

地域に対して関心がある人は73%おり、性別で比較すると女性で割合が多く、年代で比較すると年代が上がるほど多くなる傾向がある。関心を持つ動機には「住み心地が良い」、「今後も住み続けたい」が特に多くみられる一方、関心がない理由としては「地域の人の関わり」や「地域の活動等への参加」が影響している。

地域の情報は半数以上が 市の広報紙から入手している (問11)

地域の情報の入手方法としては、「市の広報紙」とする回答者が60%と最も多く、「どこからも得ていない」とする回答者は8.9%となっている。「どこからも得ていない」とする回答者は、性別で比較すると女性に比べて男性で多く、年代別で比較すると20歳代で最も多く、年代が上がるにつれて割合は少なくなる傾向にある。

生活の中で気になることとして、 防犯、環境衛生、交通安全の割合が高い (問12)

身近な生活の中で気になることとしては、上位には「夜道の暗さや治安など防犯に関すること」15.1%、「ゴミ出しやポイ捨て、リサイクルなど環境衛生に関すること」13.9%、「迷惑駐車や駐輪、歩道や通学路など交通安全に関すること」13.8%が並ぶ。

情報提供や地域への住民の関心を高めることを求める声が多い (問13)

身近な生活の中で必要に思うこととしては、上位には「地域の細やかな情報が提供されること」18.1%、「住民一人ひとりが地域に対する関心を高めること」17.6%が並ぶ。

「地域の人とのつながり」について

80%以上の人、地域の人と日常的に挨拶を交わす以上の関わりがある (問14)

地域の人との関わりは、「近所の人の顔がわかり、会えば挨拶する」とする割合が最も多く(62.2%)、「全くつきあいが無い」は9.1%となっている。「全くつきあいが無い」とする回答は、男性で30歳代が33.3%と最も多く、女性で20歳代が21.6%となっており、男女ともに、40歳代以上では比較的割合が少なくなっている。

地域の人とお互いに気持ちよく過ごしたいという思いを持つ人が多い (問15)

関わりは「お互いに気持ちよく過ごしたい」が33.7%と特に多く、続いて「災害や病気など、いざという時に助け合いたい」が18.9%となっている。一方、ネガティブな理由としては「忙しく、関わっている時間が無い」が8.6%と最も多く、続いて「きっかけがない」7.3%、「特に理由はない」6.5%となっている。

ほぼすべての人が、地域の人との関わりを必要だと感じている (問16,17)

地域の人との関わりは「必要とする回答者は90.3%、不要は6.7%であり、大半が関わりを必要と答えている。その理由として、「お互いに気持ちよく過ごしたい」が38.8%と特に多く、続いて「災害や病気など、いざという時に助け合いたい」が38.1%となっている。ネガティブな理由としては「きっかけがない」が2.8%で最も多くなっている。

「地域での活動との関わり」について

地域の活動について

半数以上が地域の活動に参加しておらず、活動団体への所属率も低い (問18,19,20,21,24)

活動へ少なくとも年1回参加している人は35.9%、「全く参加していない」割合は59.8%となっており、半数以上が参加していない。参加している活動の上位には「地域行事や祭りなど、地域の伝統や、文化・芸術に関すること」22.7%、「ゴミ出しやポイ捨て、リサイクルなど環境衛生に関すること」18.3%、「健康づくりやスポーツに関すること」13.6%が並ぶ。活動への参加有無は、興味の有無や一緒に参加する仲間の有無が影響する。また、活動に関する情報の有無や時間的負担は、参加動機にはならないが不参加動機にはなっている。

活動団体への所属状況は、「どれにも所属していない」が最も多く(38.4%)、男女とも20歳代前後で多い傾向がある。

活動を行う機会・場所や、活動の参加者不足を感じている人が多い (問25,26)

また、地域で活動を行う機会・場所については、26.6%があると感じている一方、ないと感じている割合は31.8%となっている。さらに、活動に参加する人については、16.1%がいると感じている一方で、43.1%が不十分であると感じている。

約半数が今後、地域の活動への参加意向がある (問22,23)

活動への今後の参加意向は、49.3%がある一方、22.4%で参加意向がなく、「どちらでもない」は25%を占める。今後参加したい活動の上位には「健康づくりやスポーツに関すること」14.1%、「地域行事や祭りなど、地域の伝統や、文化・芸術に関すること」11.8%と自身の興味に基づくものが並び、現在参加している活動との相関関係はある程度みられる。

地域にとらわれない活動について

半数以上が活動に参加しておらず、参加有無は興味の有無が影響する (問27,28,30,31)

少なくとも年1回活動へ参加している人は34.5%、「全く参加していない」割合は57.5%となっており、半数以上が参加していない。参加している活動の種類は、「スポーツ(フィットネス・ダンスを含む)」が17.9%と最も多く、次いで「子ども・教育」8.9%、「交流・コミュニケーション」7.7%となっている。活動への参加有無は、興味の有無が影響しており、情報の有無や時間的負担は、参加動機にはならないが、不参加動機にはなっている。また、体力面での負担と人のつながりは参加動機になりうるが不参加動機にはなっていない。

活動の情報は友人・知人から得る人が多い (問29)

活動情報の取得方法については、「友人・知人」とする回答が最も多く32.9%を占め、次いで「チラシ・ポスター」19.6%、「情報コーナーや掲示板」9.6%、「雑誌・広報誌」9.2%となっている。

約40%の人が今後の活動への参加意向がある (問32,33)

活動への今後の参加意向は、42.8%がある一方で、23.3%が参加意向がない。「どちらでもない」は24.3%となっている。参加してみたい活動には、「スポーツ(フィットネス・ダンスを含む)」10.7%、「健康・福祉」7.8%、「具体的な活動内容はまだ考えていない」6.9%が上位に並ぶ。現在参加している/今後参加したい活動の1位はスポーツで共通である。現在参加していないものの、「文化・伝統」に興味がある人が、男性40歳代~70歳代以上でみられる。(約8~9%)

「市民参画協働施策に対する意識・行動」について

行政に求めるものとして、情報を得る機会や相談できる機会が多い (問34,35)

行政に求める機会については、回答の多い順に、「市民が地域社会への関心を高めるための情報を得る機会(地域住民の意識啓発)」29.7%、「市民が地域での活動について行政に相談できる機会(負担や不安の解消)」23.6%、「市民間の交流を促進する機会」18.9%、「研修や学習会など人材育成・スキルアップの場」17.2%、「その他」2%となっている。

行政からの市政に関する情報提供の充足度については、29%が情報提供はある程度できていると感じている一方、できていないと感じている割合は25%となっている。「どちらでもない」は41.4%と、最も回答が多くなっている。

70%の人がリードあしやについて知らないと回答している (問36-1)

リードあしやの認知度については、回答が多いものから順に「知らない」70%、「知っているが、行ったことがない」21.5%、「知っており、1、2回行ったことがある」3.7%、「知っており、何度も行ったことがある」2.9%となっている。「知らない」とする回答は男女とも、20歳代が最も多くなっている。

70%以上の人、パブリックコメント制度を知らず、認知度の成果目標に達していない (問36-2)

パブリックコメント制度の認知度については、回答が多いものから順に「知らない」75.4%、「知っているが、意見を提出したことがない」19.6%、「知っており、意見を提出したことがある」0.8%となっている。「知らない」とする回答は、男性では若い年代ほど多い傾向にあり、女性では50歳代(86.5%)、60歳代(80.5%)も多くなっている。

市民の声を市政に届ける機会が十分でないと感じている市民が多い (問37)

市民の声を市政に届ける機会の充足度については、機会があると感じている人は16.3%であり、「あまりそう思わない」は33.9%、「そう思わない」は11.1%となっている。「どちらでもない」とする回答は35.2%となっており、機会がないという回答に次いで多くなっている。

60%以上の人が、市民参画協働を必要に感じている (問38,39,40)

市民参画協働の要否については、62.6%が必要だと感じている一方、6.8%が必要がないと感じている。「どちらでもない」とする回答は23.7%となっており、必要だとする回答に次いで多くなっている。必要だと思う理由の上位には、「個別地域の課題解決や多様な市民ニーズに対応するため」27%、「市民、行政それぞれでは解決が難しい課題に対応するため」22.4%、「互いに協働する方が施策が円滑に実施されるため」18.5%が並ぶ。一方、不要だと思う理由は、「時間や手間がかかり非効率だから」14.9%、「事業に対する責任の所在がはっきりしないから」14.9%、「公的な事業は市が行うべきだから」14.2%となっている。

2-3 人、活動、情報をつなげるための仕組みづくりについて

人と人とのつながりのニーズ

人とのつながりに関しては、問14(関りの現状について)で、挨拶を交わす程度の関わりがあると答えた人が60%を超えており、問16(関りの要否について)によると90%以上の人が、地域の人との関わりを必要だと考えている。このことから、人とのつながりを必要に感じて実際に関わりを持っている人が一定数いる一方で、1/3程の人は必要だと感じながらも実際には関わりを持っていないことがわかる。人とのつながりが必要だと考える理由として、「お互いに気持ちよく過ごしたい」「災害や病気など、いざという時に助け合いたい」がともに約38%と特に多くなっていることから、**関わり方や関わり方に幅を持たせることや、災害や病気の際に地域の人とのつながりがセーフティネットとして機能することが求められている。**

地域情報の入手についての現状と課題

問11(地域情報の取得方法について)にみられるように、地域の情報は主に市の広報紙を介して取得されている。地域の情報が届いていないのは若い年代ほど多く、問8(地域への興味程度)で地域へ関心を持っている人が70%以上いる中で、若い年代ほど興味は少なくなる。このことから、問10(地域に関心が無い理由について)で地域の人との関わりや活動等への参加有無が影響しているという結果が出ていることに加えて、情報の有無についても、地域に対する興味の有無に関係していると思われる。地域の掲示板や情報コーナーでの情報取得のニーズが少なからずあることを踏まえ、これまでの紙媒体での情報基盤を充実しつつも、若い年代に身近なSNSやインターネットにおける情報発信や、**情報そのものに興味を持つきっかけづくりが必要と思われる。**

双方向からの情報発信のニーズ

また、問34(市民参画協働において行政に求める機会について)で「市民が地域社会への関心を高めるための情報を得る機会(地域住民の意識啓発)」が約30%と最も多い回答を得ている。問13(身近な生活で必要に思うことについて)の上位回答が「住民一人ひとりが地域に対する関心を高めること」や「地域の細やかな情報が提供されること」となっていることを踏まえると、**行政から情報提供だけではなく、地域内の情報共有を図る活動が必要である。**

さらに、問34で行政に求める機会について「市民が地域での活動について行政に相談できる機会(負担や不安の解消)」が2番目に多い23.6%の回答を得ている。また、問37(市政に対して市民の声を届ける機会の充足度について)では、「どちらでもない」または不十分さを感じている割合が多い結果となったが「リードあしや」や「パブリックコメント」の認知度が低いこともあり、既存の制度の周知や実施方法の工夫が必要であると考えられる。

人と活動のつながりの現状と課題

問18、27(地域での活動や地域にとらわれない活動への参加状況について)によると、「全く参加していない」とする割合がともに57%を超えており、半数以上が活動に参加していない状況にある。特に若い年代で活動への参加率は少なくなっている。また、「特に理由はない」が参加していない、という回答も多くみられ、そうした人が活動とのつながりを持つことが必要になってくると考えられる。問12(身近な生活の中で気になることについて)、問19、28(参加している活動の種類について)、問20、30(活動への参加理由について)、問21、31(活動への不参加理由について)等に注目すると、地域で気になっていることがそのまま参加している活動の内容に直結しているわけではないとみられ、活動への参加に大きく影響する要素は、その活動への興味の有無となっている。さらにこれは

地域の活動に限らず、地域にとらわれない活動においても、活動への参加有無は興味の有無や一緒に参加する仲間の有無が影響している。また、情報の有無や時間的負担は、参加動機にはならないが、不参加動機にはなっている。

問29(活動の情報の取得方法について)によると、人と人をつなぐきっかけとした活動への参加もみられ、知人・友人など人からの情報の有無が影響していると考えられることから、強制力のない環境で、すでに活動に参加している人や活動につながりを持っている人を起点として、活動を行う人口を増やしていくことも考えられる。

また、問22、32(今後の活動への参加意向について)によると約40~50%の人が活動の参加に前向きな回答をしている。問23、33(今後参加してみたい活動の種類について)にみられるように、健康やスポーツなど、自身の興味に基づくものが参加してみたい活動としてあがっているが、「具体的な活動内容はまだ考えていない」とする回答もある程度あり、そうした中間層に対して興味を掻き立てるような活動のバリエーションが求められると思われる。

以上のことから、市民参画協働を推進していくにあたり、市民が自分たちの地域により愛着を持ち、積極的に地域へ関わっていくためには、地域に住む人とその地域の人や活動、それらに関する情報をつなげていくための仕組みづくりが必要である。さらに、地域に対して関心のある人が多いが関わるきっかけが少ないという状況も踏まえると、**活動に参加しやすい環境(特にさまざまな興味に応えることができ、強制力の無いゆるやかな活動環境)を整備しつつ、人が人を呼ぶような、活動情報の発信の工夫が必要となると考えられる。**

新しいまちづくり人材の 2-4 発掘、育成について

地域の活動を行う人材不足の現状と課題

問24(所属している地域の活動団体について)にみられるように、いずれの活動団体にも所属していない人が最も多く、1/3程度となっている。特に若い年代でその傾向は強い。また、問26(活動に参加する人の充足度について)で、不十分だと感じている人が約40%、「どちらでもない」と感じている人が約30%みられる。

活動に参加する人が十分にいないとする回答と、活動への参加有無は相関があまりみられないが、参加者の充足度を「どちらでもない」と答えた人は、地域の活動団体に所属していない人(男性20歳代、女性30歳代)の回答が多い。

これらのことから、高齢化で活動する人が減少方向にあることを踏まえても、若者が次世代の活動をしていく必要はあると考えられ、そのためには前述の、地域や地域での取り組みに興味を持つきっかけや、地域のそうした情報とのつながりを、若者に対して拡充していくことが大切であると思われる。

将来を担う人物像の設定とアプローチの必要性

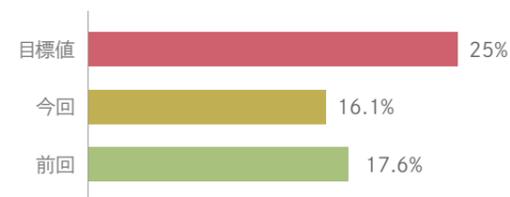
問25(活動を行う機会・場所の充足度について)において、機会や場所がないと感じている割合が30%程度となっており、活動を支える場所や機会の必要性は高い。「どちらでもない」という回答が20歳代で特に多くなっていることを踏まえると、活動する人材の発掘・育成に加えて、活動を支える場所や機会の充実と、活用できる場や機会についての情報が、広く市民に周知される必要があると考えられる。また、地域の活動や課題解決をする人について、単に「人がいない」とするのではなく、具体的な人材像の構築とその育成や、活動に参加しようと思える環境づくりも含めた若い年代へのアプローチを進める必要があると思われる。

市民参画協働施策に 2-5 ついて(前回調査比較)

前回調査(平成26年度)と今回調査の結果を比較し、市民参画協働施策に対する市民の意識や行動について分析を行う。『第2次芦屋市市民参画協働推進計画』に定められた、平成31年度末までに達成すべき目標値「成果目標(指標)」を踏まえ、市民意識調査に関連する3つの観点「<そだつ>に関する指標」、「<つながる>に関する指標」、「<すすむ>に関する指標」で比較分析を行うこととする。

<そだつ>に関する指標について

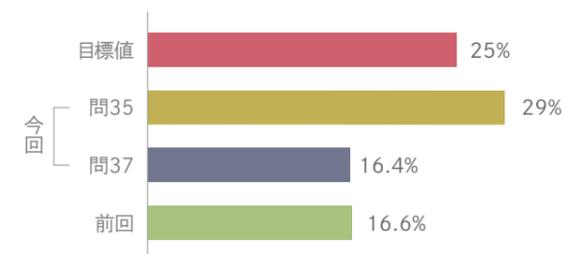
「市民活動や地域活動に取り組む人材が市民の間に育っている」と考える割合は、前回調査時には17.6%だったが、今回調査では、問26(活動に参加する人が十分にいますか。)において「そう思う」「少しはそう思う」と考える割合は16.1%となっている。成果目標25%に対して、低い数値となっているが、前回調査時に「わからない」とする回答が53.3%であったことと比べ、今回では「どちらでもない」と答えた割合が31.7%となっており、活動の参加に対する意識は高まってきていると思われる。



<つながる>に関する指標について

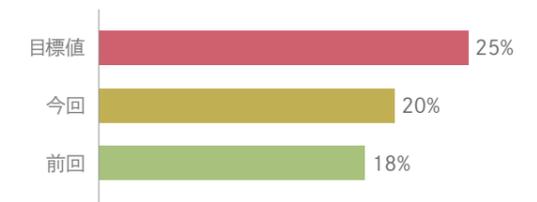
『第2次芦屋市市民参画協働推進計画』における指標である「市民と市が協力し合って市内や地域の課題解決に取り組む機会」の項目については、今回は課題把握のためより詳細に調査することを目的に、「市政に関する行政からの情報提供の程度(問35)」と「市政に対して市民の声を届ける機会の程度(問37)」の2項目に分けて設問している。結果は、情報提供の機会について約29%がある程度できていると感じており、意見を伝える機会は約16%が声を届ける機会があると感じている。

このことから、「課題解決に取り組む機会」の目標値である25%に対し前回調査結果が約17%であることを踏まえると、情報提供はある程度できているが、声を届ける機会については引き続き取り組みについて検討することが求められる。



<すすむ>に関する指標について

パブリックコメント制度を知っている割合は、前回調査時には18%だったが、今回調査では制度のことを知っているという回答は20.4%であり(実際に制度を利用したことがあるという人は0.8%)、前回の結果よりも上回ってはいるが、成果目標25%に対して低い結果となっている。ただし、男性60歳代、70歳代以上ではその値が25%を超えている。以前より制度の認知度に改善はみられるものの、引き続きの理解・周知を進める必要があると思われる。

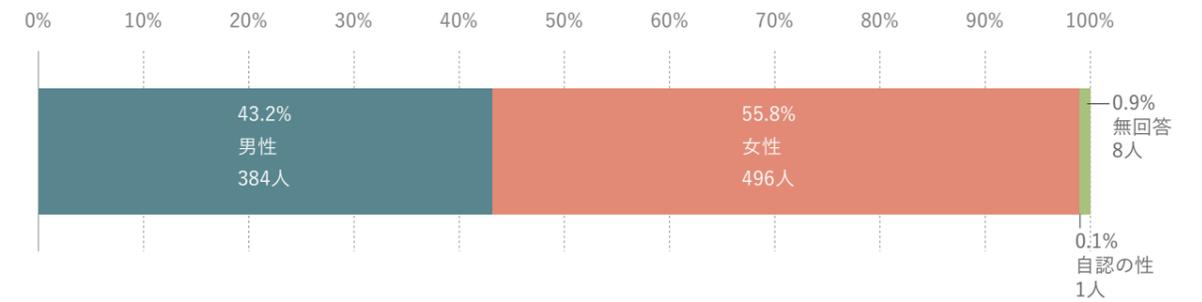


3

調査結果

問1 あなたが思われる性別は。

SA/n=889

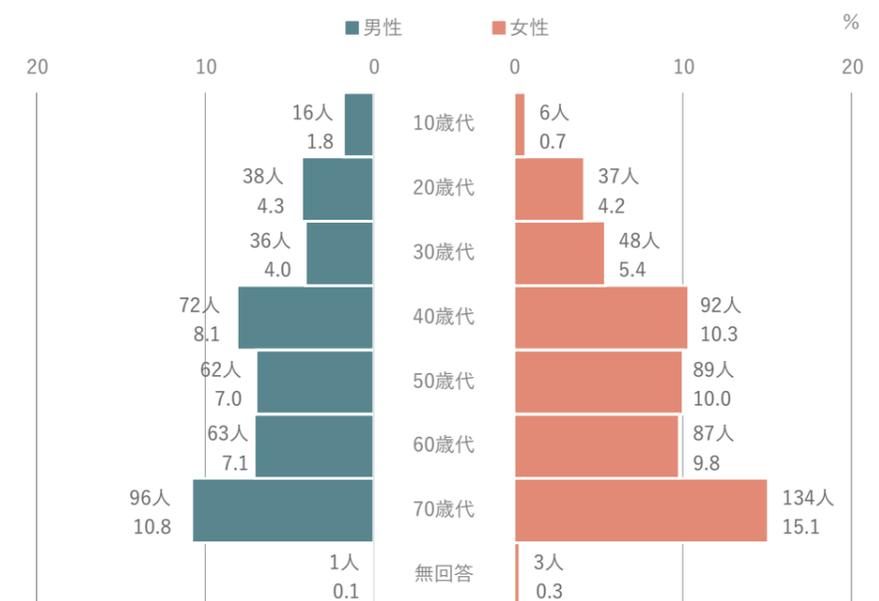


問2 あなたの年齢は。

SA/n=889



性別 × 年齢



問3 あなたのお住まいの町は。

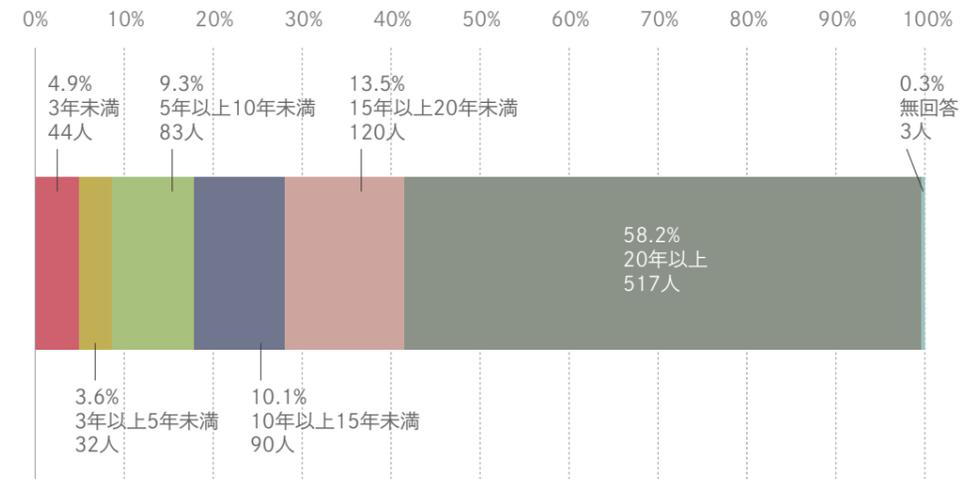
SA/n=889

住まいの町	回答数
1. 奥山	6
2. 奥池町	6
3. 奥池南町	10
4. 六麗荘町	5
5. 朝日ヶ丘町	57
6. 山手町	12
7. 山芦屋町	11
8. 岩園町	24
9. 東山町	14
10. 東芦屋町	17
11. 西山町	9
12. 三条町	21
13. 翠ヶ丘町	41
14. 親王塚町	14
15. 大原町	27
16. 船戸町	9
17. 松ノ内町	16
18. 月若町	4
19. 西芦屋町	6
20. 三条南町	8
21. 楠町	27
22. 上宮川町	3
23. 業平町	8
24. 前田町	6
25. 清水町	3
26. 春日町	22
27. 打出小槌町	17
28. 宮塚町	16
29. 茶屋之町	12
30. 大柘町	3

住まいの町	回答数
31. 公光町	6
32. 川西町	9
33. 津知町	13
34. 打出町	6
35. 南宮町	35
36. 若宮町	3
37. 宮川町	8
38. 竹園町	5
39. 精道町	10
40. 浜芦屋町	8
41. 平田北町	6
42. 大東町	29
43. 浜町	29
44. 西蔵町	22
45. 呉川町	32
46. 伊勢町	25
47. 松浜町	19
48. 平田町	13
49. 新浜町	16
50. 浜風町	14
51. 高浜町	38
52. 若葉町	25
53. 緑町	25
54. 潮見町	12
55. 陽光町	25
56. 海洋町	7
57. 南浜町	6
58. 涼風町	5
無回答	4

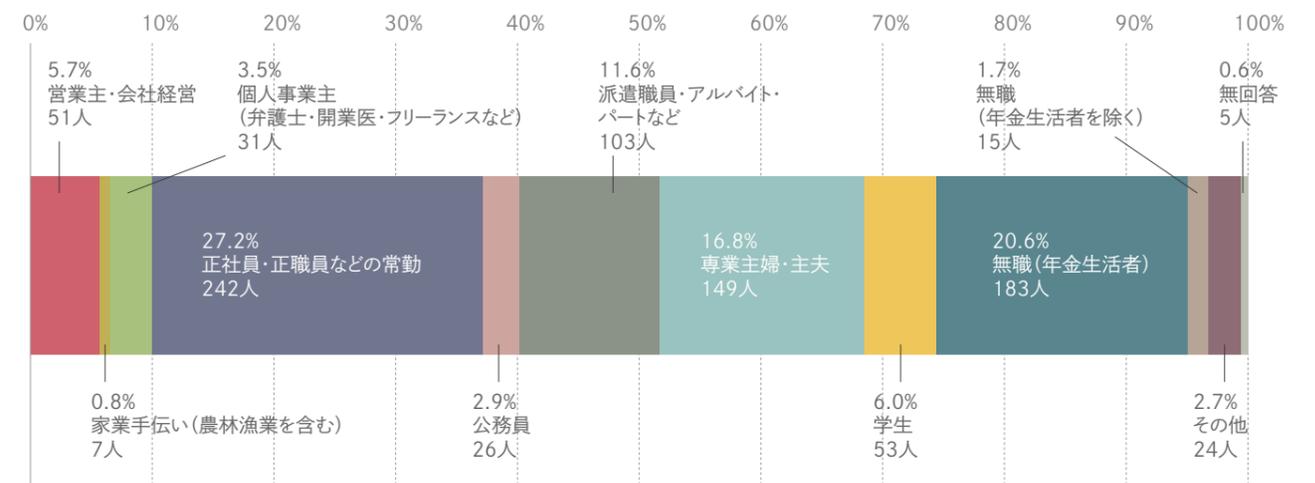
問4 あなたは芦屋市内に通算で何年住んでいますか。

SA/n=889



問5 あなたの職業をおたずねします。複数の職業についている場合は、主なものを1つ選んでください。

SA/n=889

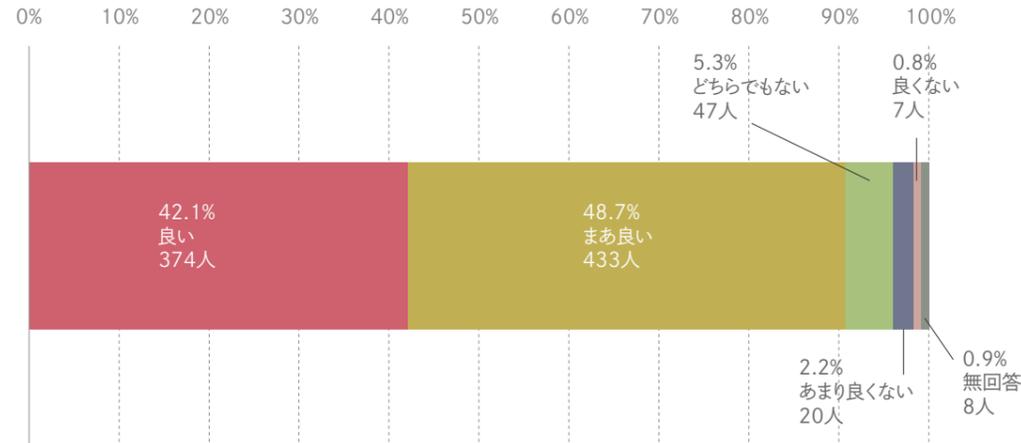


問6 住み心地をどう感じていますか。

SA/n=889

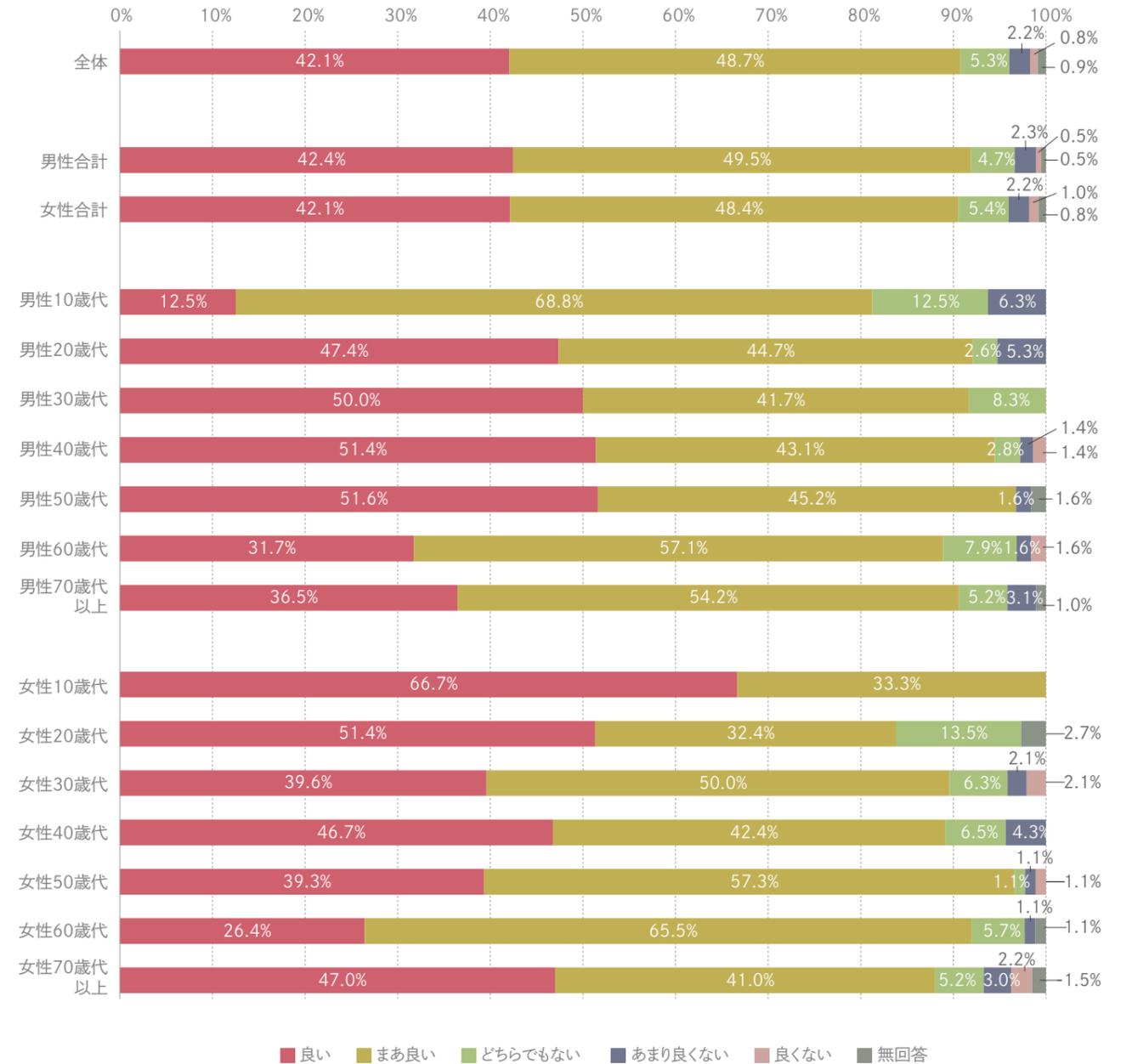
全体

・住み心地を「良い」「まあ良い」とする回答者は90.8%であり、「良くない」「あまり良くない」とする回答者は3%となっていることから、大部分の回答者が住み心地に対してよい印象を持っている。



性・年齢別

- ・男性、女性ともに「良い」「まあ良い」と回答した割合は全体と大きな差はみられない。
- ・年代別にみても、「良い」「まあ良い」と回答した割合は全体と大きな差はみられない。
- ・男女とも50歳代に向かうにつれ、住み心地をポジティブに感じる割合が高くなっていく。一方で、60歳代、70歳代以上ではポジティブに感じる割合は減少傾向にある。

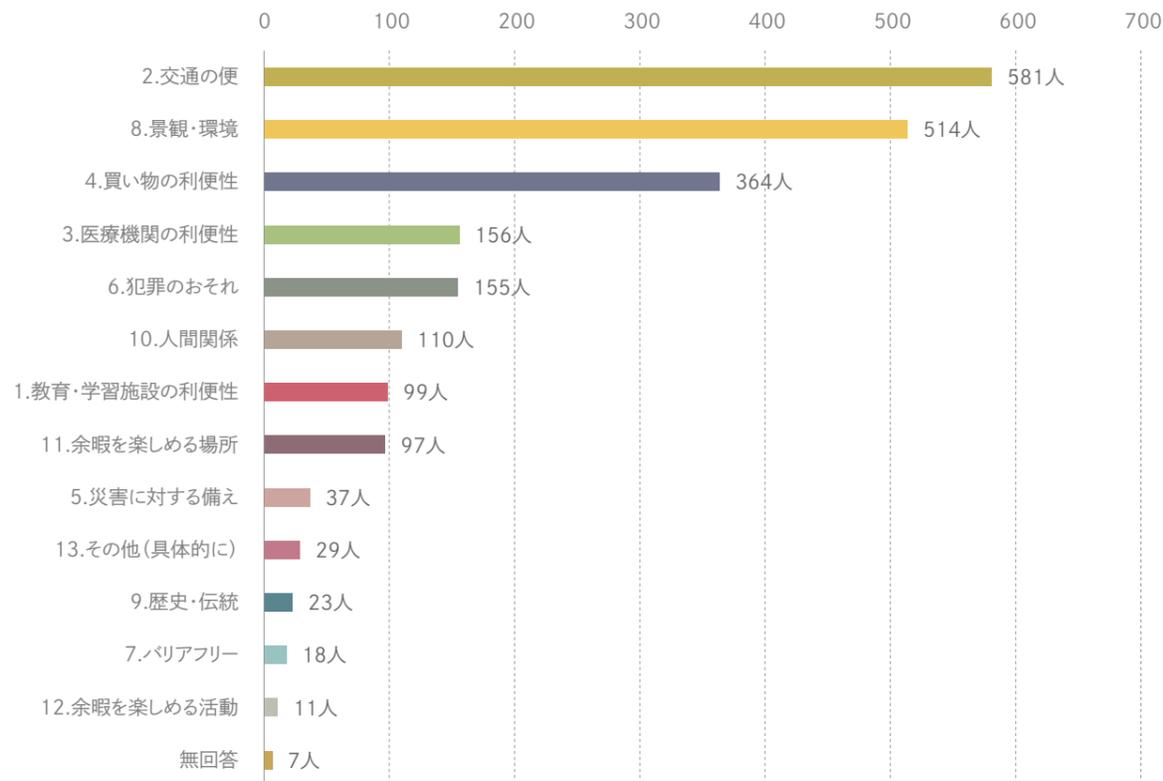


問7 問6のように感じる理由は何ですか。

ML3/n=889

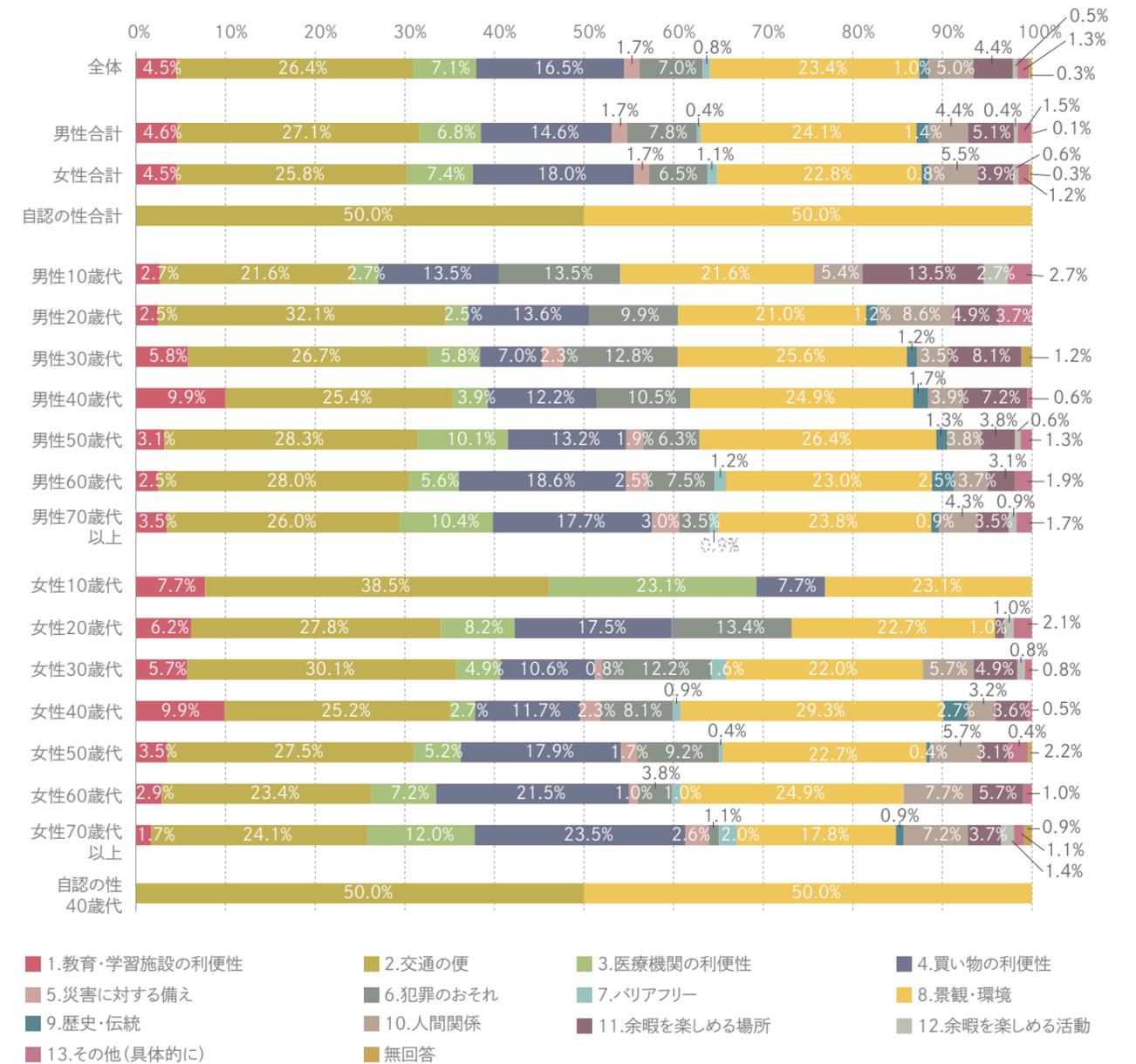
全体

・住み心地の判断に影響している要素として、「交通の便」26.4%、「景観・環境」23.4%、「買い物の利便性」16.5%が上位3つとなっている。



性・年齢別

- ・「医療機関の利便性」と回答した割合は、男女ともに、年代が上がるにつれて多くなる傾向にあるが、女性においては10歳代(23.1%)も比較的多くなっている。
- ・「交通の便」と回答した割合は、男性では20歳代が最も多く(32.1%)、50歳代(28.3%)、60歳代(28%)が続く。女性では年代が低いほど割合が高くなる傾向がみられる。
- ・「買い物の利便性」と回答した割合は、男女とも、年代が上がるにつれて増加傾向にある。

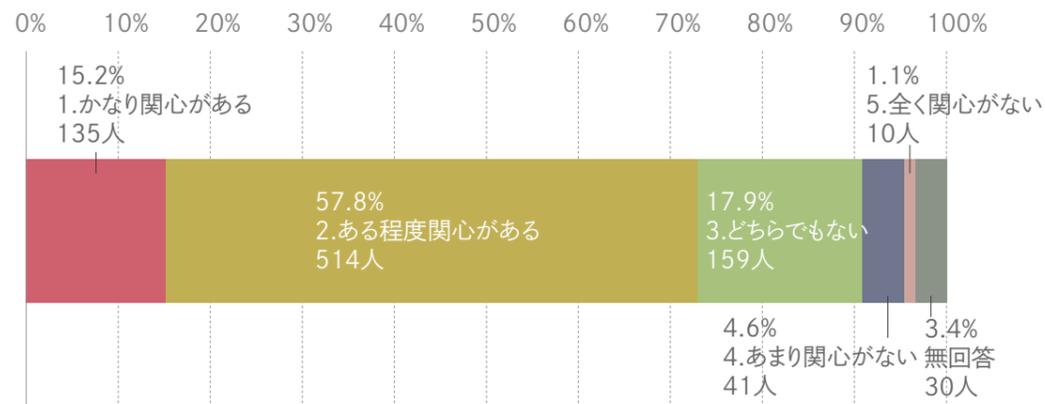


問8 お住まいの地域にどの程度関心がありますか。

SA/n=889

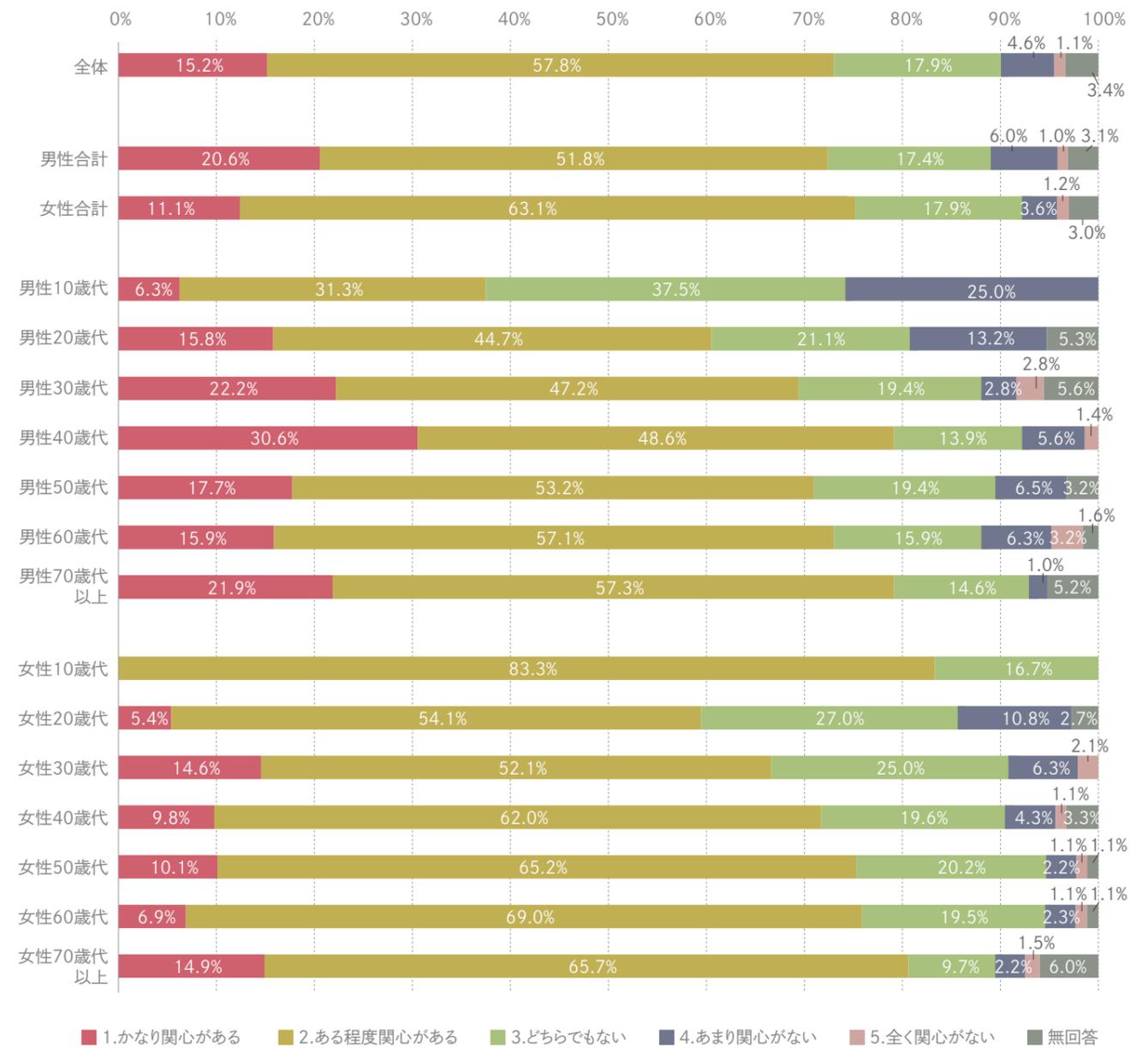
全体

・「かなり関心がある」「ある程度関心がある」とする回答者は73%、「あまり関心がない」「全く関心がない」割合が5.7%であり、大半が地域のことに関心がある。



性・年齢別

- ・男女別にみると、「かなり関心がある」とする回答は男性で20.6%、女性で11.1%となっている。また、「ある程度関心がある」割合も含めると、男性が72.4%であるのに対し、女性では74.2%となっており、女性の方が地域に対する関心が少し高くなっている。
- ・年代別では、男性は年代が上がるにつれて関心を持つ割合が高くなる。女性でも比較的同様の傾向にある。
- ・70%以上が関心を持つ全体傾向と比べると、男女とも20歳代～30歳代では割合が少なくなっている。

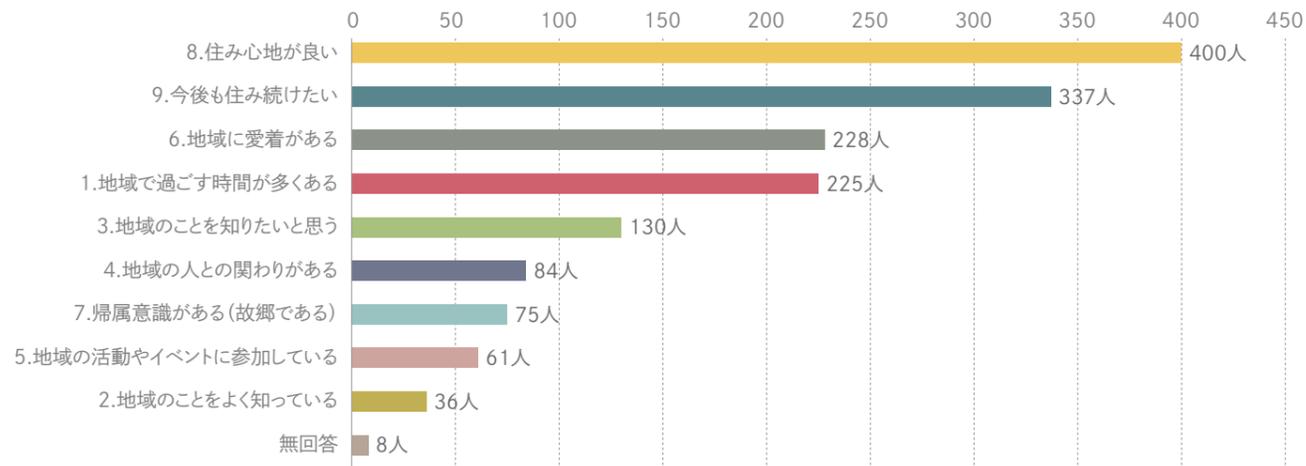


問9 関心がある理由は何ですか。

ML3/n=670

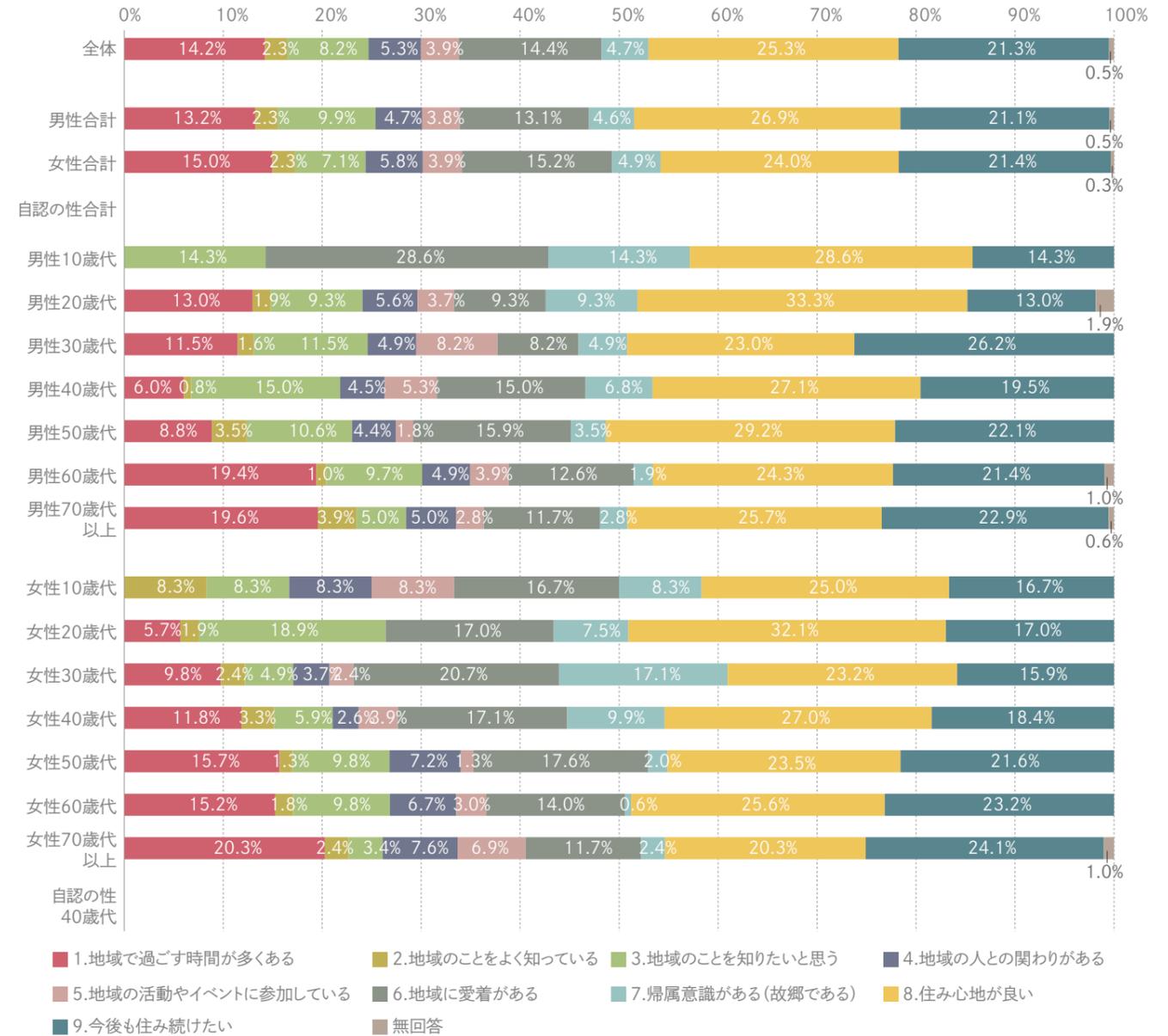
全体

- ・地域に関心がある理由の上位には「住み心地が良い」25.3%、「今後も住み続けたい」21.3%が並ぶ。続いて「地域に愛着がある」14.4%、「地域で過ごす時間が多くある」14.2%がほぼ同量となっている。
- ・「地域の人との関わりがある」5.3%、「地域の活動やイベントに参加している」3.9%となっており、地域に関心を持つことに対してさほど影響を持たないと思われる。



性・年齢別

- ・「住み心地が良い」とする回答は、男女ともに20歳代で約33%と全体に比べると多くなっている。
- ・「今後も住み続けたい」とする回答は、全体と比べると男性30歳代で多くみられる。(26.2%)
- ・「地域で過ごす時間が多くある」とする回答は、男性では60歳代、70歳代以上、女性では70歳以上が特に多くなっている。

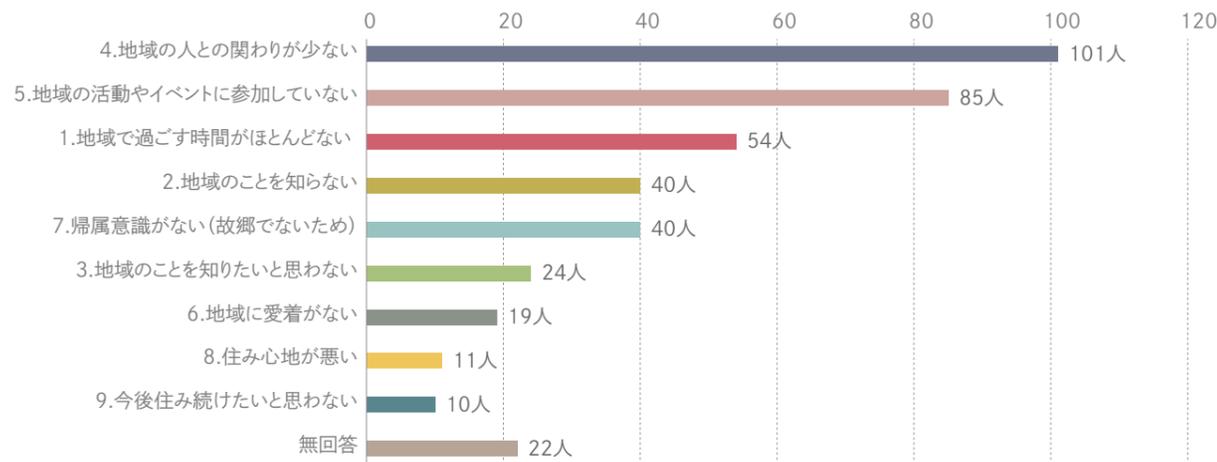


問10 関心が無い理由は何ですか。

ML3/n=227

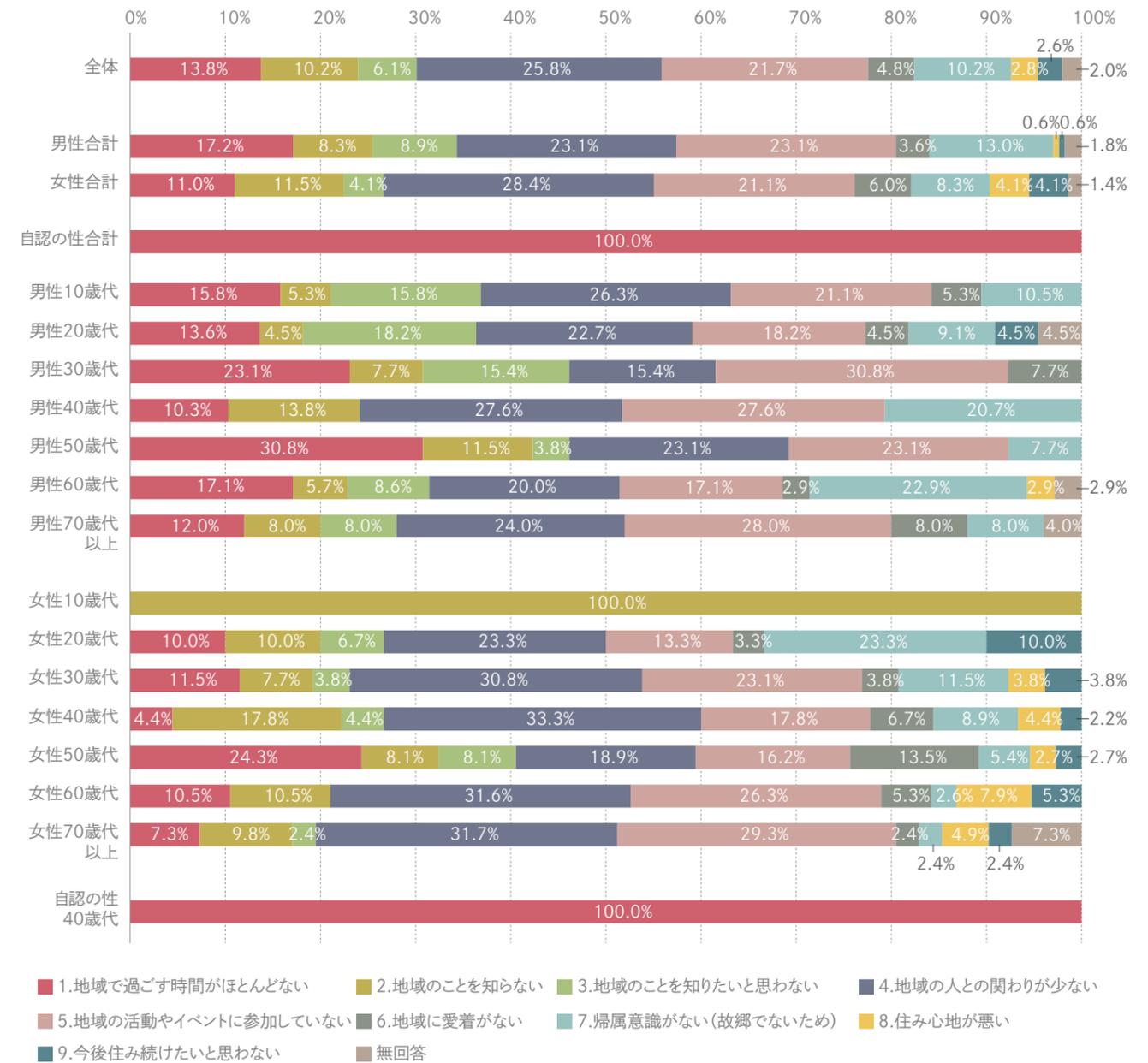
全体

- ・地域に関心がない理由の上位には「地域の人との関わりが少ない」25.8%、「地域の活動やイベントに参加していない」21.7%が並ぶ。続いて、「地域で過ごす時間がほとんどない」17.2%、「地域のことを知らない」10.2%、「帰属意識がない」10.2%となっている。
- ・回答が少ないのは、「今後住み続けたいと思わない」「住み心地が悪い」となっている。



性・年齢別

- ・「地域で過ごす時間がほとんどない」とする回答は、全体に比べると男性では30歳代、50歳代が多く、女性では50歳代が特に多くなっている。
- ・「地域に愛着がない」とする回答は、女性50歳代が13.5%と特に多くなっている。一方で、男性40～50歳代ではその割合は0となっている。
- ・「帰属意識がない」とする回答は、男性では13%、女性では8.3%と、男性が多くなっている。全体に比べると男性では特に50歳代(20.7%)、60歳代(22.9%)に多く、女性においては、20歳代(23.3%)以降は年代が上がるにつれ、割合が低くなっている。

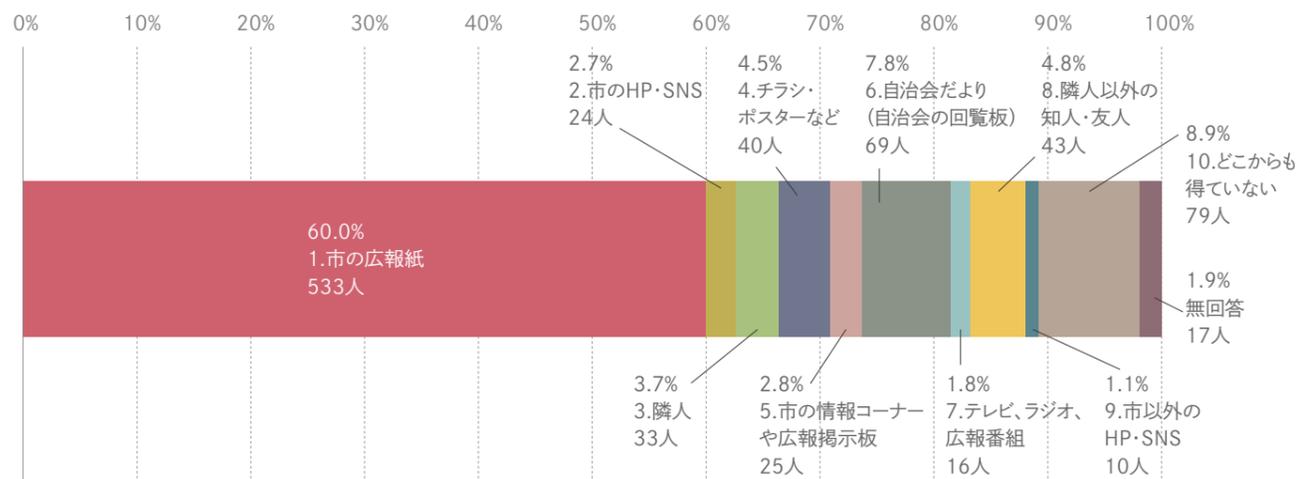


問11 地域の情報をどのように入手していますか。

SA/n=889

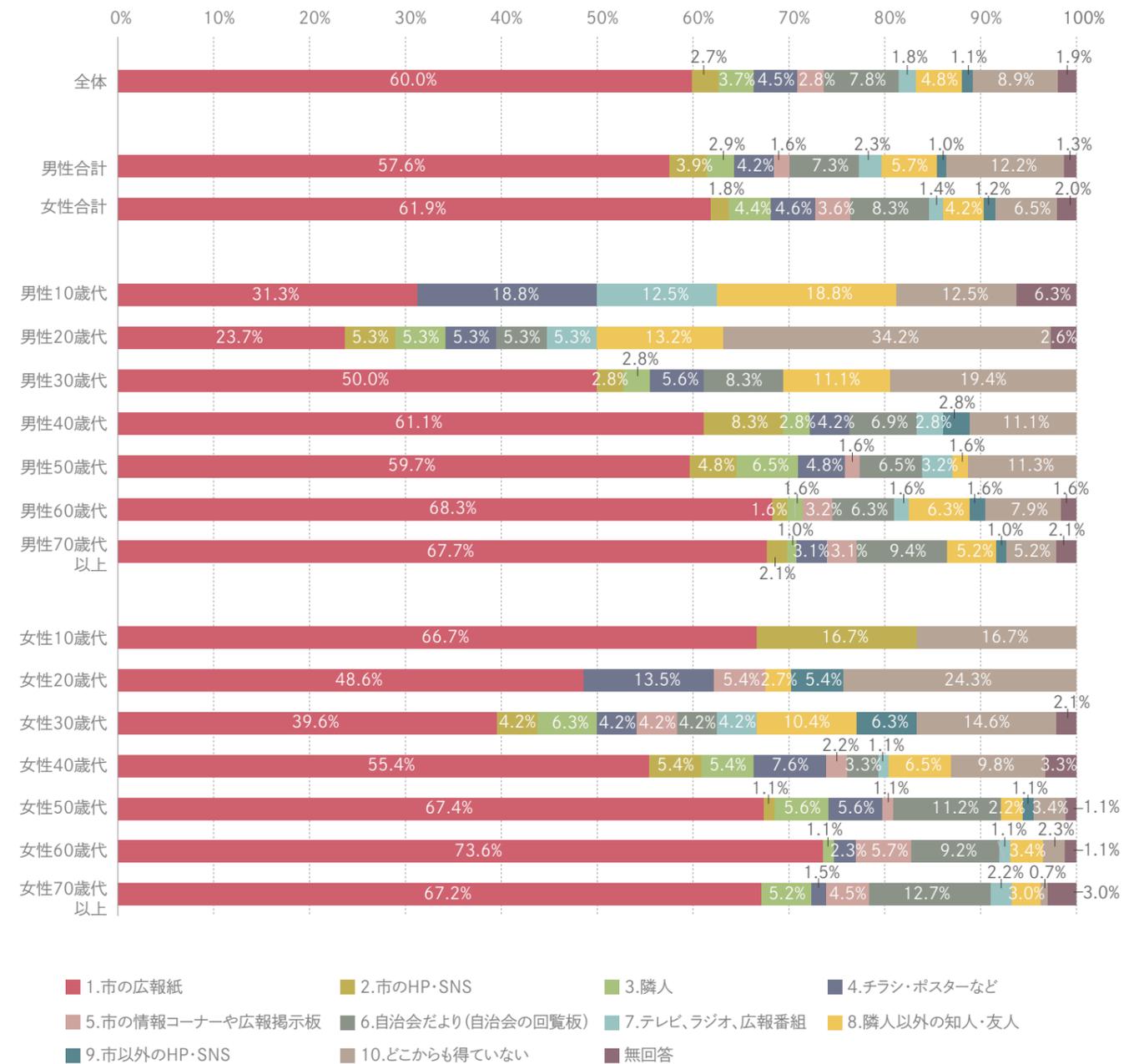
全体

- ・情報を「どこからも得ていない」とする回答者は8.9%となっている。
- ・「市の広報紙」とする回答者が60%と最も多く、次いで「自治会だより(自治会の回覧板)」が7.8%、「チラシ・ポスターなど」が4.5%となっている。



性・年齢別

- ・「市の広報紙」から情報を得ている割合は、年代が上がるにつれて多くなる傾向にある。男性10歳代、20歳代ではその割合は特に少なくなっている。
- ・情報を「どこからも得ていない」と答えた割合は女性(6.5%)よりも男性(12.2%)の方が倍程度多くなっている。
- ・情報を「どこからも得ていない」とする回答者は、男女ともに20歳代が最も多くなっている。年代が上がるにつれて、その割合は少なくなる傾向にある。

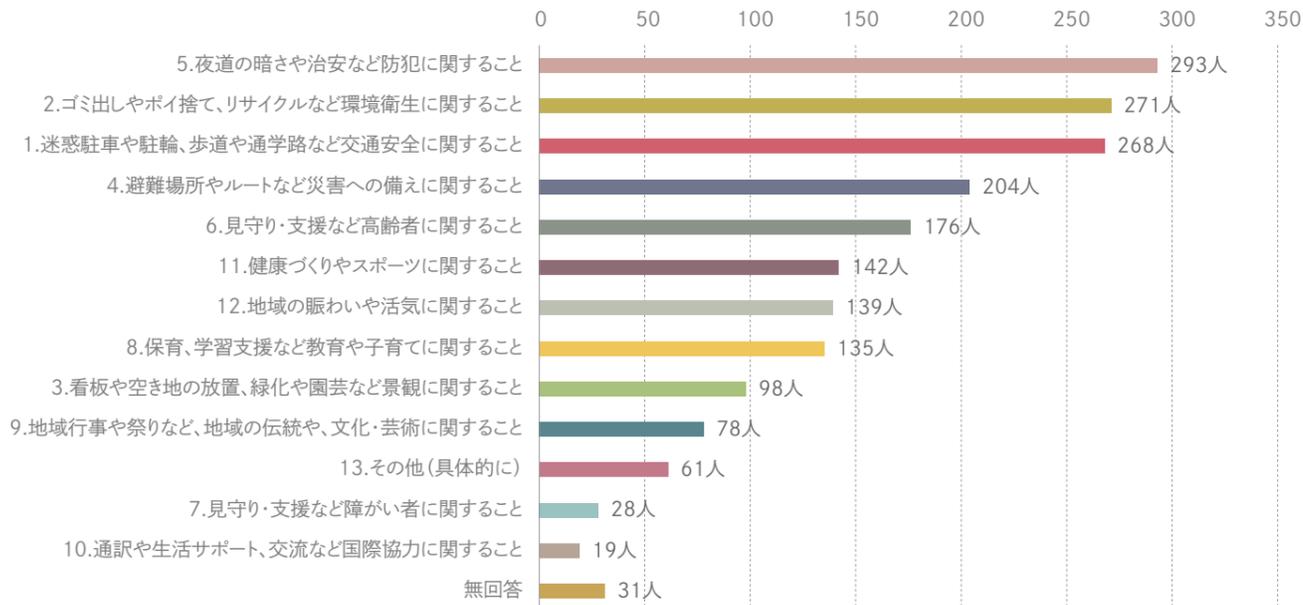


問12 身近な生活の中で気になることは何ですか。

ML3/n=889

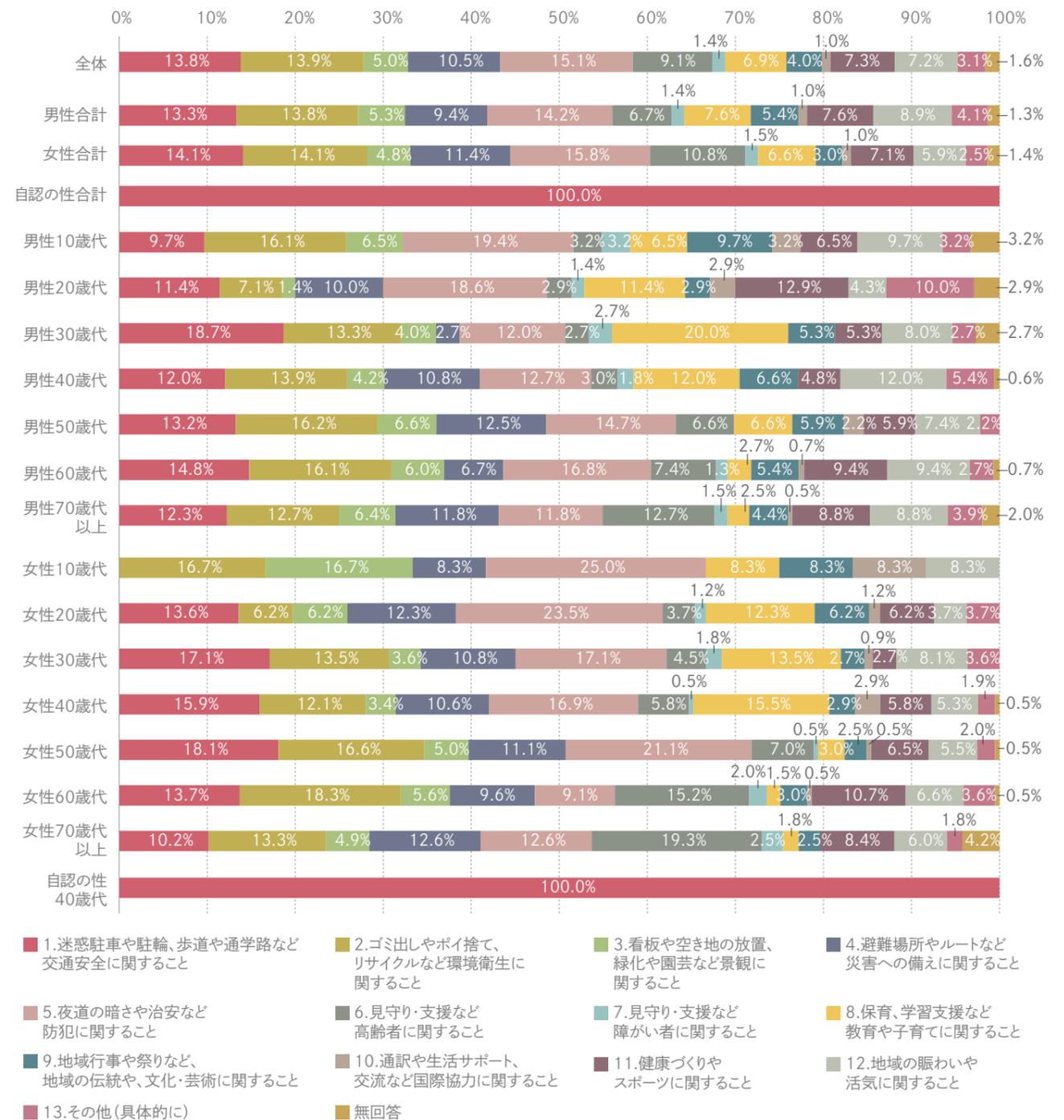
全体

・気になることの上位には「夜道の暗さや治安など防犯に関すること」15.1%、「ゴミ出しやポイ捨て、リサイクルなど環境衛生に関すること」13.9%、「迷惑駐車や駐輪、歩道や通学路など交通安全に関すること」13.8%が並ぶ。



性・年齢別

- ・回答の多かった上位4つについては、男女で大きな差は見られない。
- ・「夜道の暗さや治安など防犯に関すること」とする回答は、男女ともに他の年代に比べて10歳代～20歳代の割合が多くなっている。
- ・「ゴミ出しやポイ捨て、リサイクルなど環境衛生に関すること」とする回答者は、男女とも20歳代ではその他の年代の約半数に減っている。
- ・「迷惑駐車や駐輪、歩道や通学路など交通安全に関すること」とする回答は、全体に比べると男性では30歳代が最も多く(18.7%)、女性では50歳代が最も多い(18.1%)。
- ・「地域の賑わいや活気に関すること」とする回答は、女性よりも男性で多くなっており、女性ではすべての年代において5%前後の割合、男性では5～10%前後となっている。

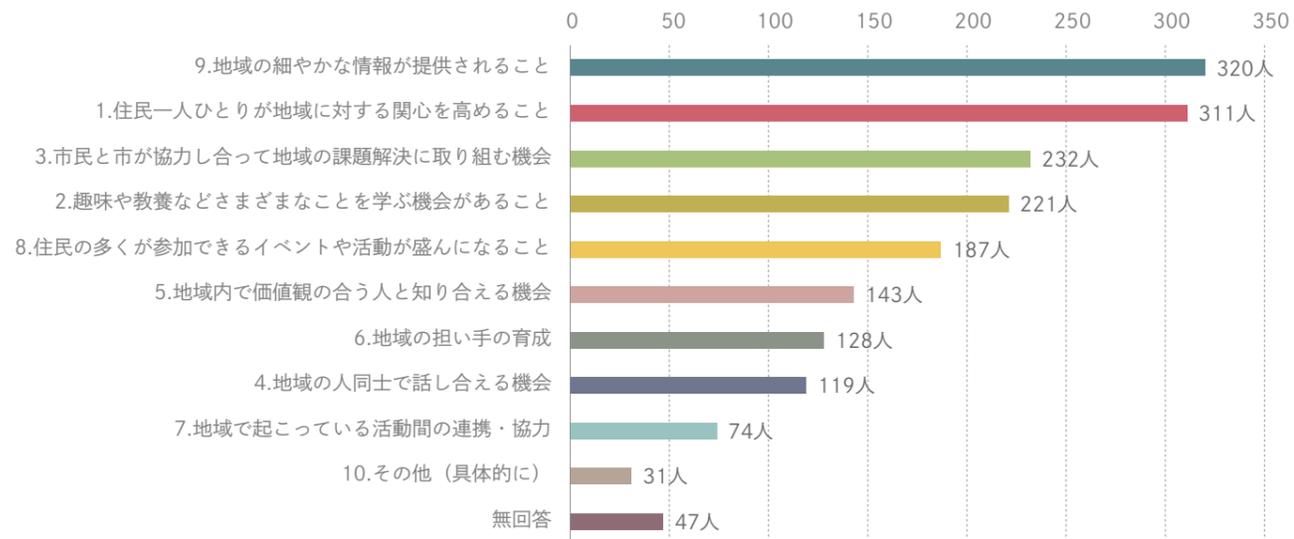


問13 身近な生活の中で必要に思うことは何ですか。

ML3/n=889

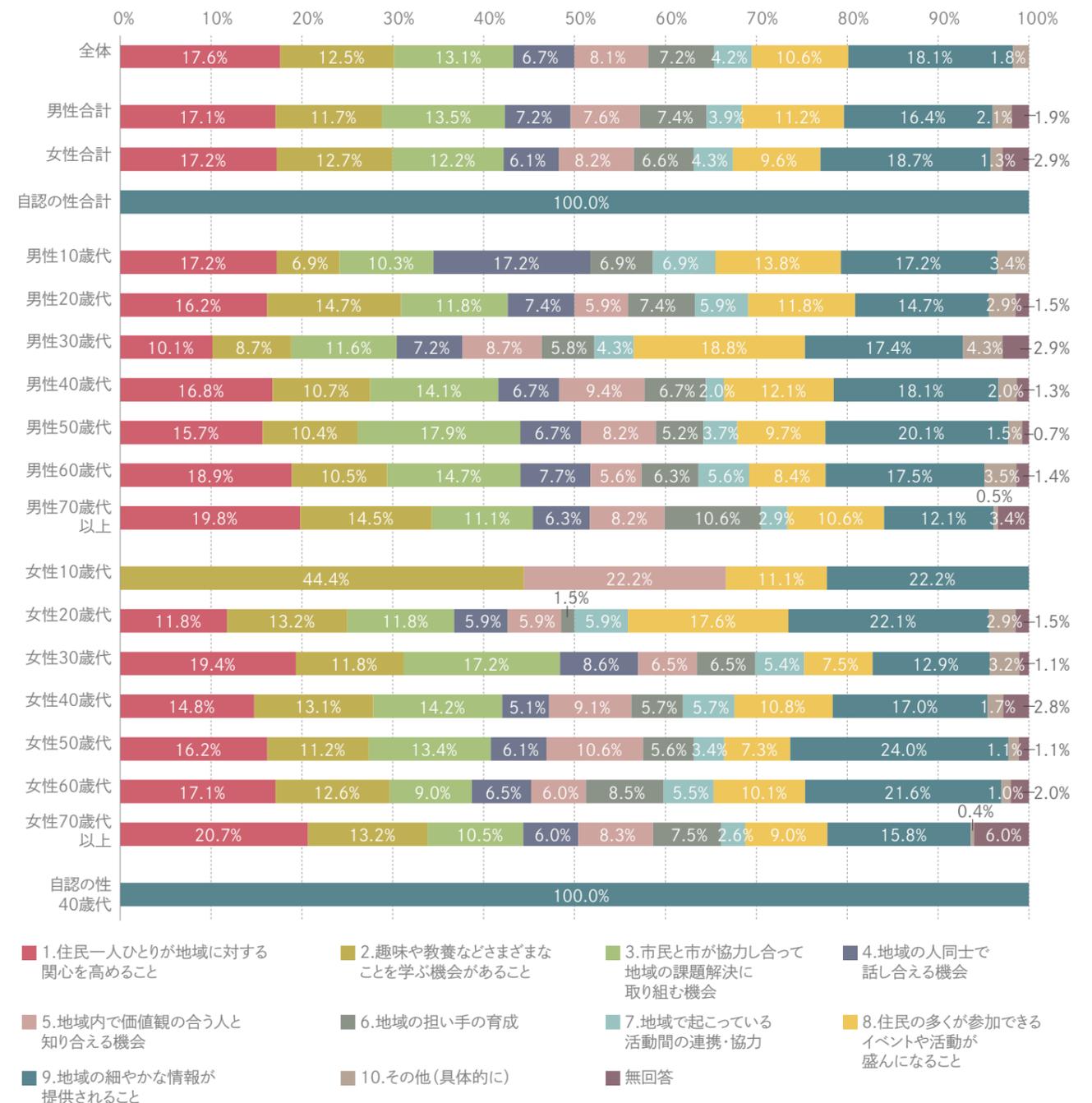
全体

- ・必要に思うことの上位には、「地域の細やかな情報が提供されること」18.1%、「住民一人ひとりが地域に対する関心を高めること」17.6%が並ぶ。続いて「市民と市が協力し合って地域の課題解決に取り組む機会」13.1%、「趣味や教養などさまざまなことを学ぶ機会があること」12.5%、「住民の多くが参加できるイベントや活動が盛んになること」10.6%となっている。
- ・回答の割合が少ないのは、「地域で起こっている活動間の連携・協力」4%、「その他」1.8%となっている。



性・年齢別

- ・すべての選択肢について、男女間で大差は見られない。
- ・「住民一人ひとりが地域に対する関心を高めること」とする回答は、男女とも、年代が上がるにつれて多くなる傾向にあるが、男性では10～20歳代、女性では30歳代がほかの年代に比べて多くなっている。
- ・「住民の多くが参加できるイベントや活動が盛んになること」とする回答は、男性30歳代、女性20歳代で特に多くなっており、男女それぞれで、その他の年代の割合は同じ程度になっている。
- ・「地域内で価値観の合う人と知り合える機会」とする回答は、全体に比べると男性では特に20歳代、60歳代が低く、女性では20歳代、60歳代が低い。
- ・「地域の担い手の育成」が必要とする割合は、男性70歳代以上が最も多く、女性でも60歳代、70歳代以上が多くなっている。

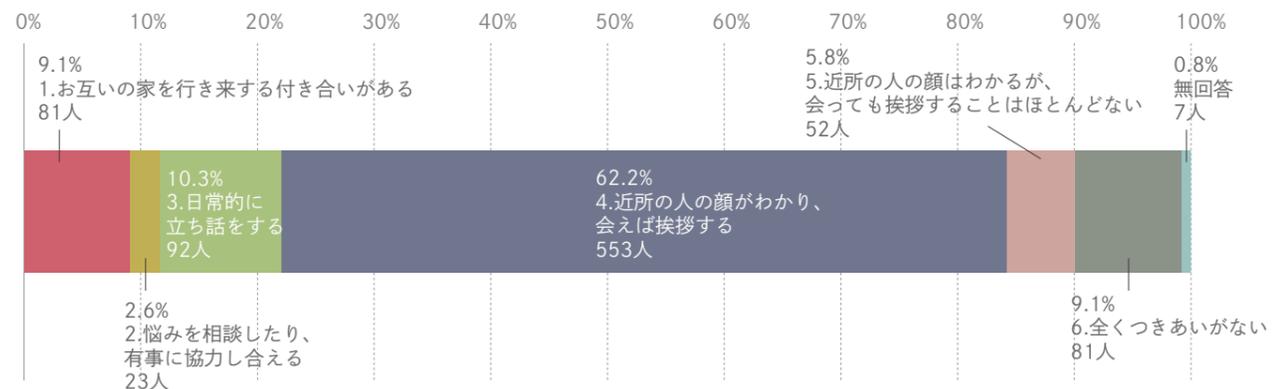


問14 お住まいの地域の人とどの程度の関わりがありますか。

SA/n=889

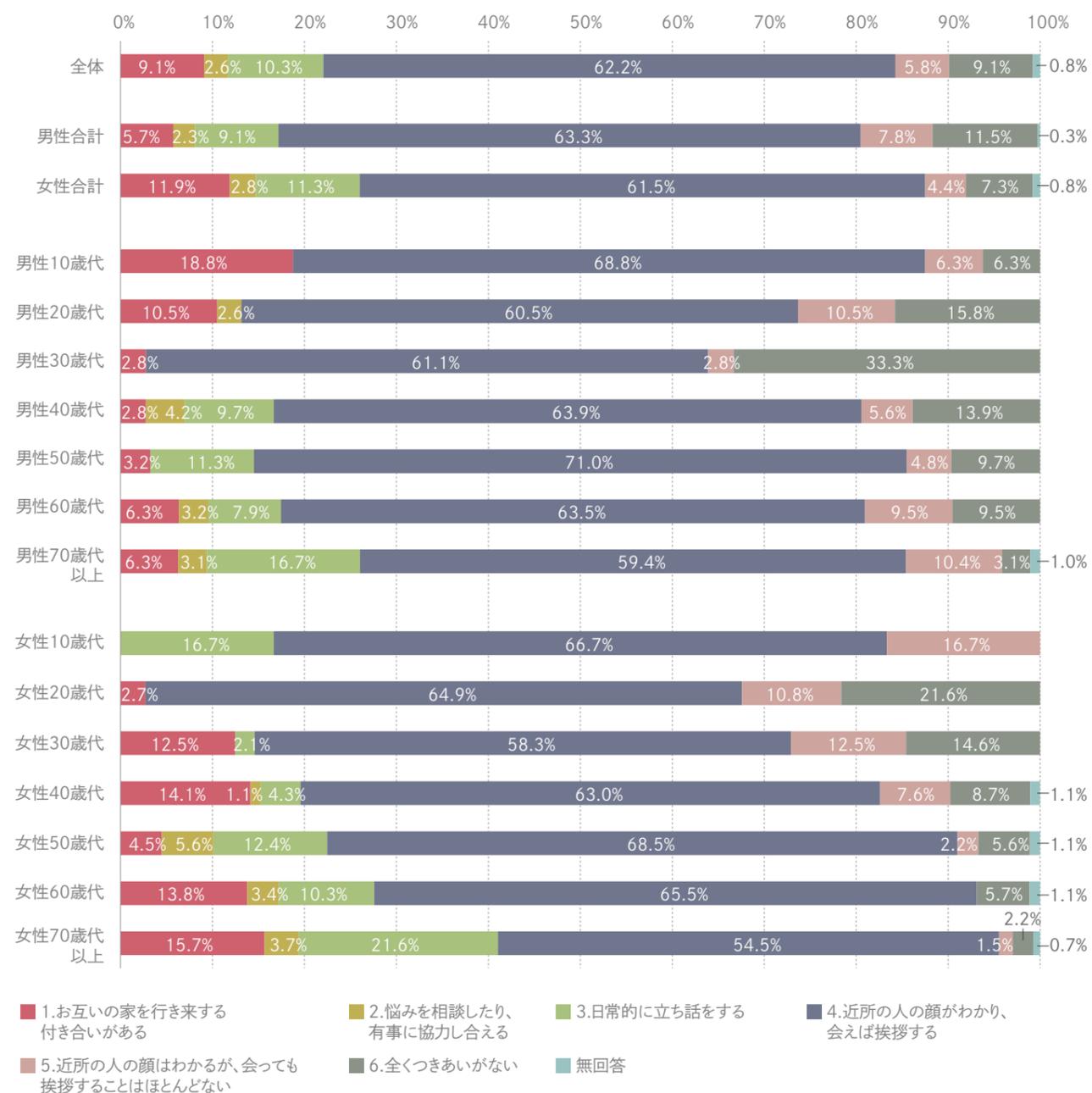
全体

- ・84.3%の人が地域の人と日常的に挨拶を交わす以上の関わりがあり、14.9%の人が挨拶を交わすことはなくつきあいが無い。
- ・「近所の人顔がわかり、会えば挨拶する」とする割合が最も多く、62.2%となっている。次いで「日常的に立ち話をする」10.3%、「お互いの家を行き来する付き合いがある」9.1%、「全くつきあいが無い」9.1%となっている。



性・年齢別

- ・男女で差がみられるのは、「お互いの家を行き来する付き合いがある」「近所の人顔はわかるが、会っても挨拶することはほとんどない」「全くつきあいが無い」であり、「お互いの家を行き来する付き合いがある」とする回答は女性で11.9%と男性の約2倍になっている。
- ・「全くつきあいが無い」とする回答は、男性で30歳代が33.3%と最も多く、女性では20歳代が21.6%となっている。男女ともに、40歳代以上では比較的割合が少なくなっている。
- ・「お互いの家を行き来する付き合いがある」とする回答は、特に男性30歳代～50歳代の割合が約3%と少なくなっている。女性では、30歳代以上では15%程度となっているが、50歳代のみ4.5%と著しく低くなっている。
- ・「近所の人顔はわかるが、会っても挨拶することはほとんどない」とする回答は、女性では年代が上がるにつれて少なくなる傾向にあるが、男性では60歳代～70歳代以上においても20歳代と同じく約10%となっている。

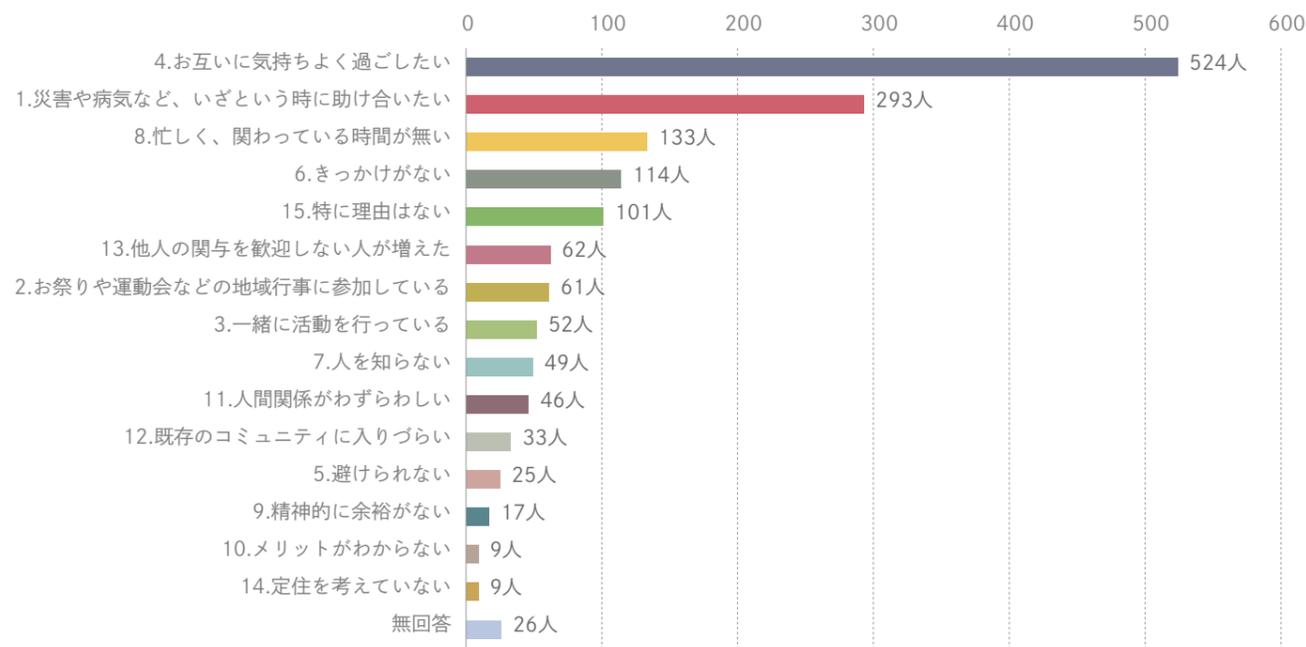


問15 関わりの程度が問14である理由は何ですか。

ML3/n=889

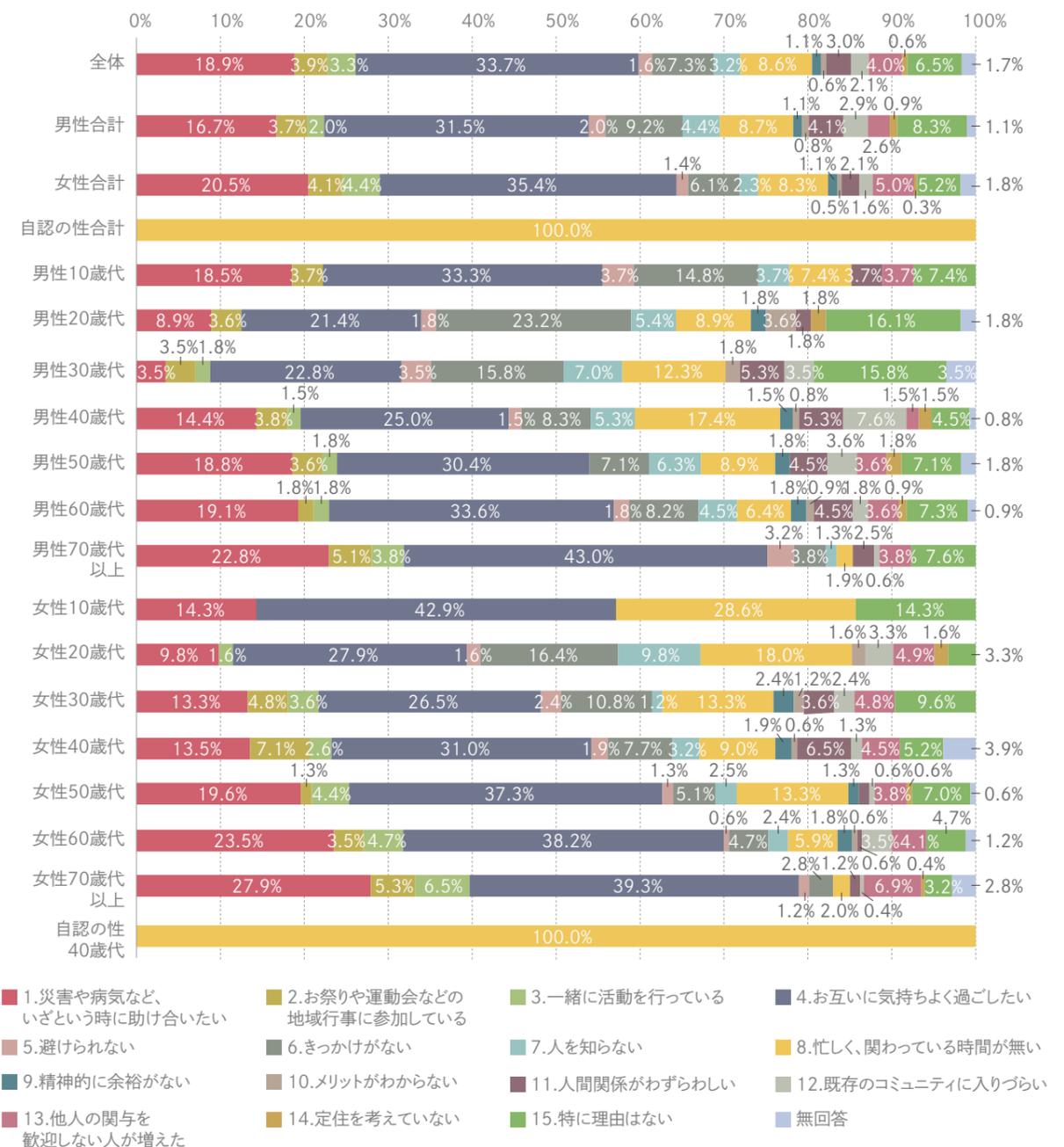
全体

- ・「関わりの程度に影響する要素として、「お互いに気持ちよく過ごしたい」が33.7%と最も多く、続いて「災害や病気など、いざという時に助け合いたい」が18.9%となっている。
- ・ネガティブな理由としては「忙しく、関わっている時間が無い」が8.6%と最も多く、続いて「きっかけがない」7.3%、「特に理由はない」6.5%となっている。



性・年齢別

- ・各選択肢について男女間で大きく差はないが、「お互いに気持ちよく過ごしたい」「災害や病気など、いざという時に助け合いたい」「他人の関与を歓迎しない人が増えた」では女性の割合が多い。一方、「きっかけがない」「忙しく、関わっている時間が無い」「特に理由はない」は男性の割合が多くなっている。
- ・「お互いに気持ちよく過ごしたい」とする回答は、男女とも、全体と比べて20歳代～40歳代では少ない。
- ・「災害や病気など、いざという時に助け合いたい」とする回答は、男女とも年代が上がるほど多くなる傾向にあるが、男性30歳代は男性の他の年代に比べて最も低く、男女とも20歳代～40歳代が少ない。
- ・「忙しく、関わっている時間が無い」とする回答は、女性では若い年代ほど割合が多く、男性では30歳代～40歳代にかけて多くなっている。
- ・「きっかけがない」とする回答は、若い年代で割合が多い傾向にあり、男女とも20歳代の割合が最も多い。
- ・「特に理由はない」とする回答者は、特に男性20歳代～30歳代に多くみられる。

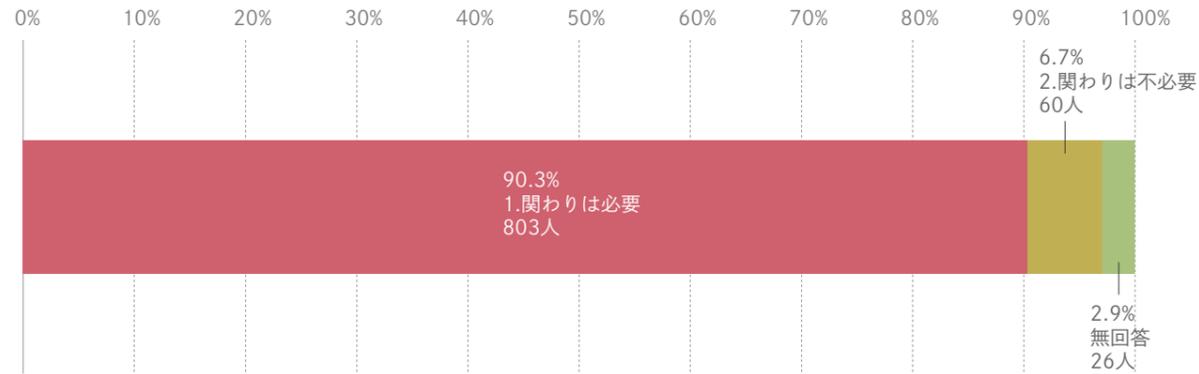


問16 地域の人との関わりは必要だと思いますか。

SA/n=889

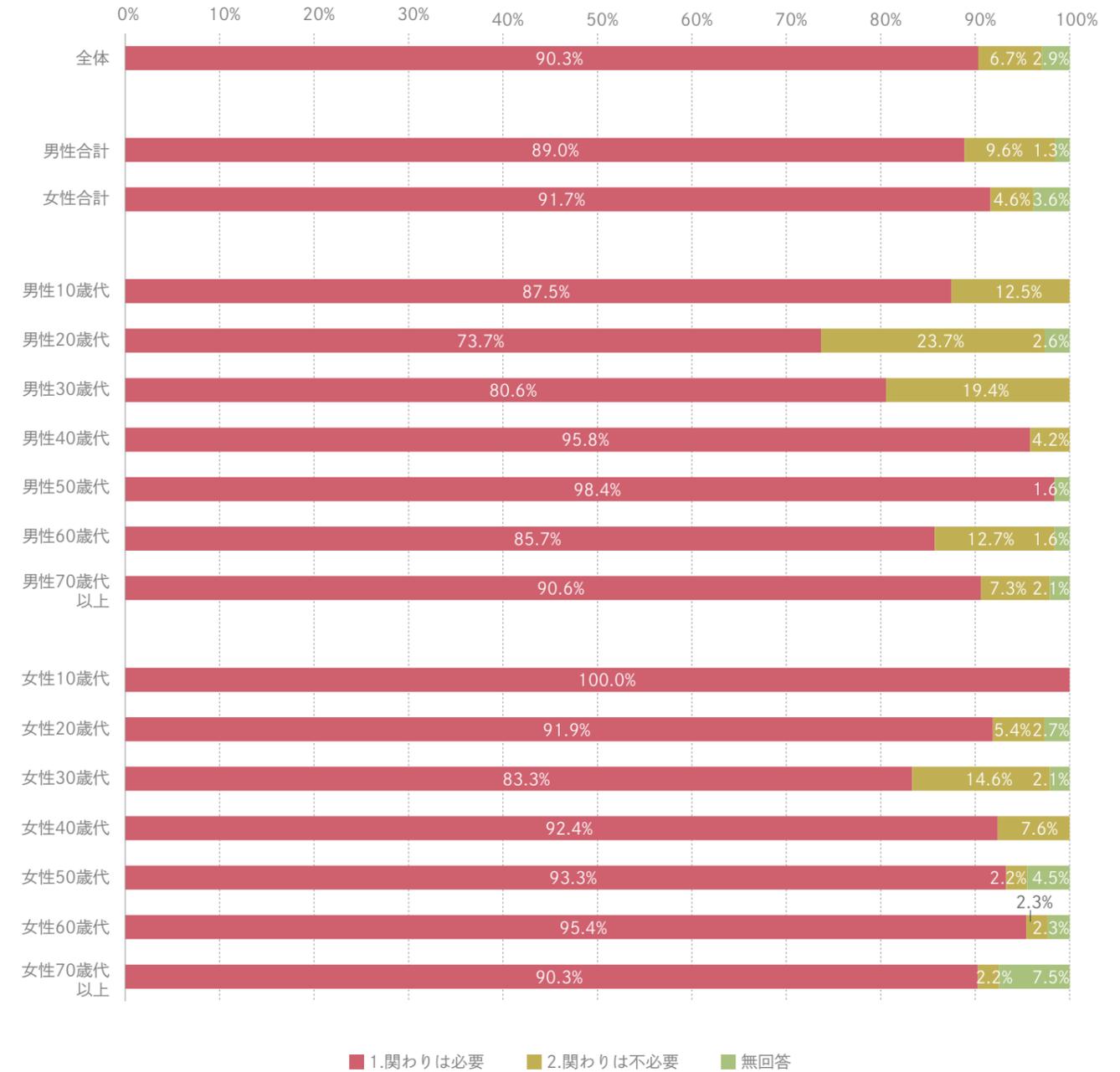
全体

・「関わりは必要」とする回答者は90.3%、「関わりは不必要」とする回答者は6.7%であり、大半が関わりを必要と答えている。



性・年齢別

- ・男女で回答に大差はない。
- ・男性では40歳代～50歳代で特に「必要」とする割合が多く、女性では10歳代、40歳代～60歳代で特に多くなっている。

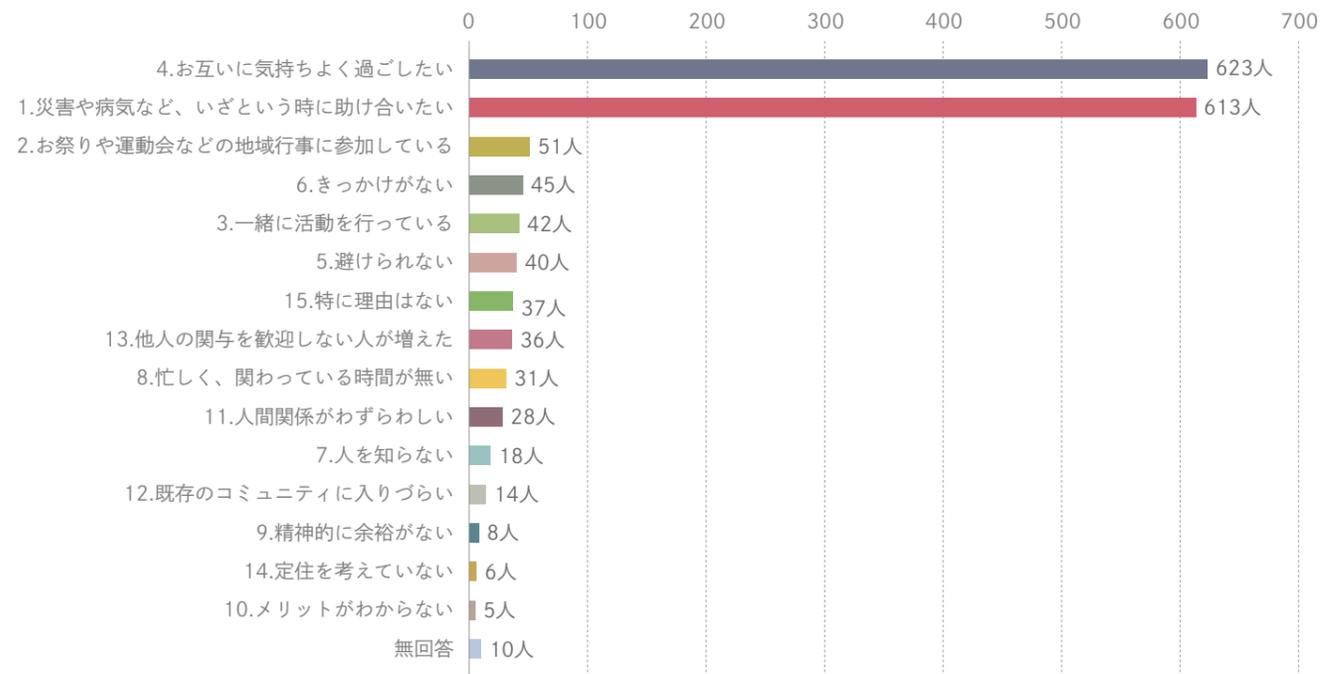


問17 問16のように思う理由は何ですか。

ML3/n=889

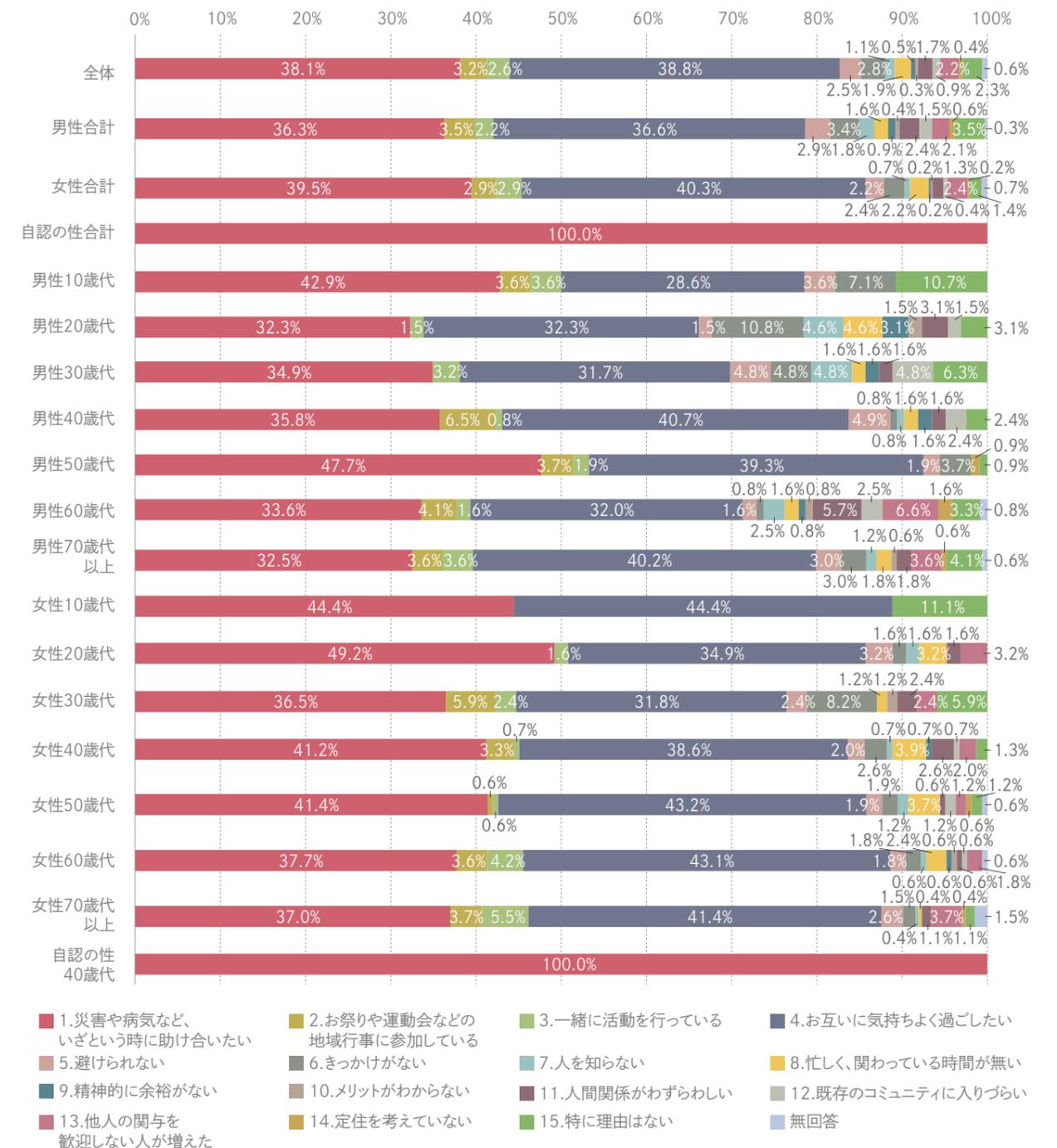
全体

- ・地域の人との関わりの要否に対する考えに影響する要素として、「お互いに気持ちよく過ごしたい」が38.8%と最も多く、続いて「災害や病気など、いざという時に助け合いたい」が38.1%となっている。
- ・ネガティブな理由としては「きっかけがない」が2.8%で最も多くなっている。



性・年齢別

- ・ポジティブな理由の上位2つについては、男女ともにあまり大差はなく、2~3%程度女性の割合が多くなっている。
- ・「災害や病気など、いざという時に助け合いたい」とする回答は、男性では50歳代、次いで10歳代の割合が多く、女性では20歳代、次いで10歳代が多くなっている。
- ・「きっかけがない」とする回答は男性では20歳代(10.8%)、次いで10歳代(7.1%)の割合が多く、女性では30歳代(8.2%)、次いで40歳代(2.6%)となっている。
- ・「お祭りや運動会などの地域行事に参加している」とする回答は、男女とも10歳代~20歳代で0%となっている。「人間関係がわずらわしい」は、全体に比べると男性60歳代が特に多くなっている。



問18 地域の活動にどの程度参加していますか。

SA/n=889

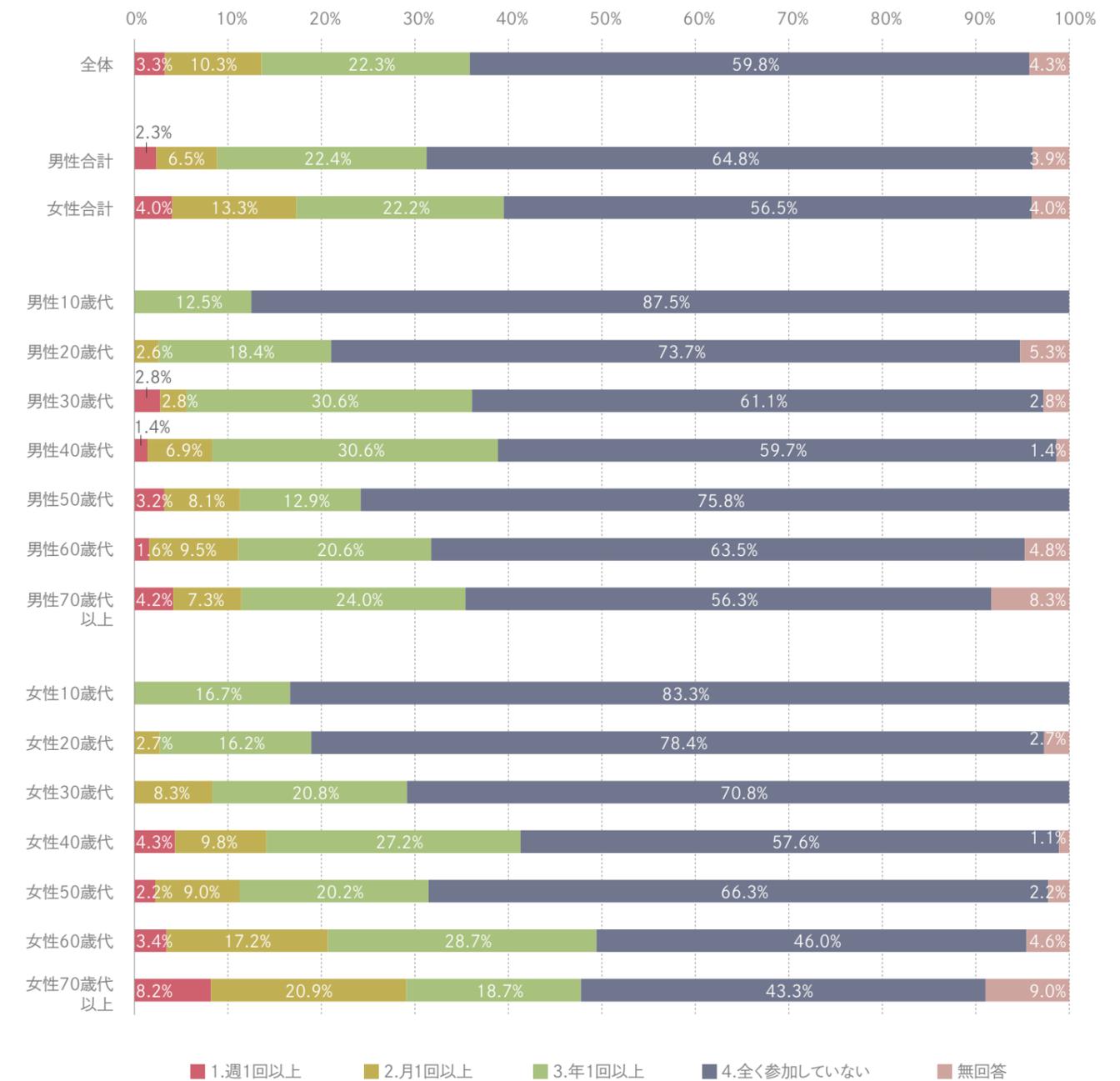
全体

- ・地域の活動に参加している割合は、「週1回以上」3.3%、「月1回以上」10.3%、「年1回以上」22.3%であり、合計で35.9%となっている。
- ・地域の活動に「全く参加していない」とする割合は59.8%となっており、半数以上が地域の活動に参加していない。



性・年齢別

- ・「全く参加していない」とする回答は、男性が64.8%、女性は56.5%であり、男性の割合が多くなっている。
- ・「週1回以上」「月1回以上」とする回答は、女性が男性よりも2倍程度多くなっている。
- ・「全く参加していない」とする回答は、男女とも若い年代ほど多くなる傾向にあるが、30歳代～40歳代ではその上の年代に比べて少し減る傾向にある。
- ・男女とも、年代が上がるにつれて活動の頻度は多くなる。

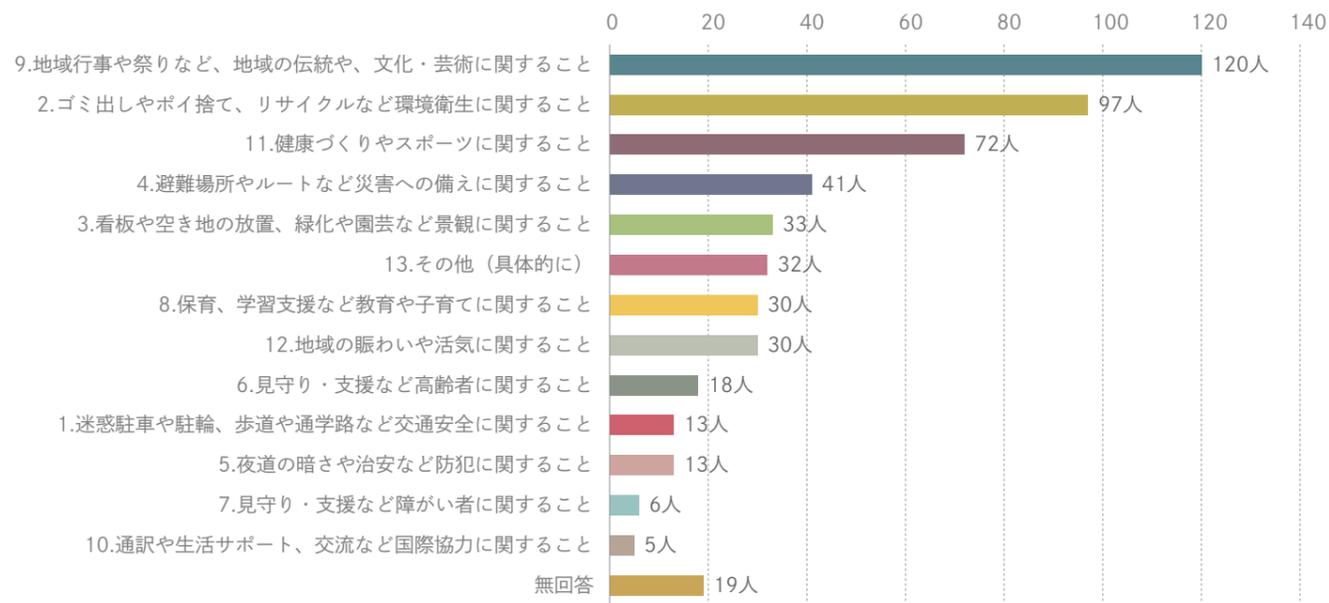


問19 参加している地域の活動はどのようなものですか。

MA/n=342

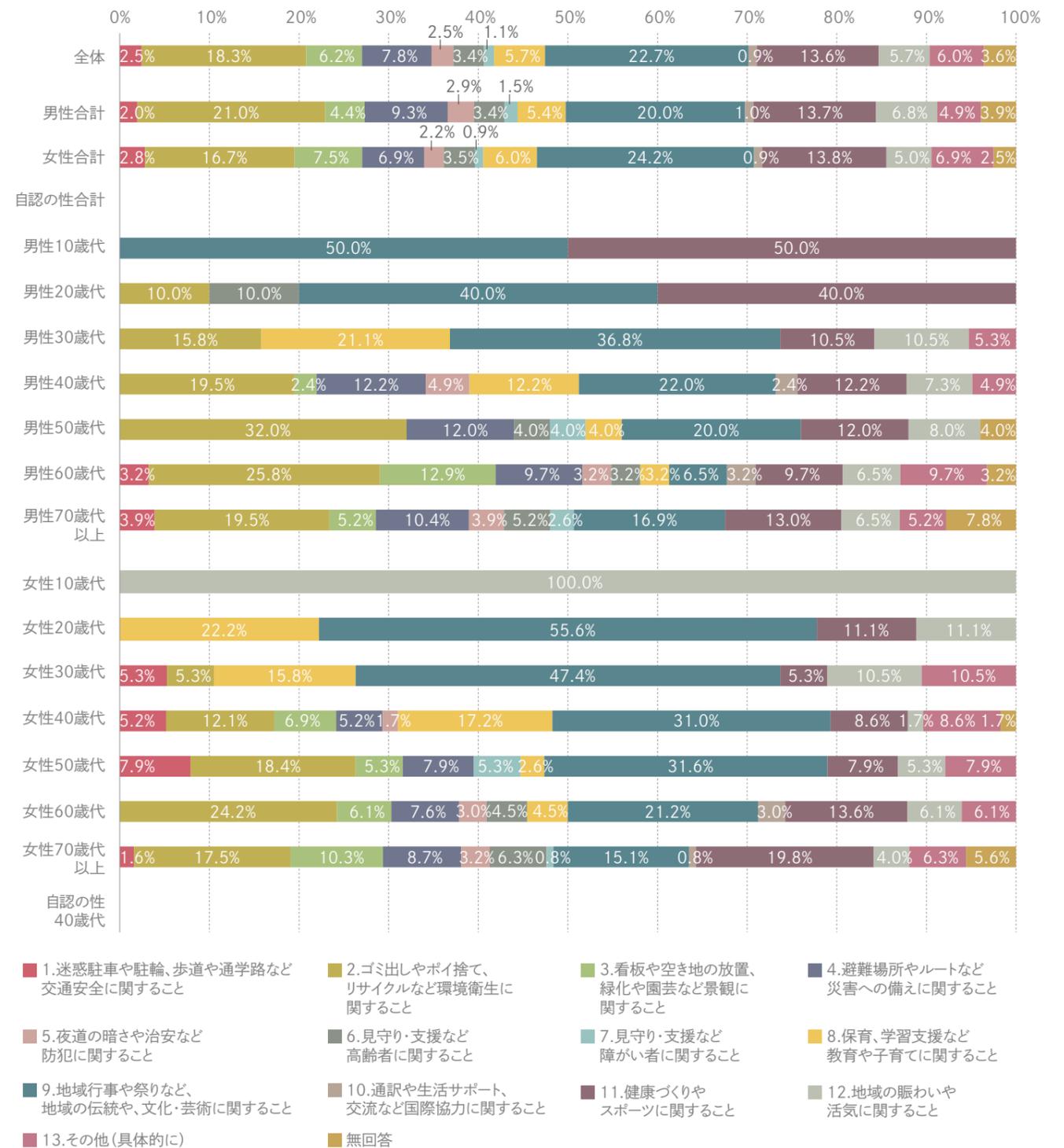
全体

- ・上位には「地域行事や祭りなど、地域の伝統や、文化・芸術に関すること」22.7%、「ゴミ出しやポイ捨て、リサイクルなど環境衛生に関すること」18.3%、「健康づくりやスポーツに関すること」13.6%が並ぶ。
- ・割合が低いのは「見守り・支援など障がい者に関すること」1.1%、「通訳や生活サポート、交流など国際協力に関すること」0.9%となっている。



性・年齢別

- ・男女で大きな差はみられない。
- ・「地域行事や祭りなど、地域の伝統や、文化・芸術に関すること」とする回答は、男女とも、若い年代ほど割合が多くなっている。
- ・「健康づくりやスポーツに関すること」とする回答は、男性では10歳代～20歳代で40～50%と最も多いが、女性では70歳代以上の19.8%が最も多く、次いで60歳代13.6%となっている。
- ・「地域の賑わいや活気に関すること」とする回答は、男性で10歳代～20歳代の割合が低い一方、30歳代で高くなっている。女性では10歳代、20歳代～30歳代にかけて多くなっている。

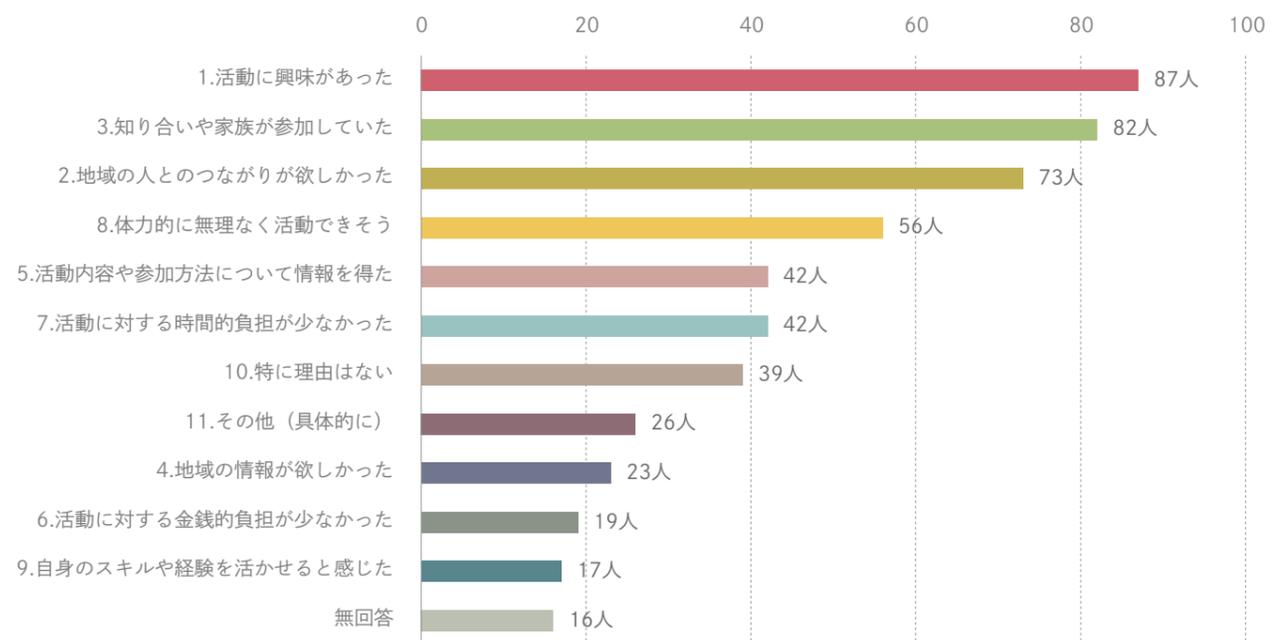


問20 参加している理由は何ですか。

ML3/n=342

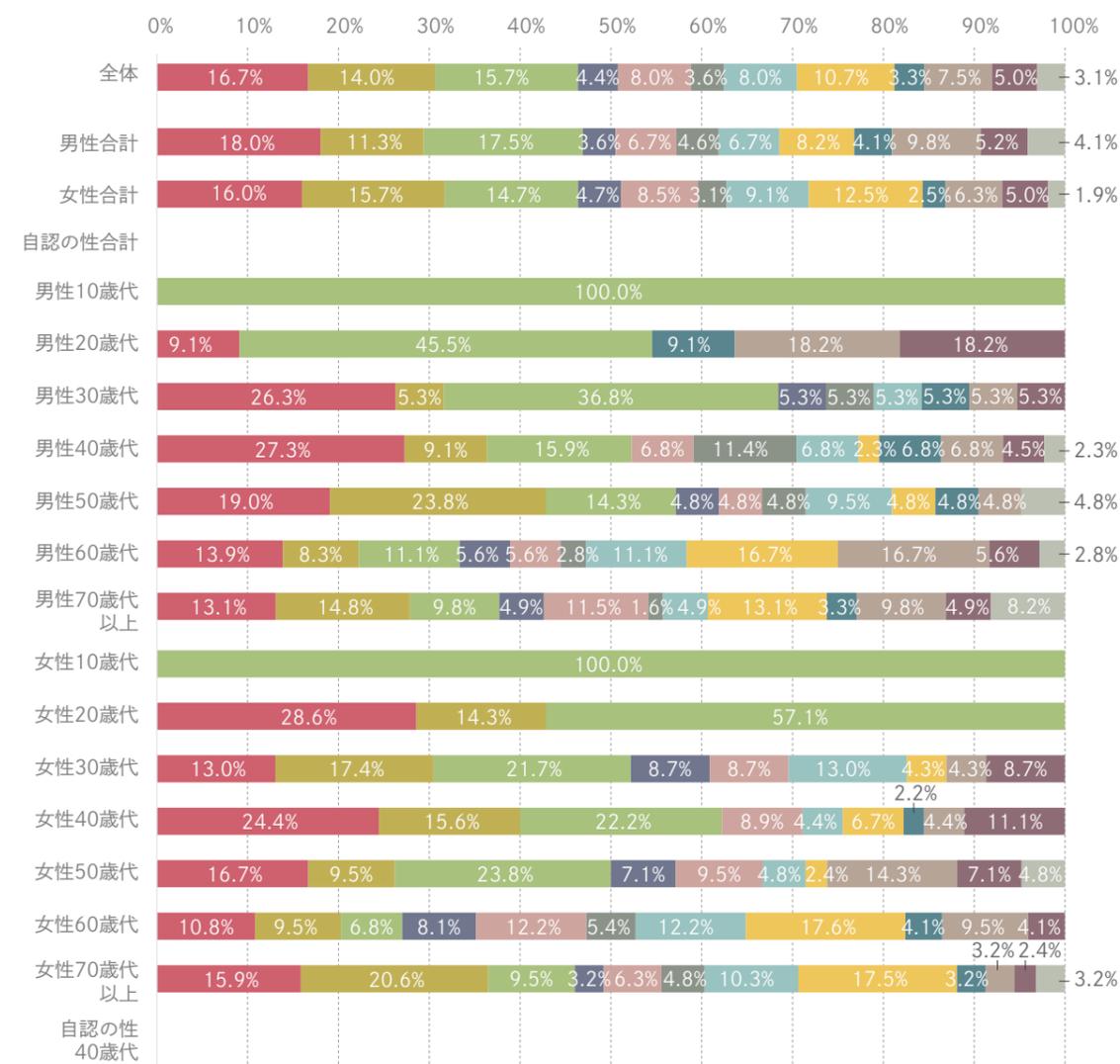
全体

- ・「活動に興味があった」16.7%、「知り合いや家族が参加していた」15.7%、「地域の人とのつながりが欲しかった」14%、「体力的に無理なく活動できそう」10.7%が上位に並ぶ。
- ・参加動機として割合が低いのは「自身のスキルや経験を活かせると感じた」3.3%、「活動に対する金銭的負担が少なかった」3.6%、「地域の情報が欲しかった」4.4%となっている。
- ・「特に理由はない」とする回答は、全11個中、7番目の多さ(7.5%)である。
- ・活動に対する情報や時間的・金銭的負担は地域での活動の参加動機としては大きく影響はみられない。



性・年齢別

- ・男女で大差はないが、女性において「地域の人とのつながりが欲しかった」が男性よりも多くなっている。また、「特に理由はない」という割合は男性が女性よりも多くなっている。
- ・「活動に興味があった」とする回答は全体に比べると男性では30歳代(26.3%)～40歳代(27.3%)が特に多く、女性では20歳代(28.6%)、40歳代(24.4%)が多い。
- ・「知り合いや家族が参加していた」とする回答は、男女とも若い年代ほど割合が多くなっており、特に10歳代では100%、20歳代では約半数を占めている。
- ・「地域の人とのつながりが欲しかった」とする回答は、女性では特に70歳代以上(20.6%)、30歳代(17.4%)が多く、男性では50歳代(23.8%)の割合の多さが顕著にみられる。
- ・「体力的に無理なく活動できそう」とする回答は、特に60歳代～70歳代以上で多くみられる。
- ・「地域の情報が欲しかった」とする回答は、男女とも、30歳代、50歳代～70歳代以上でみられる。

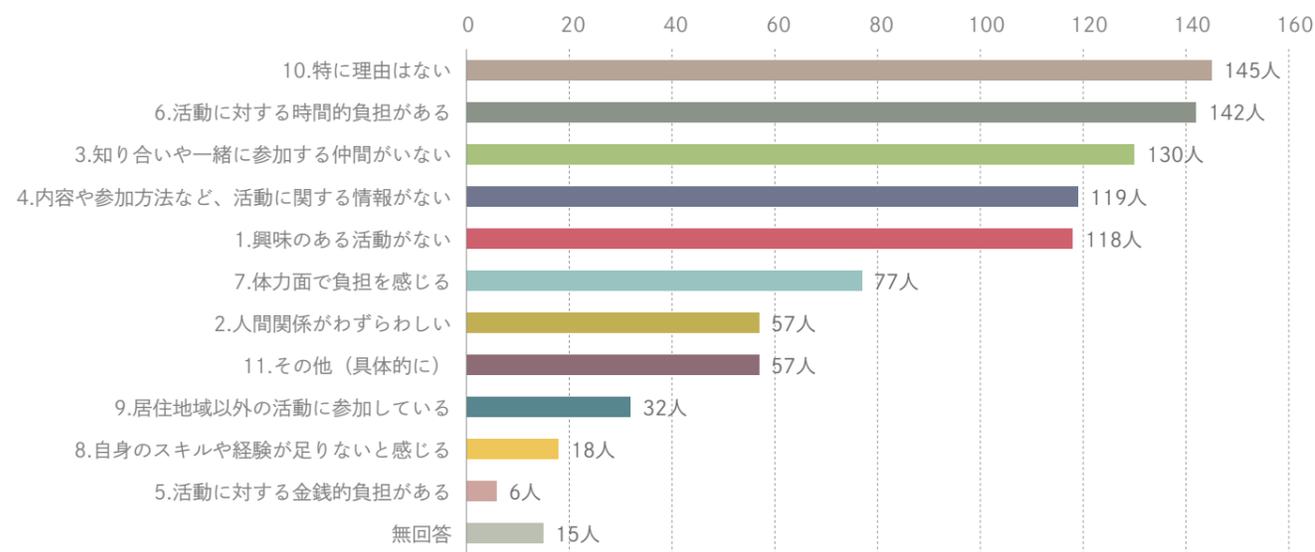


問21 参加していない理由は何ですか。

ML3/n=557

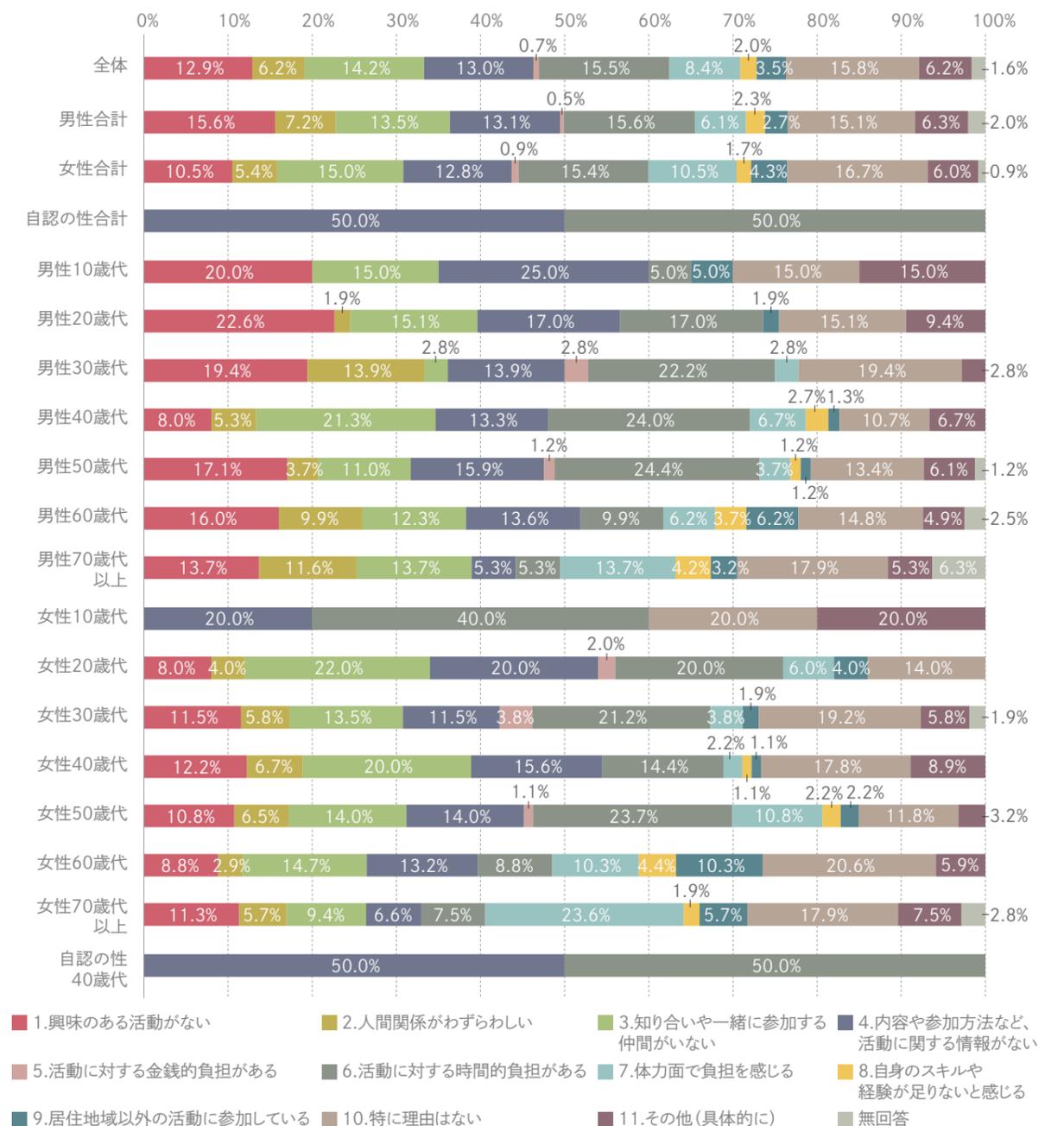
全体

- ・「特に理由はない」15.8%、「活動に対する時間的負担がある」15.5%、「知り合いと一緒に参加する仲間がいない」14.2%、「内容や参加方法など、活動に関する情報がない」13%、「興味のある活動がない」12.9%が上位に並ぶ。
- ・参加していない理由として少ないのは、「活動に対する金銭的負担がある」0.7%、「自身のスキルや経験が足りないと感じる」2%、「居住地域以外の活動に参加している」3.5%となっている。



性・年齢別

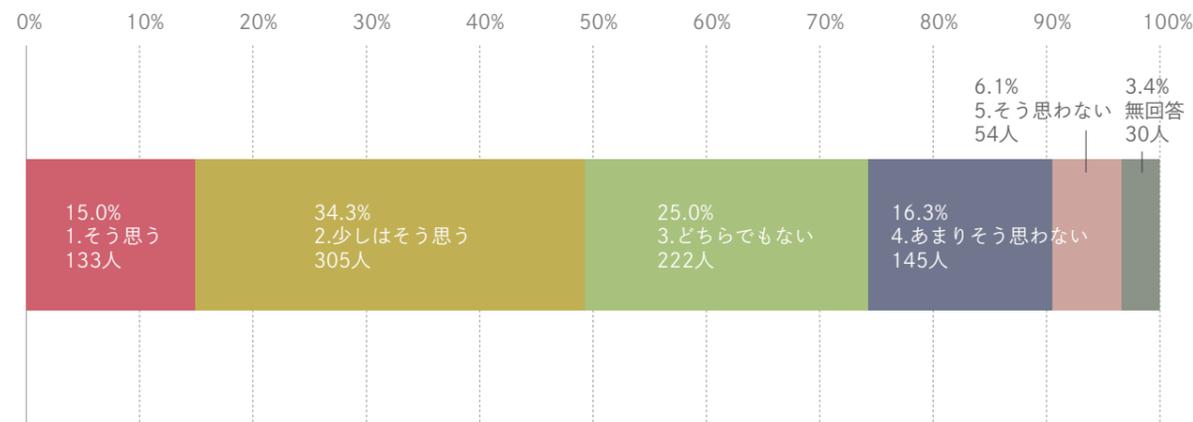
- ・「興味のある活動がない」については男性が多く、「体力面で負担を感じる」は女性が多くなっている。
- ・「特に理由はない」とする回答は、男女とも全体と比べて大差はみられない。
- ・「活動に対する時間的負担がある」とする回答は、男性では20歳代～50歳代が多くなっており、女性では10歳代が40%と最も多く、次いで20歳代～50歳代が比較的多くみられる。
- ・「知り合いと一緒に参加する仲間がいない」とする回答は、全体と比べると男性では30歳代が特に低く(2.8%)、40歳代が最も多くなっている(21.3%)。女性では20歳代(22%)、40歳代(20%)で全体より割合が多くなっている。
- ・「興味のある活動がない」という回答は、全体に比べると男性では40歳代(8%)でのみ低くなっている。女性では全体との大差はみられない。
- ・「人間関係がわずらわしい」とする回答は他の性別年代に比べて男性30歳代が多い。



問22 今後(も)、お住まいの地域の活動に参加したいと思いますか。 SA/n=889

全体

- ・「そう思う」15%、「少しはそう思う」34.3%となっており、49.3%が参加意向がある。一方、「あまりそう思わない」16.3%、「そう思わない」6.1%となっており、22.4%が参加意向がない。
- ・「どちらでもない」とする回答は25%であり、1/4を占めている。



性・年齢別

- ・男女で大差は見られないが、女性では50%以上が参加意向を示しているのに対し、男性では40%強の割合となっている。
- ・参加意向のある割合について、男性では10歳代、30歳代、40歳代、70歳以上が50%以上の割合であり、女性では10歳代、40歳代～70歳代以上が50%以上の割合となっている。
- ・不参加意向のある割合について、男性で1/3を超えているのは20歳代(39.4%)、60歳代(33.3%)であり、1/4を超えるのは70歳代以上(25%)である。女性では1/3を超えるのは10歳代(33.3%)のみであるが、1/4を超えるのは、20歳代～30歳代(約27%)、70歳代以上(25.4%)となっている。
- ・「どちらでもない」とする回答は、男性では50歳代が最も多く(40.3%)、次いで10歳代(37.5%)、20歳代(36.8%)が多くなっている。女性では20歳代が最も多く(37.8%)、次いで30歳代(31.3%)となっている。

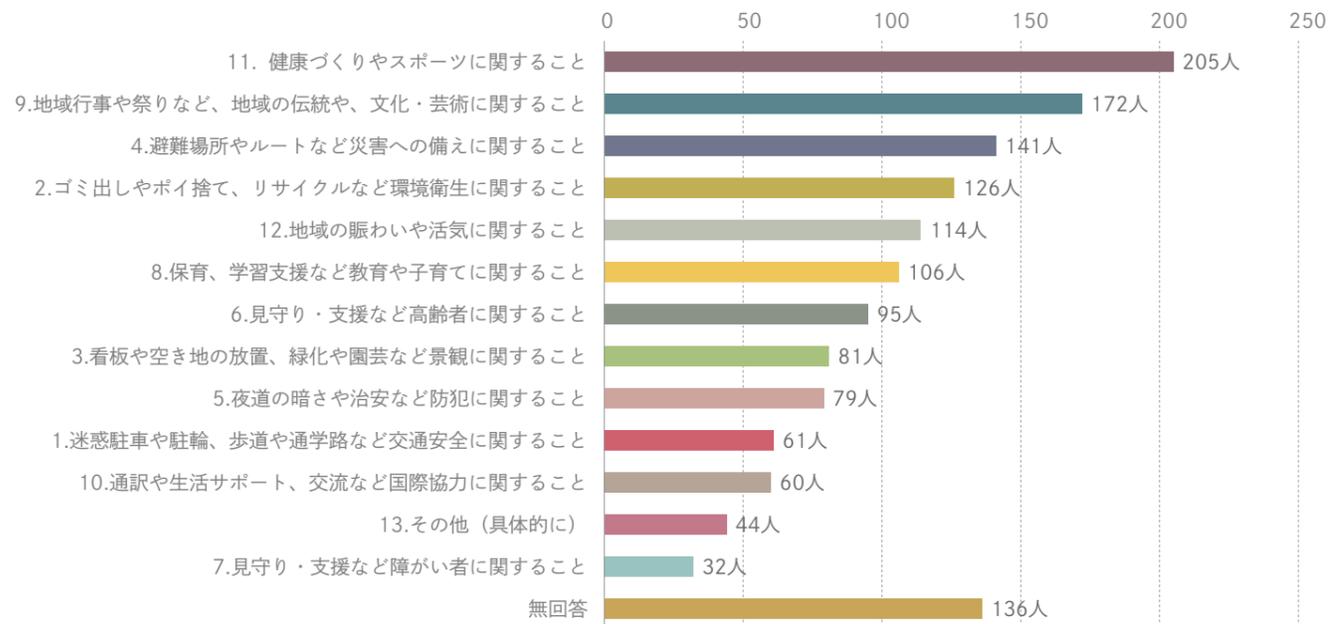


問23 今後参加したい地域の活動はどのようなものですか。

ML3/n=889

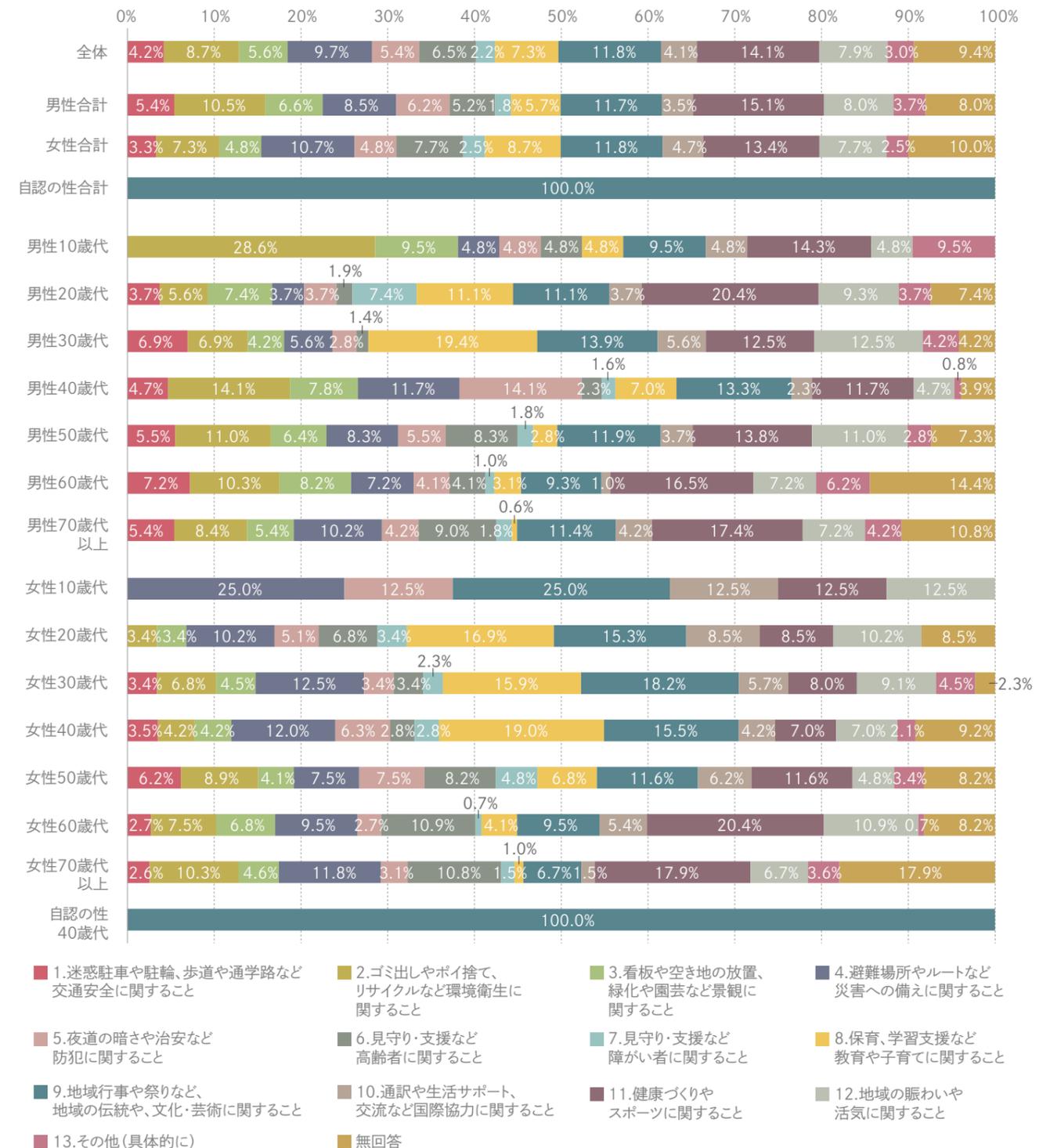
全体

- ・上位には「健康づくりやスポーツに関すること」14.1%、「地域行事や祭りなど、地域の伝統や、文化・芸術に関すること」11.8%と自身の興味に基づくものがあがっている。次いで「避難場所やルートなど災害への備えに関すること」9.7%が並ぶ。
- ・回答が少ないのは「見守り・支援など障がい者に関すること」2.2%、「その他」3%、「通訳や生活サポート、交流など国際協力に関すること」4.1%となっている。



性・年齢別

- ・「健康づくりやスポーツに関すること」とする回答は、男性では特に20歳代が20.4%と多く、それ以外の年代については15%程度となっている。女性では60歳代が最も多く(20.4%)、次いで70歳代以上(17.9%)となっている。女性でそれ以外の年代は7~10%前後の割合となっている。
- ・「地域行事や祭りなど、地域の伝統や、文化・芸術に関すること」とする回答は、女性では若い年代ほど割合が多くなっている。男性では年代による割合に特にそうした傾向は見られないが、30歳代~40歳代の割合が最も多く、約13%となっている。
- ・「地域の賑わいや活気に関すること」とする回答は、女性では10歳代~30歳代、60歳代で比較的多い傾向にあり、男性では20歳代~30歳代、50歳代で比較的多くみられる。

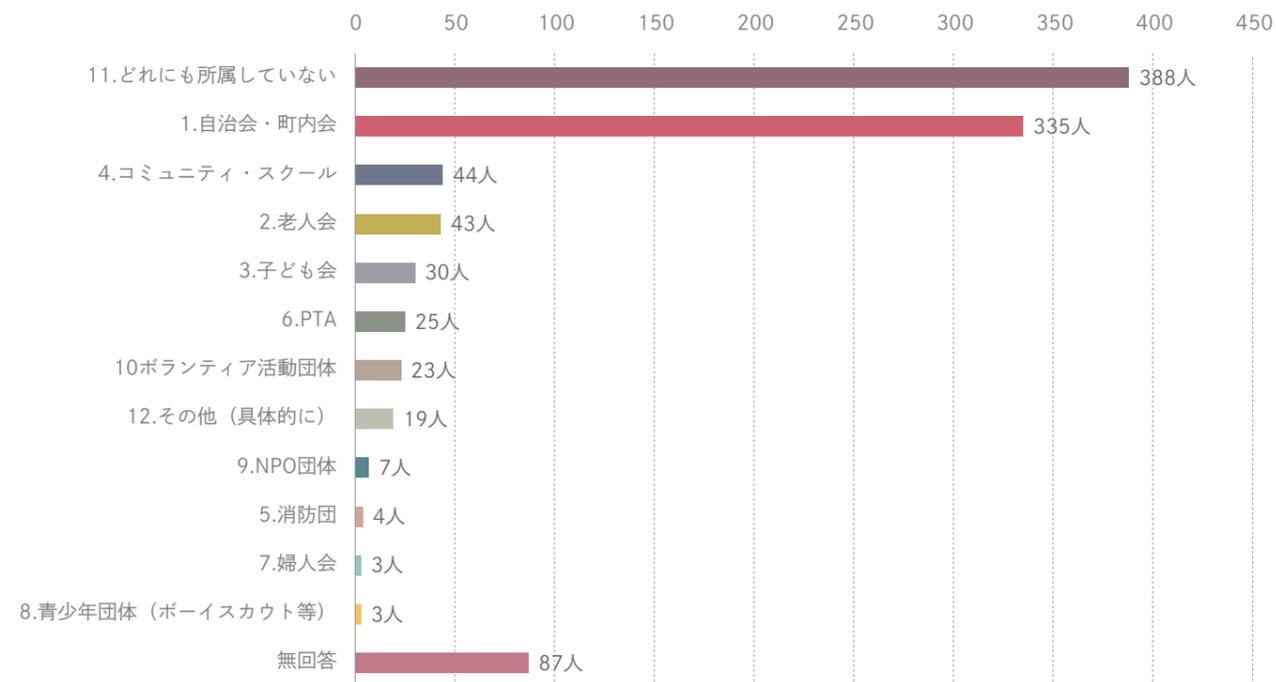


問24 所属している地域の活動団体はどのようなものですか。

MA/n=889

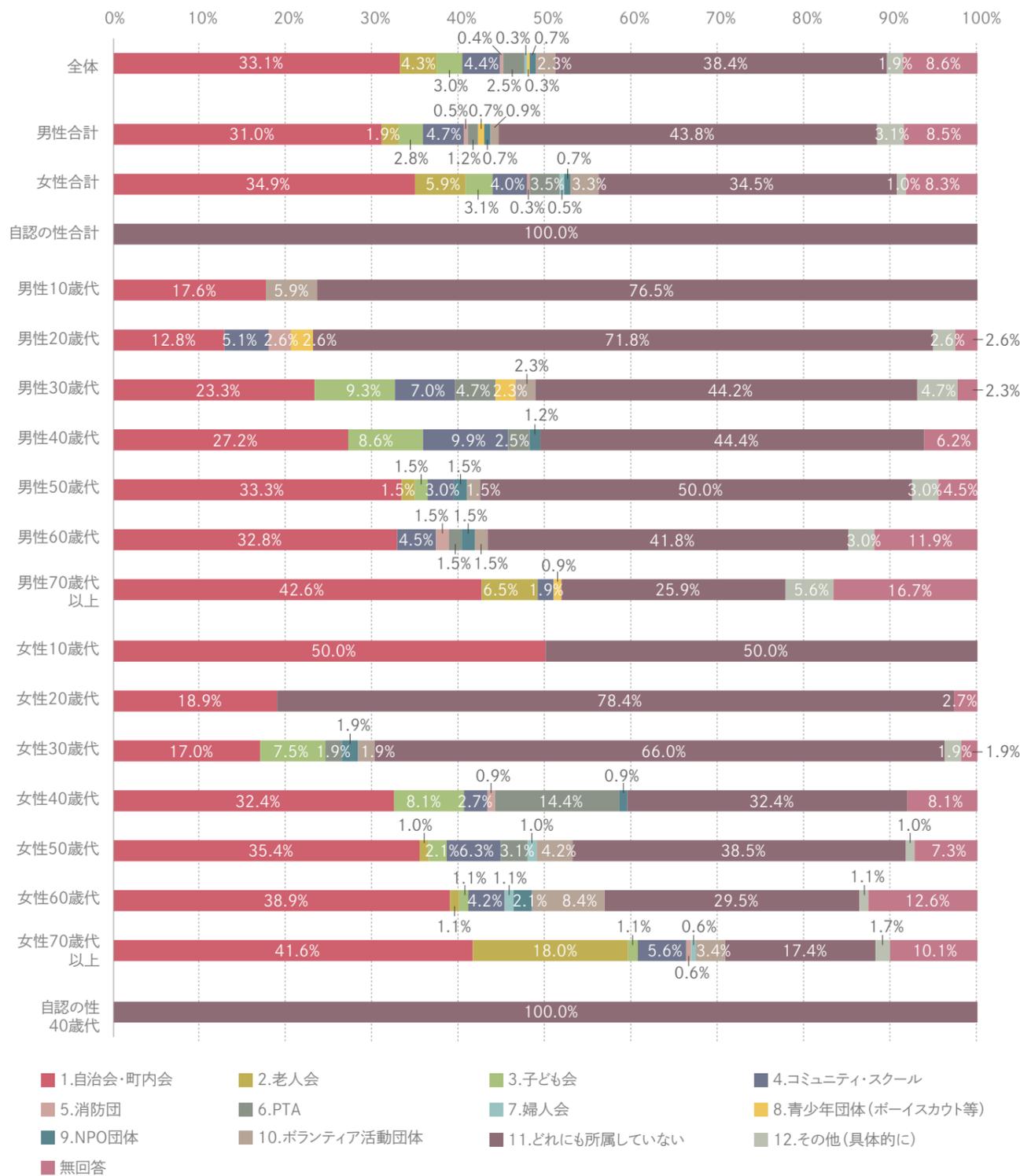
全体

- ・「どれにも所属していない」とする回答が最も多く、38.4%となっている。次いで「自治会・町内会」が33.1%となっている。
- ・その次に多いのは「無回答」(8.6%)となっている。



性・年齢別

- ・男性で「どれにも所属していない」という回答は43.8%となっており、女性では34.5%である。
- ・「どれにも所属していない」という回答は、男性では10歳代～20歳代が約70%と最も多く、女性では20歳代(78.4%)～30歳代(66%)が多くなっている。
- ・「自治会・町内会」とする回答は、男女ともに年代が上がるにつれて多くなる傾向にあるが、女性10歳代では50%が回答しており特殊となっている。



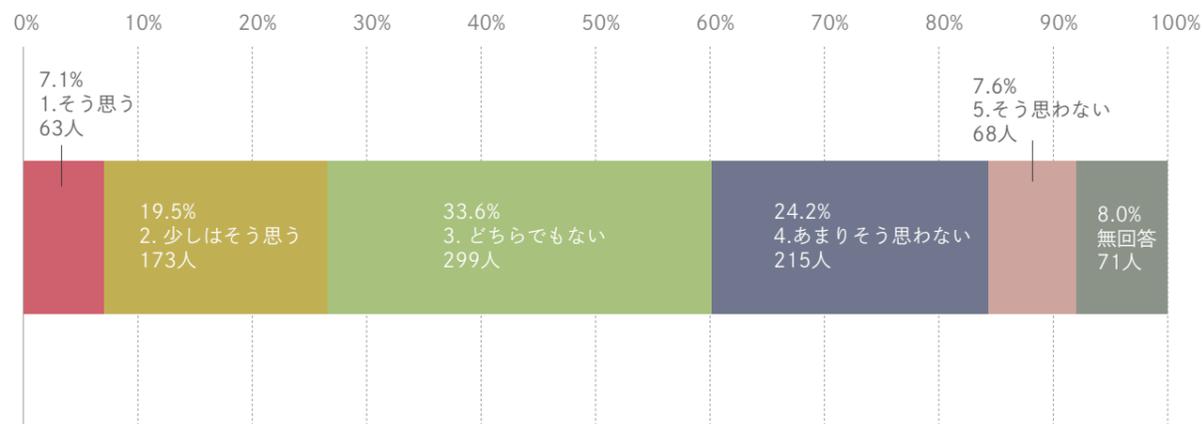
問25 活動を行う機会・場所が十分にあると思いますか。

SA/n=889

全体

・「そう思う」7.1%、「少しはそう思う」19.5%であり、26.6%が活動を行う機会・場所があると感じている。一方、「あまりそう思わない」24.2%、「そう思わない」7.6%であり、活動を行う機会・場所がないと感じている割合は31.8%となっている。

・「どちらでもない」とする回答は33.6%であり、最も多くなっている。



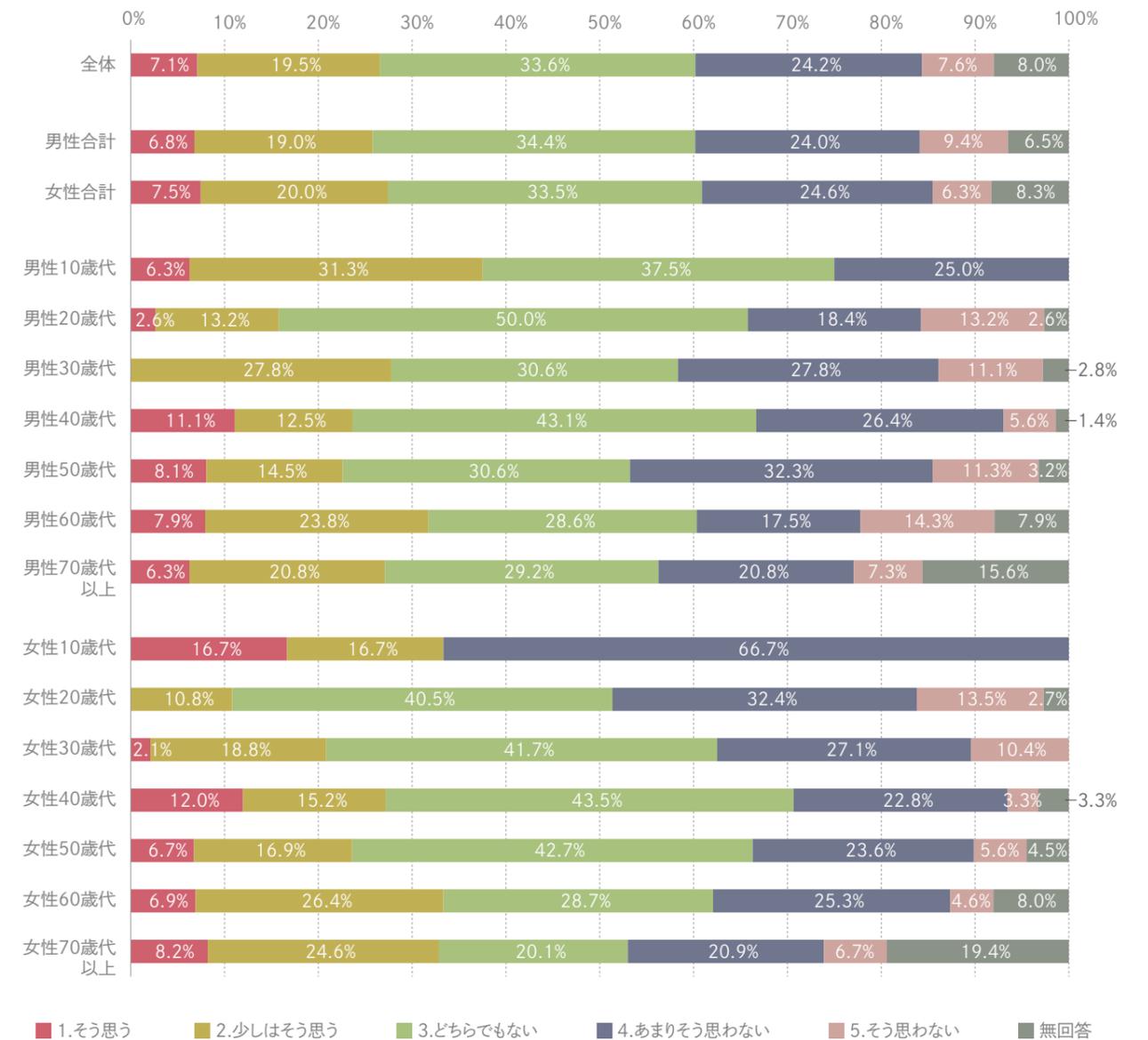
性・年齢別

・性別による大差はみられない。

・「そう思う」「少しはそう思う」の割合を合わせると、男女ともに、20歳代のみ1/4に満たない。

・「あまりそう思わない」「そう思わない」の割合を合わせると、男性では50歳代が最も割合が多く(43.6%)、次いで30歳代(38.9%)となっている。女性では、10歳代が最も多く(66.7%)、次いで20歳代(45.9%)となっている。男性では年代による差はあまりない(全体的に30~40%)が、女性では若い年代ほど割合が多い傾向がみられる。

・「どちらでもない」という回答は、男性では20歳代が50%と最も多く、女性では20歳代~50歳代にかけて多くなっている。

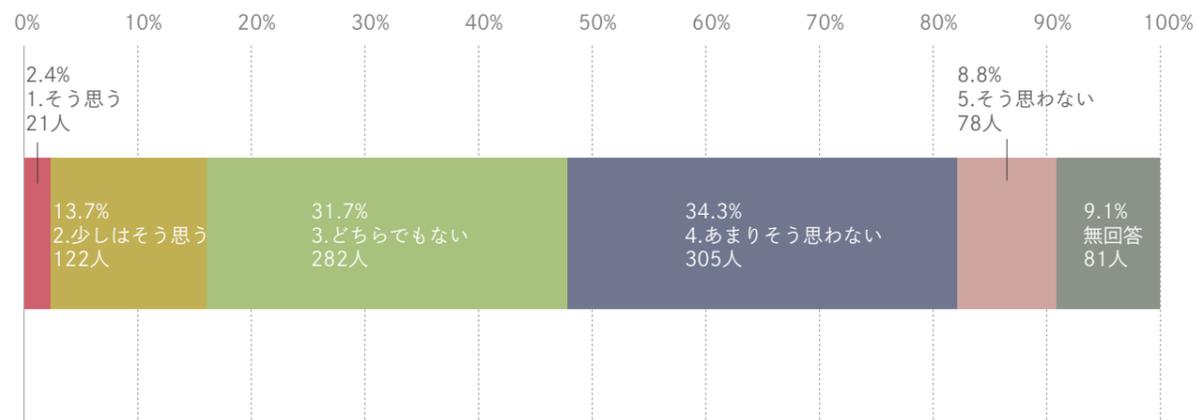


問26 活動に参加する人が十分にいますか。

SA/n=889

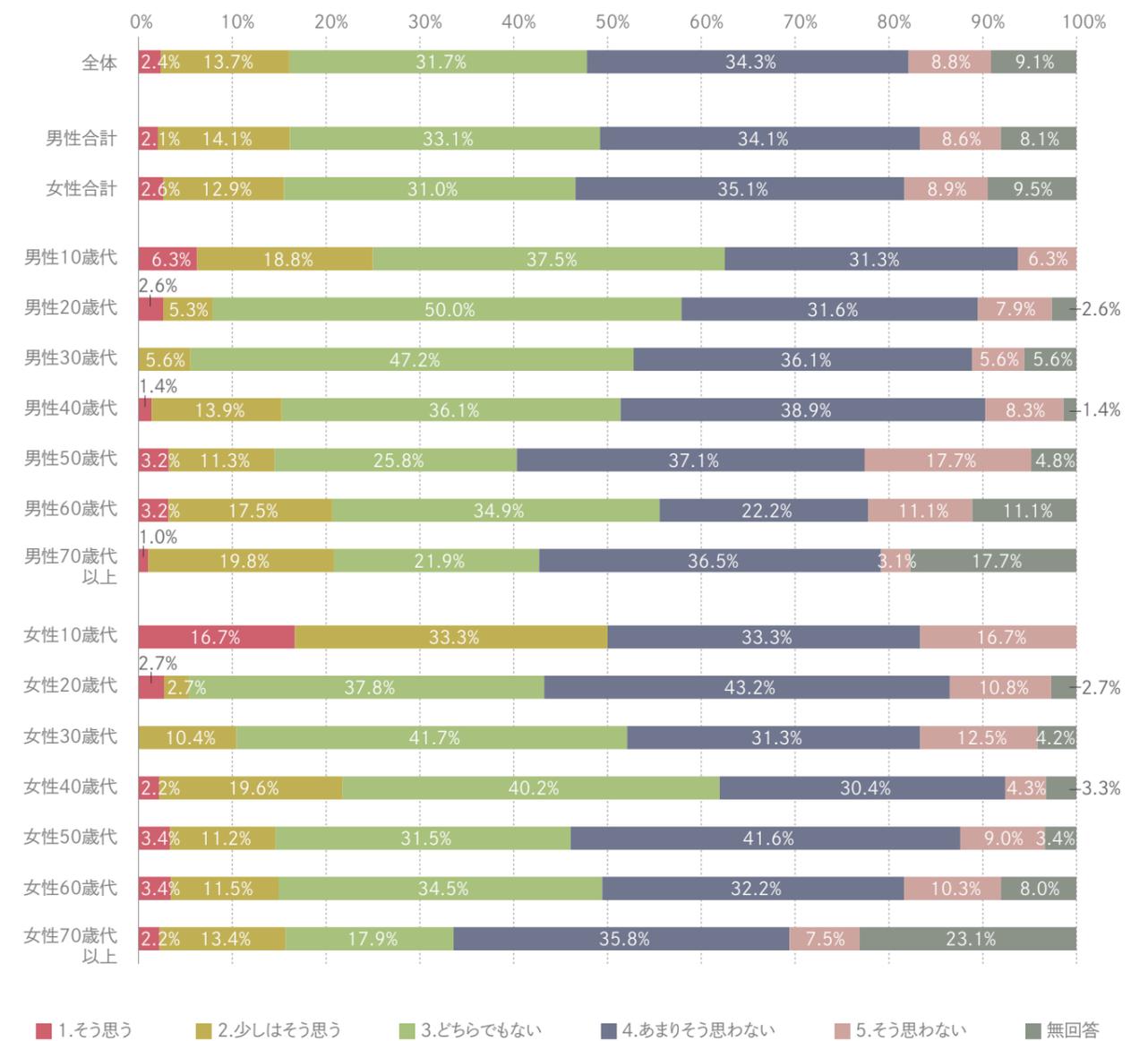
全体

- ・「そう思う」2.4%、「少しはそう思う」13.7%であり、16.1%が活動に参加する人がいると感じている。一方、「あまりそう思わない」34.3%、「そう思わない」8.8%であり、43.1%が活動に参加する人がいないと感じている。
- ・「どちらでもない」とする回答は31.7%であり、活動に参加する人がいないと感じている人に次いで多くなっている。



性・年齢別

- ・性別による大差はみられない。
- ・「そう思う」「少しはそう思う」の割合を合わせると、活動に参加する人がいると感じている割合が20%を超えているのは、男性では10歳代(25.1%)、60歳代(20.3%)、70歳代以上(20.8%)である。女性では10歳代(50%)と40歳代(21.8%)となっている。
- ・「あまりそう思わない」「そう思わない」の割合を合わせると、男性では50歳代が最も多く(54.8%)、次いで40歳代(47.2%)である。女性では20歳代が54%と最も多く、次いで10歳代と50歳代が約50%となっている。
- ・「どちらでもない」とする回答は、男性で20歳代(50%)、30歳代(47.2%)が多く、女性では30歳代～40歳代が約40%と比較的多くなっている。

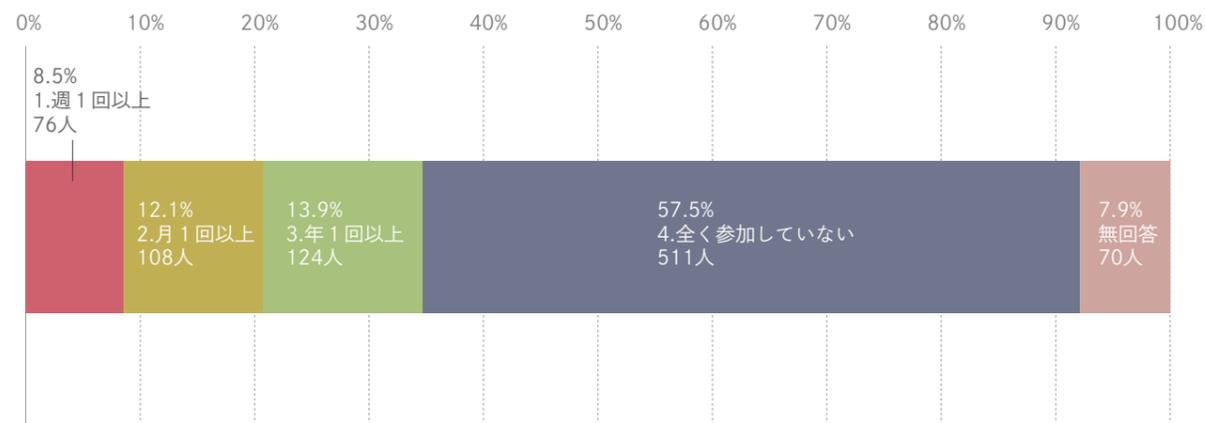


問27 地域にとらわれない活動にどの程度参加していますか。

SA/n=889

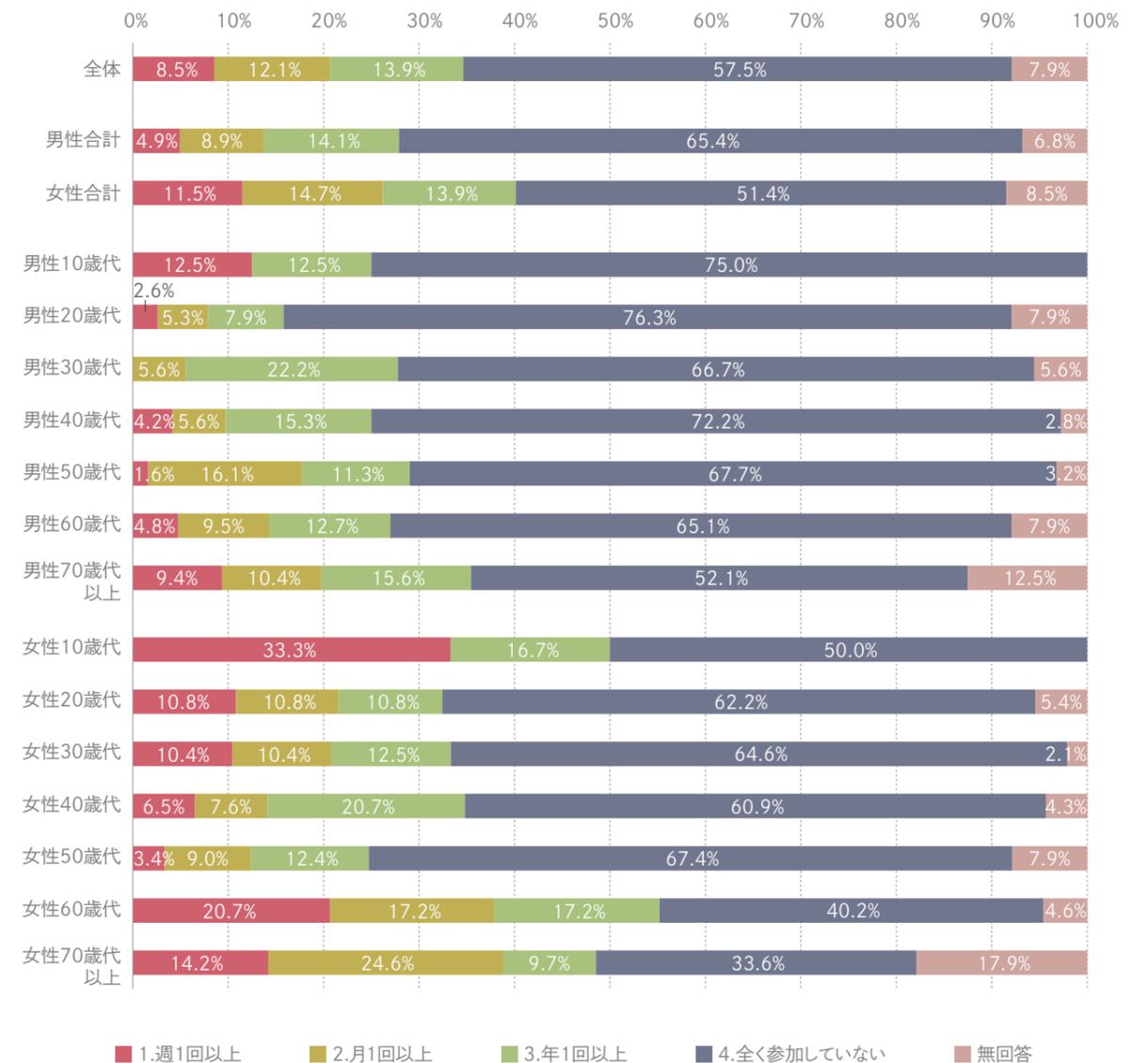
全体

- ・活動に参加している割合は、「週1回以上」8.5%、「月1回以上」12.1%、「年1回以上」13.9%であり、合計で34.5%となっている。
- ・活動に「全く参加していない」とする割合は57.5%となっており、半数以上が活動に参加していない。



性・年齢別

- ・男女別では、活動に参加している割合は男性が27.9%、女性が40.1%であり、女性の割合が多くなっている。
- ・活動に「全く参加していない」とする回答は、男性では20歳代が最も多く(76.3%)、次いで10歳代(75%)となっている。女性では50歳代が最も多く(67.4%)、次いで30歳代(64.6%)である。
- ・活動に参加している回答は、男性では20歳代が最も低く(15.8%)、その他10歳代、30歳代～60歳代は約25～30%となっている。70歳代以上のみ、35.4%と30%を超えている。女性では、活動に参加している割合は50歳代が最も低く(24.8%)、20歳代～40歳代では30%弱となっている。10歳代、60歳代～70歳代以上のみ、約50%となっている。
- ・男女とも、年代が上がるほど比較的、活動の参加率は高くなっている。

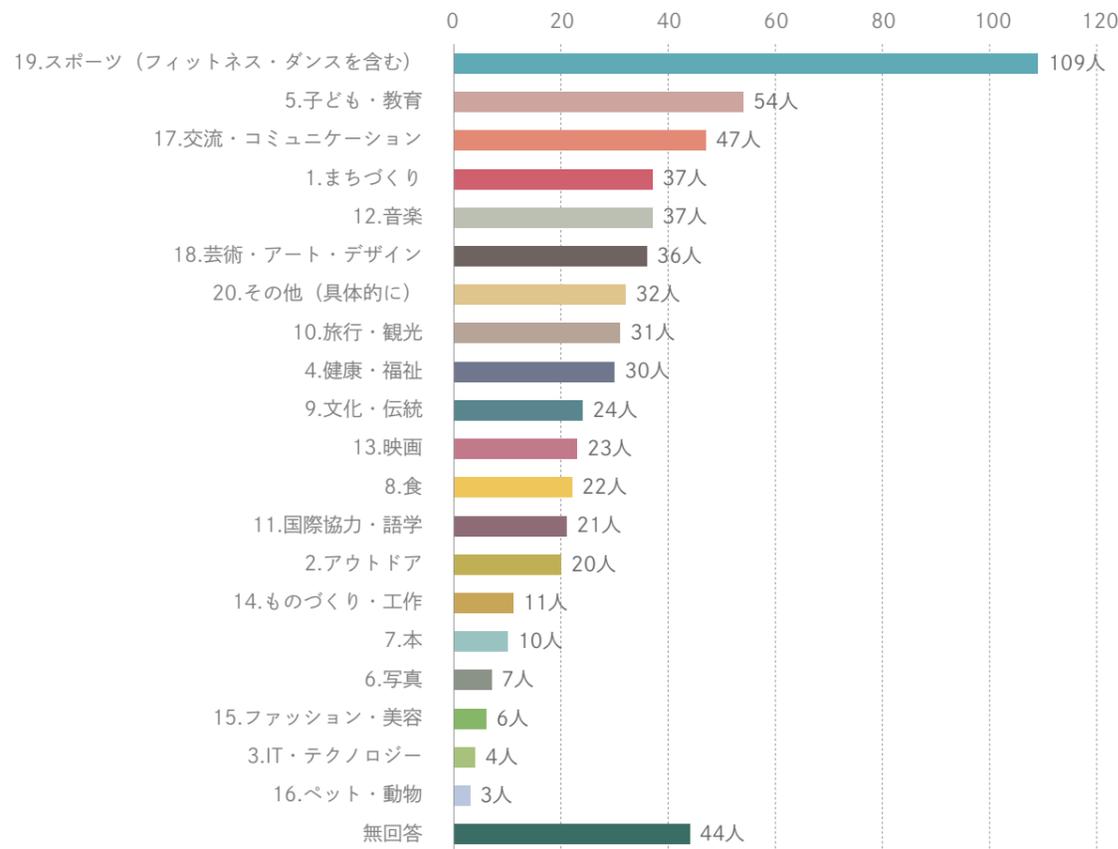


問28 参加している活動はどのようなものですか。

MA/n=889

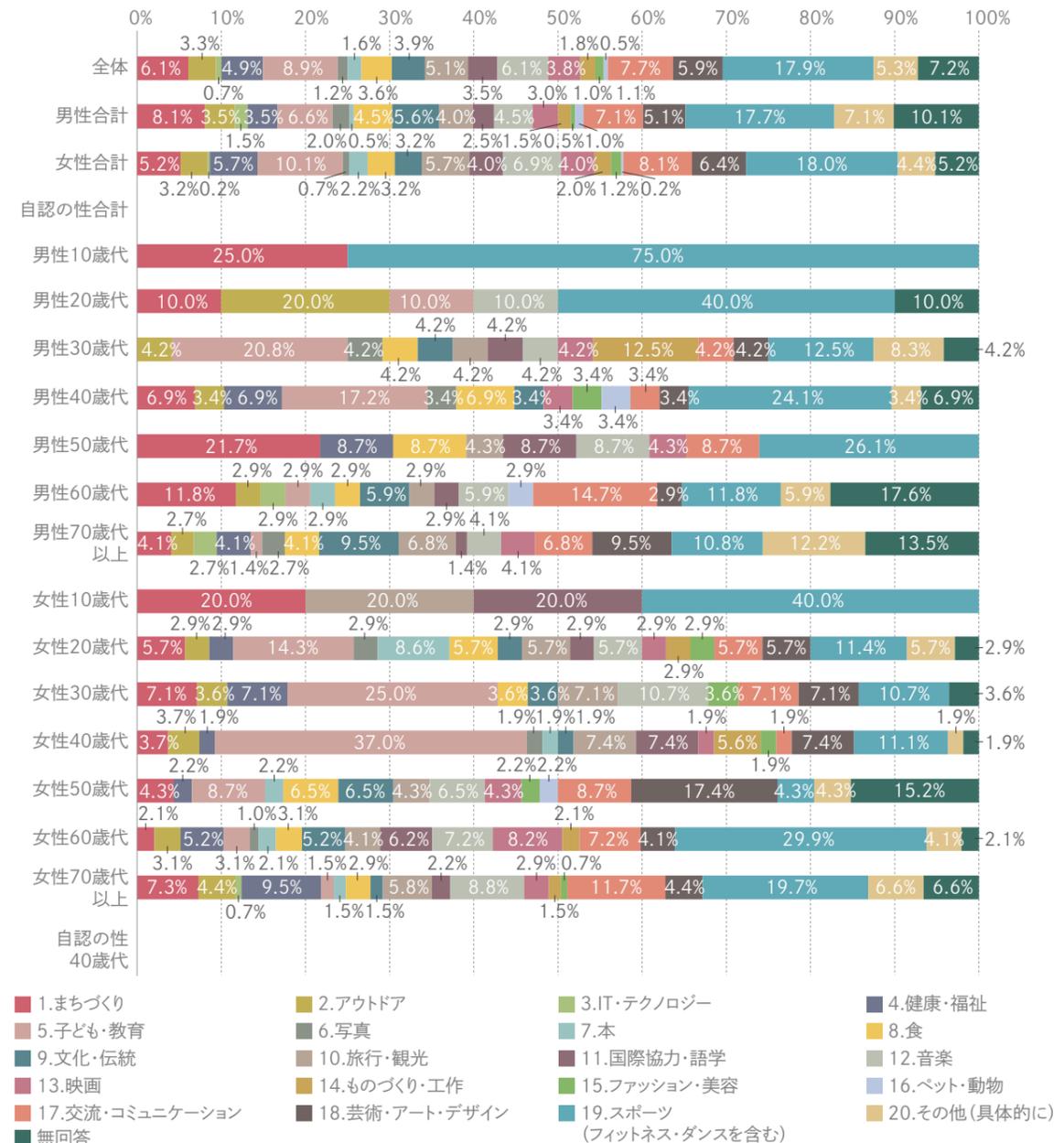
全体

- ・「スポーツ(フィットネス・ダンスを含む)」とする回答が17.9%と最も多く、次いで「子ども・教育」8.9%、「交流・コミュニケーション」7.7%、「まちづくり」6.1%、「音楽」6.1%となっている。
- ・回答が少ないのは、「ペット・動物」0.5%、「IT・テクノロジー」0.7%、「ファッション・美容」1%、「写真」1.2%、「本」1.6%となっている。



性・年齢別

- ・上位5項目で男女の大差はないが、全体と比べて「まちづくり」は男性で多く、「子ども・教育」は女性が多い。
- ・「スポーツ」とする回答は、男性では年代が低いほど割合が多い一方、女性でも10歳代が最も多いが、20歳代~50歳代で減少した後、60歳代、70歳代以上では増加がみられる。
- ・「交流・コミュニケーション」とする回答は、全体と比べると、男性では60歳代が最も多く(14.7%)、次いで50歳代となっているが、20歳代は0%である。女性では、70歳代以上が最も多く(11.7%)、次いで50歳代となっている一方で、40歳代が最も少ない。
- ・「まちづくり」とする回答は、男性では10歳代が最も多く(25%)、次いで50歳代で、30歳代が最も少ない。女性でも10歳代が最も多く(20%)、次いで70歳代以上、30歳代が並び、60歳代が最も少ない。
- ・女性では「子ども・教育」とする回答が30歳代(25%)、40歳代(37%)で顕著にみられる。
- ・男性では「アウトドア」とする回答が20歳代(20%)で顕著にみられる。

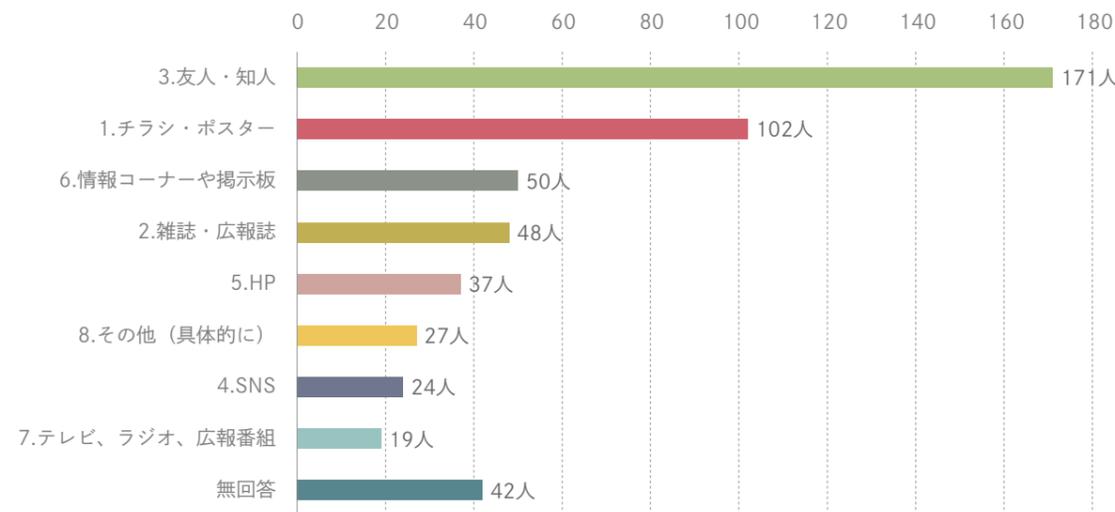


問29 活動に関する情報をどのように得ましたか。

ML3/n=358

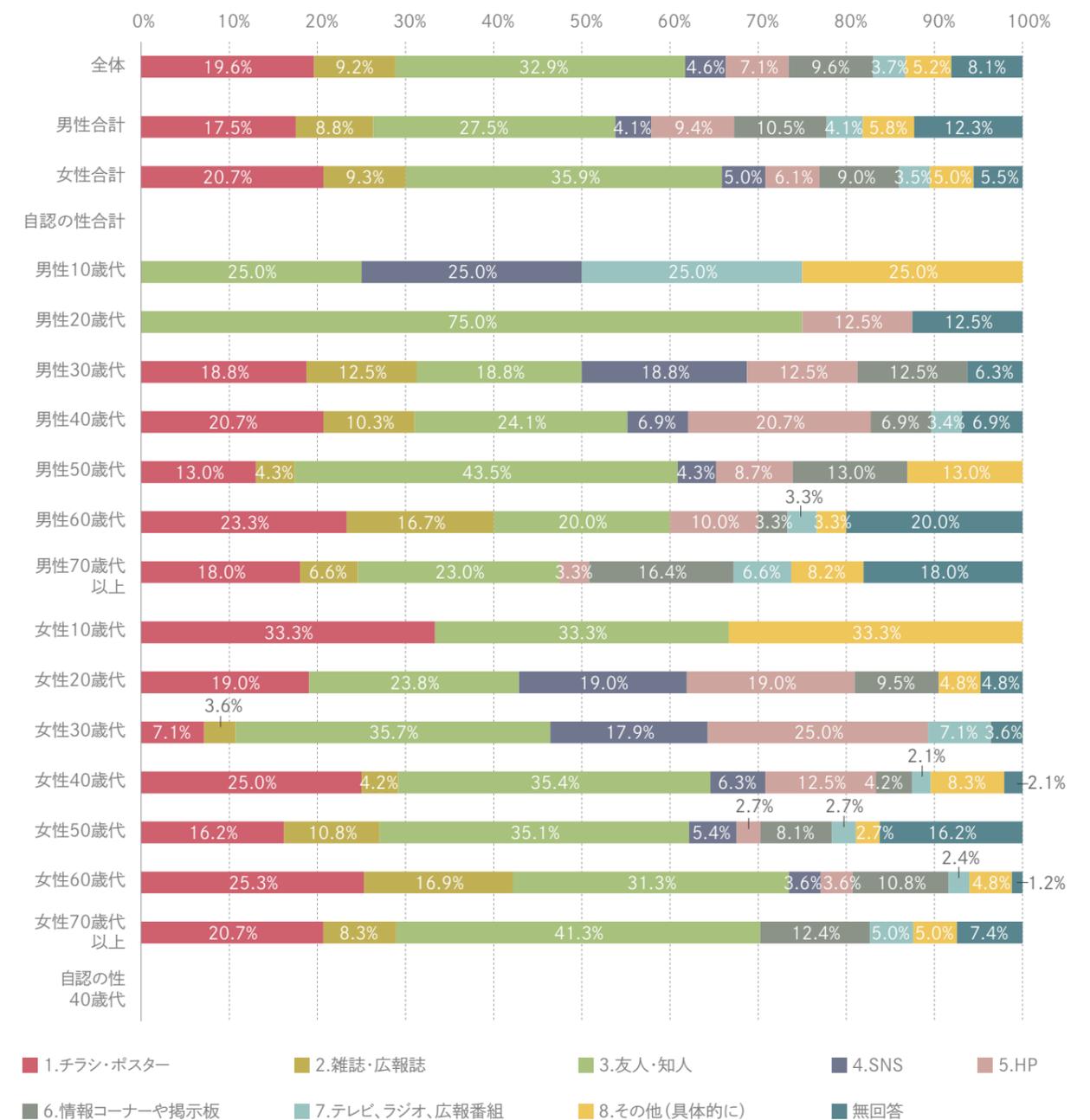
全体

- ・「友人・知人」とする回答が最も多く34.1%を占め、次いで「チラシ・ポスター」20.3%、「情報コーナーや掲示板」10%、「雑誌・広報誌」9.6%となっている。
- ・回答が少ないのは、「テレビ、ラジオ、広報番組」3.8%、「SNS」4.8%となっている。



性・年齢別

- ・「友人・知人」とする回答は、男女別で見ると全体と比べて男性の割合が低く、女性が多い。年代別で見ると、男性では20歳代で最も多く(75%)、次いで50歳代(43.5%)となっており、その他の年代は約20~25%である。女性では、70歳代以上が最も多く(41.3%)、20歳代(23.8%)を除くその他の年代は約30~35%となっている。
- ・紙媒体で情報を得ている(「チラシ・ポスター」「雑誌・広報誌」)ものについては、男性に比べ女性の割合が高くなっている。男性では全体と比べて60歳代が40%と特に多く、次いで30歳代(31.3%)、40歳代(31%)となっている。女性では60歳代が最も多く(42.2%)、次いで10歳代(33.3%)、70歳代以上(29%)となっている。

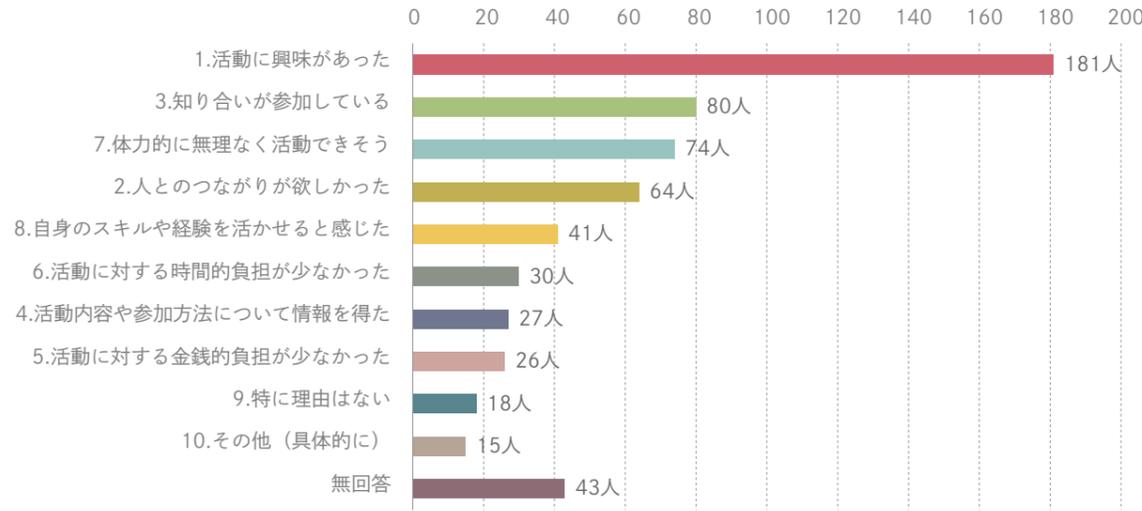


問30 参加している理由は何ですか。

ML3/n=359

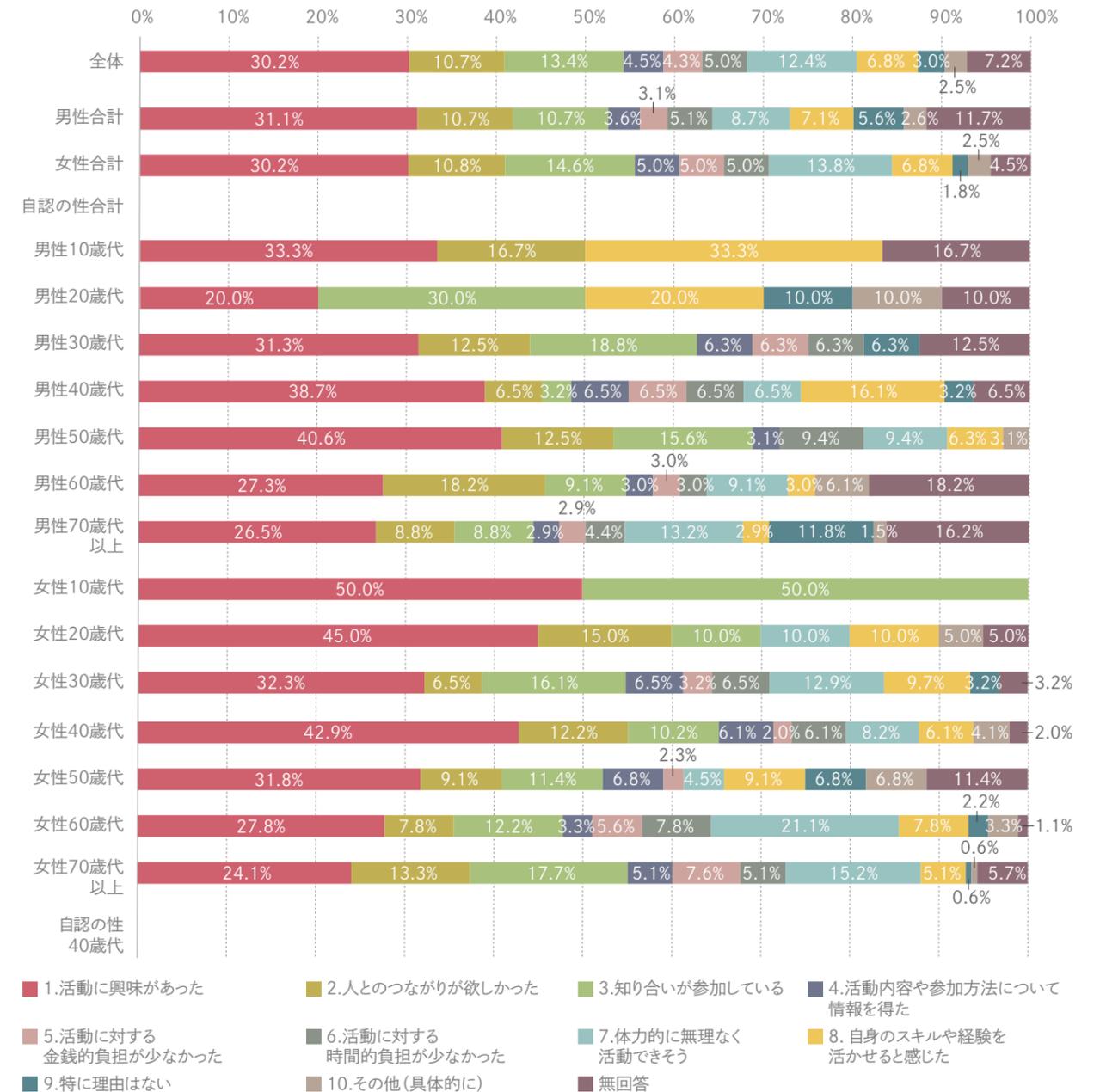
全体

- ・「活動に興味があった」が30.2%と最も多く、次いで「知り合いが参加している」13.4%、「体力的に無理なく活動できそう」12.4%、「人とのつながりが欲しかった」10.7%が並ぶ。
- ・特に少ないのは「その他」2.5%、「特に理由はない」3%となっている。



性・年齢別

- ・「活動に興味があった」とする回答は、全体と比べて男性では40歳代～50歳代で多くなっている一方、20歳代が特に少なくなっている。女性では若い年代ほど多くなっている一方で、60歳代～70歳代以上が少なくなっている。
- ・「知り合いが参加している」とする回答は、全体と比べて男性では特に20歳代が多くなっている(30%)。
- ・「体力的に無理なく活動できそう」とする回答は、男性では40歳代以上の年代で回答が見られ、女性では20歳代以上の年代で回答が見られる。全体と比べると、60歳代～70歳代以上になると割合が比較的多くなる傾向がある。
- ・「人とのつながりが欲しかった」とする回答は、全体と比べて男性では60歳代が特に多く(18.2%)なっている一方で、20歳代ではその割合は0%である。女性では20歳代が特に多く(15%)なっている。
- ・「自身のスキルや経験を活かせると感じた」とする回答は、他の性別・年代が0～10%であることと比べると、男性10歳代(33.3%)、20歳代(20%)、40歳代(16.1%)に比較的多くみられる。

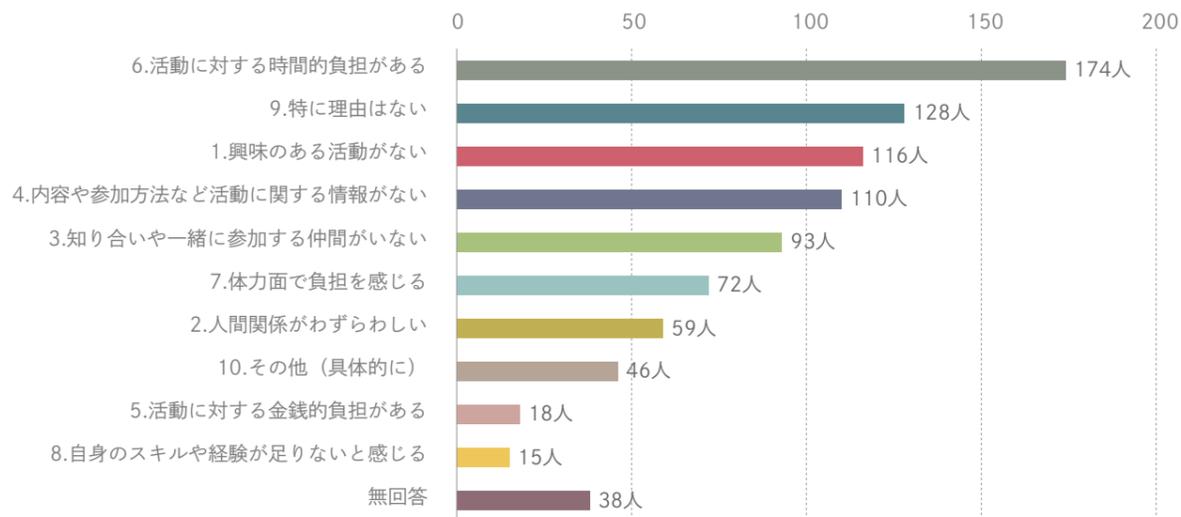


問31 参加していない理由は何ですか。

ML3/n=562

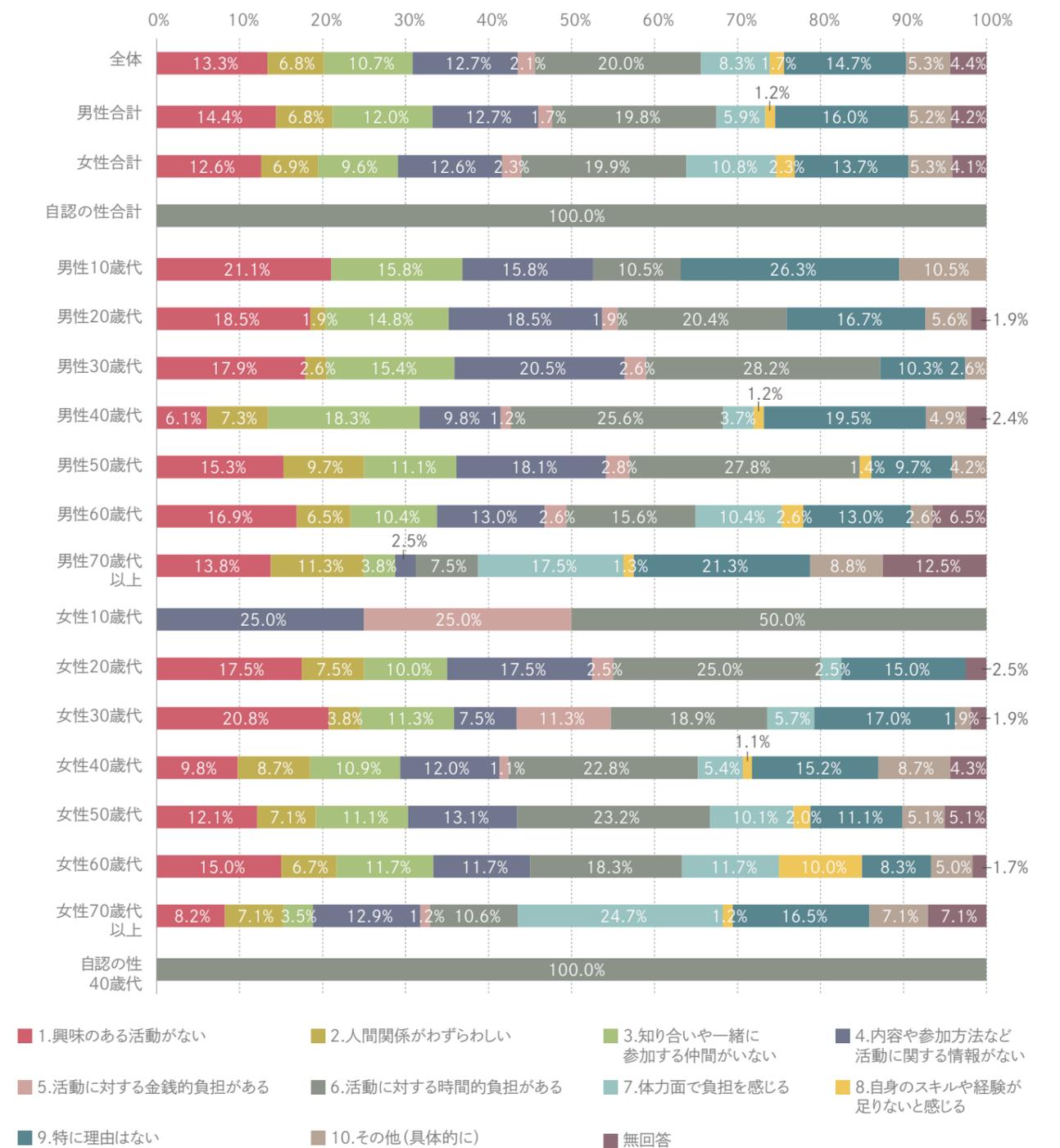
全体

- ・「活動に対する時間的負担がある」が20%と最も多く、次いで「特に理由はない」14.7%、「興味のある活動がない」13.3%、「内容や参加方法など活動に関する情報がない」12.7%が並ぶ。
- ・特に少ないのは「自身のスキルや経験が足りないと感じる」1.7%、「活動に対する金銭的負担がある」2.1%となっている。



性・年齢別

- ・「活動に対する時間的負担がある」とする回答は、男性では30歳代～50歳代にかけて25～30%と多くっており、女性では10歳代の50%を筆頭に、年代が低いほど割合が多くなる傾向にある。
- ・「特に理由はない」とする回答は、全体と比べて男性に多くみられる。
- ・「興味のある活動がない」とする回答は、全体と比べて男性では40歳代が特に少なく(6.1%)、女性では40歳代(9.8%)、70歳代以上(8.2%)が少ない。
- ・「内容や参加方法など活動に関する情報がない」とする回答は、全体と比べて性別による大差はないが、男性では30歳代が最も多く(20.5%)、次いで20歳代(18.5%)、50歳代(18.1%)となっている。女性では10歳代が最も多く(25%)、次いで20歳代(17.5%)となっている。



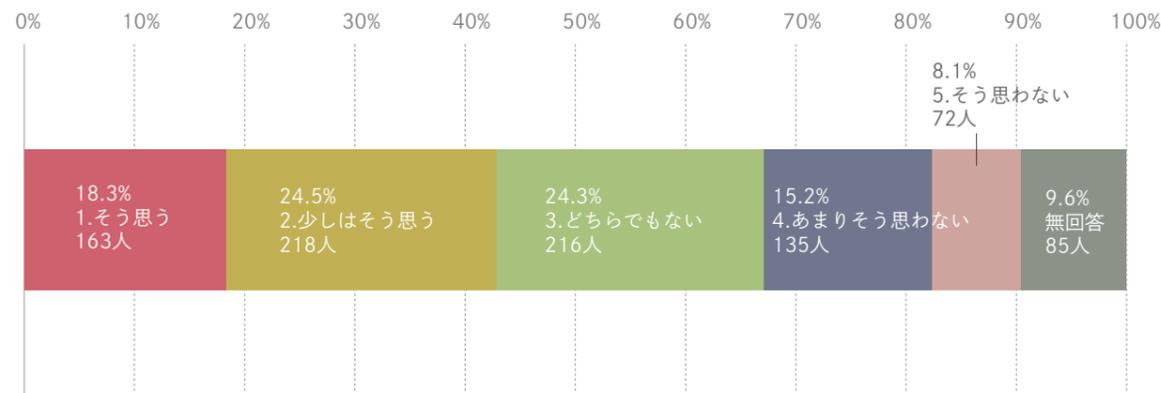
問32 今後(も)、活動に参加したいと思いますか。

SA/n=889

全体

・「そう思う」18.3%、「少しはそう思う」24.5%であり、42.8%が今後も活動に参加する意向がある。一方、「あまりそう思わない」15.2%、「そう思わない」8.1%であり、23.3%が今後の活動に参加する意向がない。

・「どちらでもない」とする回答は24.3%となっている。

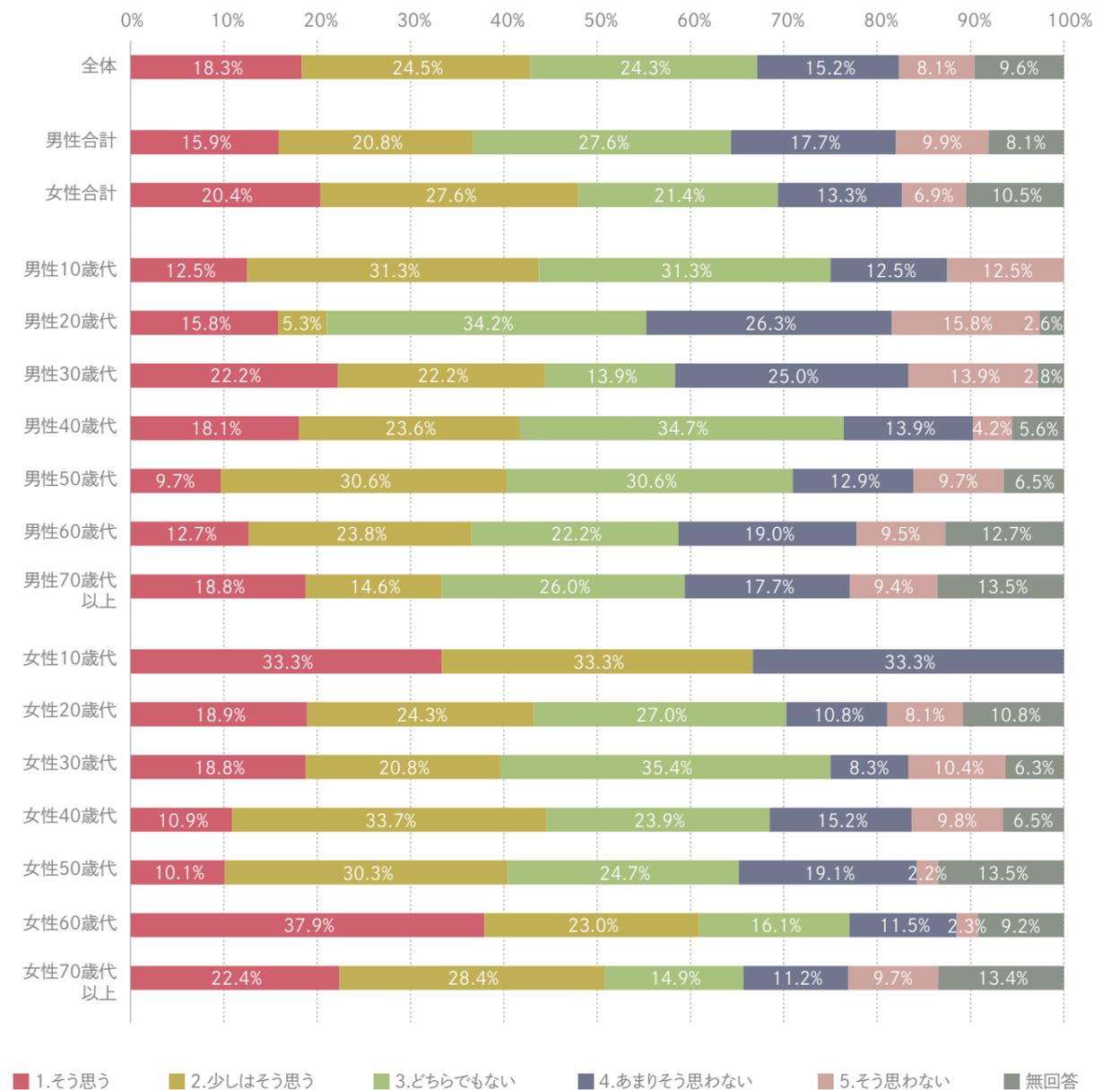


性・年齢別

・男女で比べると、活動への参加意向があるとする割合は、男性が36.7%、女性は48%となっており、女性に多くみられる。「どちらでもない」とする回答は、男性では参加意向がない割合と同じであり、女性では参加意向がない層よりも約1%多くなっている。

・参加意向がある人については、男性では20歳代が最も少なく(21.1%)、そのほかの年代では33%~44%となっている。女性では30歳代が最も少なく(39.6%)、70歳代以上(50.8%)、60歳代(60.9%)、10歳代(66.6%)で多くみられる。

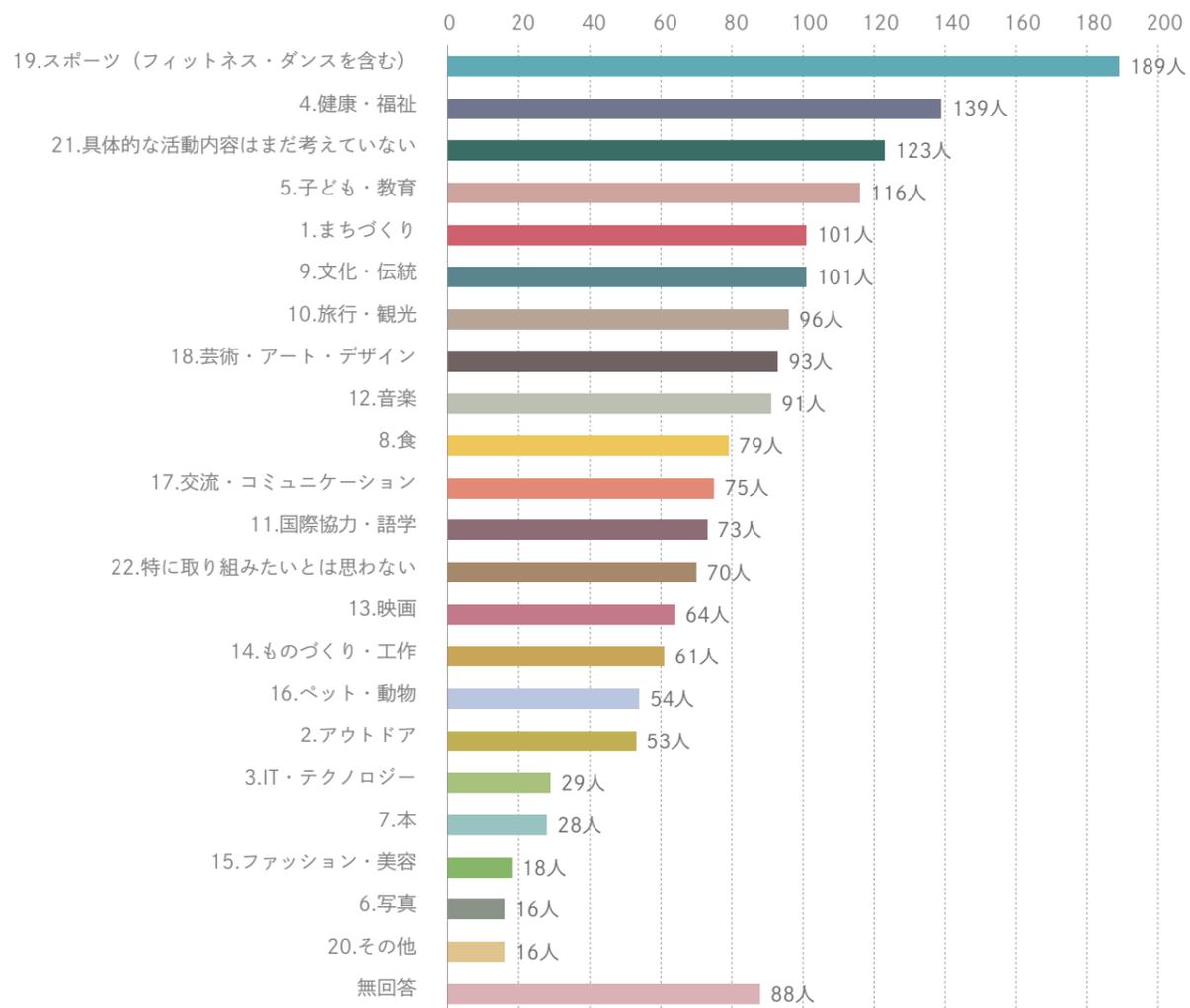
・参加意向がない人については、男性では20歳代が最も多く(42.1%)、次いで30歳代(38.9%)、60歳代(28.5%)となっている。最も割合が少ないのは18.1%と40歳代である。女性では、40歳代が最も多く(25%)、次いで70歳代以上(20.9%)となっている。最も割合が少ないのは60歳代で13.8%である。



問33 今後(も)、参加するとすればどのような活動に興味がありますか。ML3/n=889

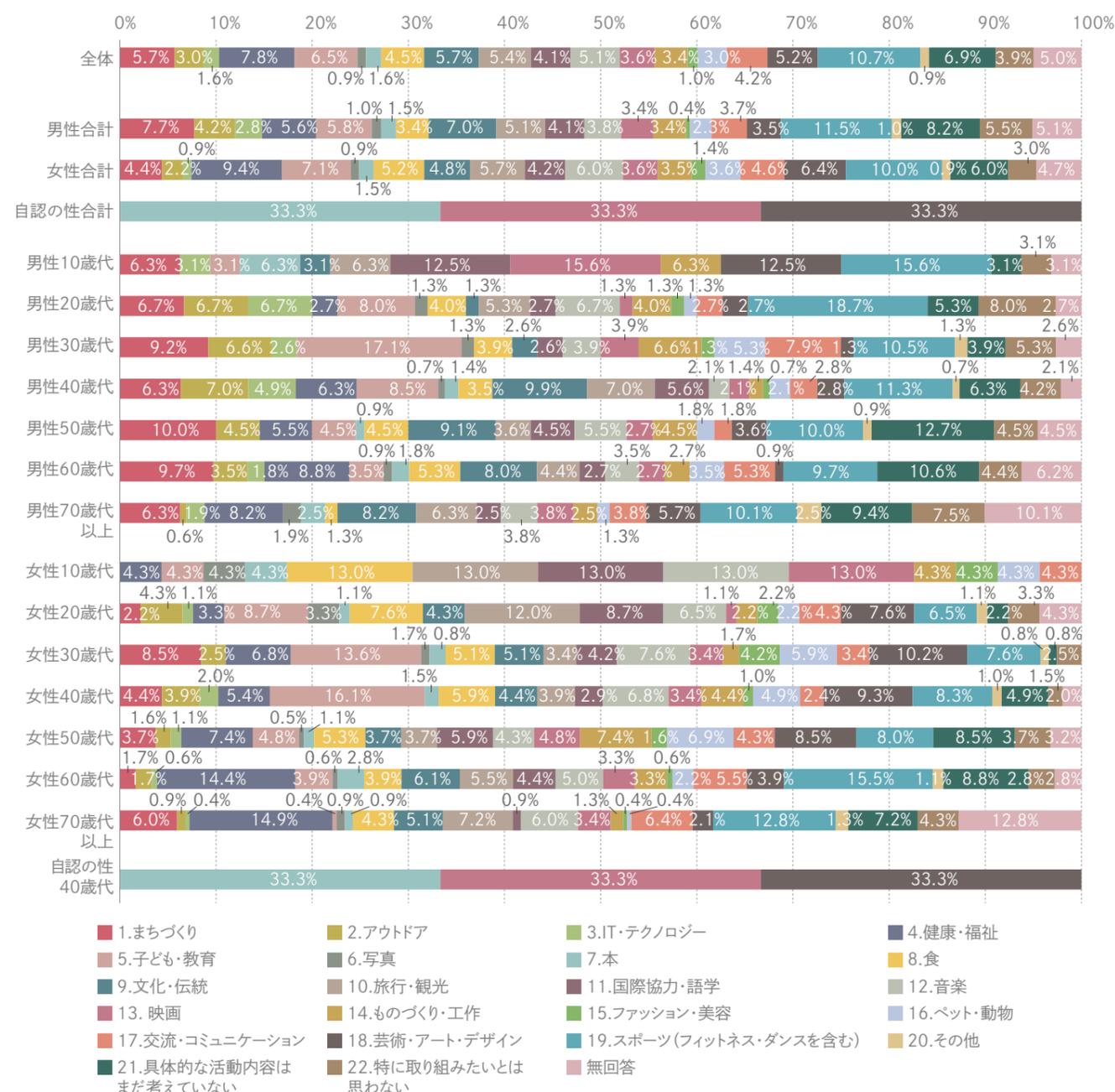
全体

- ・「スポーツ(フィットネス・ダンスを含む)」10.7%、「健康・福祉」7.8%、「具体的な活動内容はまだ考えていない」6.9%、「子ども・教育」6.5%、「まちづくり」5.7%、「文化・伝統」5.7%が上位に並ぶ。
- ・少ないのは、「その他」0.9%、「写真」0.9%、「ファッション・美容」1%となっている。



性・年齢別

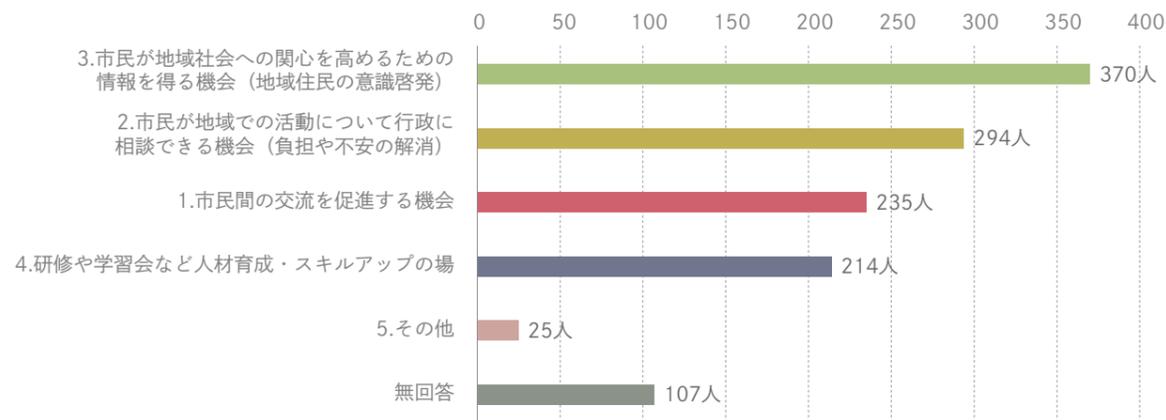
- ・男女で大きな差はないが、全体と比べて「まちづくり」では男性が7.7%(男性>女性)、「文化・伝統」では7%(男性>女性)と多く、「健康・福祉」では女性が9.4%と多く(男性<女性)になっている。
- ・「スポーツ」とする回答は、男性では10歳代(15.6%)を筆頭に、年代が低いほど割合が多くなっている。一方、女性では20歳代(6.5%)をはじめとして、年代が上がるにつれて比較的多くなる傾向にある。
- ・「具体的な活動内容はまだ考えていない」とする回答は、男性では、約3~12%となっており、50歳代、60歳代、70歳代以上で多くなっている。女性では0~約8%であり、50歳代、60歳代、70歳代以上で多くなっている。
- ・「まちづくり」とする回答は、男性では50歳代が最も多く(10%)、次いで60歳代(9.7%)となっている一方、割合が少ないのは10歳代、40歳代、70歳代以上の6.3%である。女性では30歳代が最も多く(8.5%)、次いで70歳代以上(6%)となっているが、10歳代(0%)、20歳代(2.2%)、60歳代(1.7%)で少なくなっている。



問34 市民参画協働においてどのような機会を行政に求めますか。 ML3/n=889

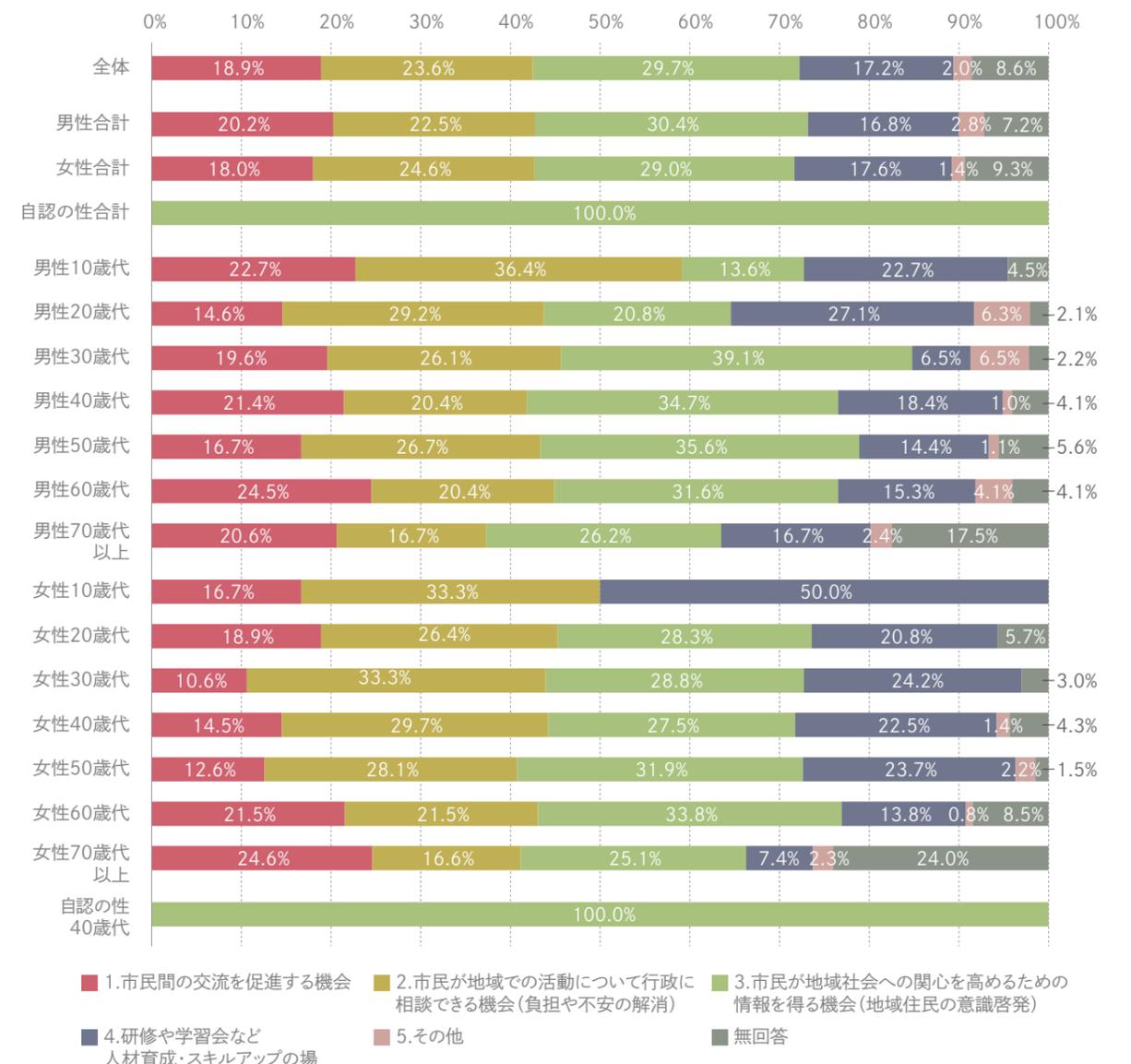
全体

・回答の多い順に、「市民が地域社会への関心を高めるための情報を得る機会(地域住民の意識啓発)」29.7%、「市民が地域での活動について行政に相談できる機会(負担や不安の解消)」23.6%、「市民間の交流を促進する機会」18.9%、「研修や学習会など人材育成・スキルアップの場」17.2%、「その他」2%となっている。



性・年齢別

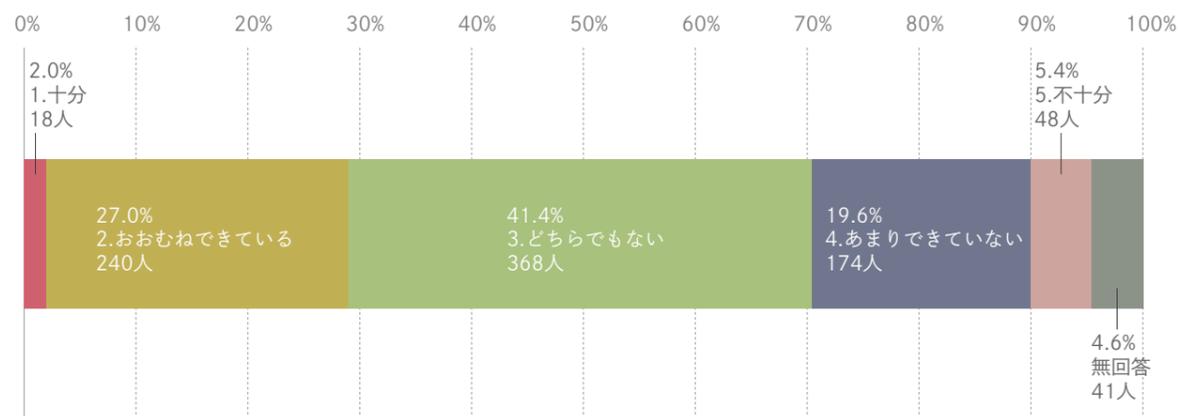
- ・性別で比べると、男女間、全体の傾向とも大差はみられない。
- ・「市民が地域社会への関心を高めるための情報を得る機会(地域住民の意識啓発)」とする回答は、全体と比べて男性では30歳代が特に多く(39.1%)、次いで40歳代~60歳代である。10歳代~20歳代では割合が少ない。女性では60歳代が特に多く(33.8%)、次いで20歳代~50歳代、70歳代以上であるが、10歳代が最も少なくなっている。
- ・「市民が地域での活動について行政に相談できる機会(負担や不安の解消)」とする回答は、男女ともに若い年代ほど多くなる傾向があり、50歳代以下で全体より割合が多くなっている。
- ・「市民間の交流を促進する機会」とする回答は、全体と比べると男性では20歳代、50歳代で少なく、60歳代が最も多く(24.5%)となっている。女性では30歳代~50歳代で特に割合が少なく、70歳代以上が最も多く(24.5%)となっている。
- ・「研修や学習会など人材育成・スキルアップの場」とする回答は、全体と比べて男性では20歳代が最も多く(27.1%)、30歳代が少ない(6.5%)。女性では若い年代で全体より割合が多く、70歳代以上は特に全体よりも割合が少なくなっている。



問35 市政に関する行政からの情報提供は十分だと思いますか。 SA/n=889

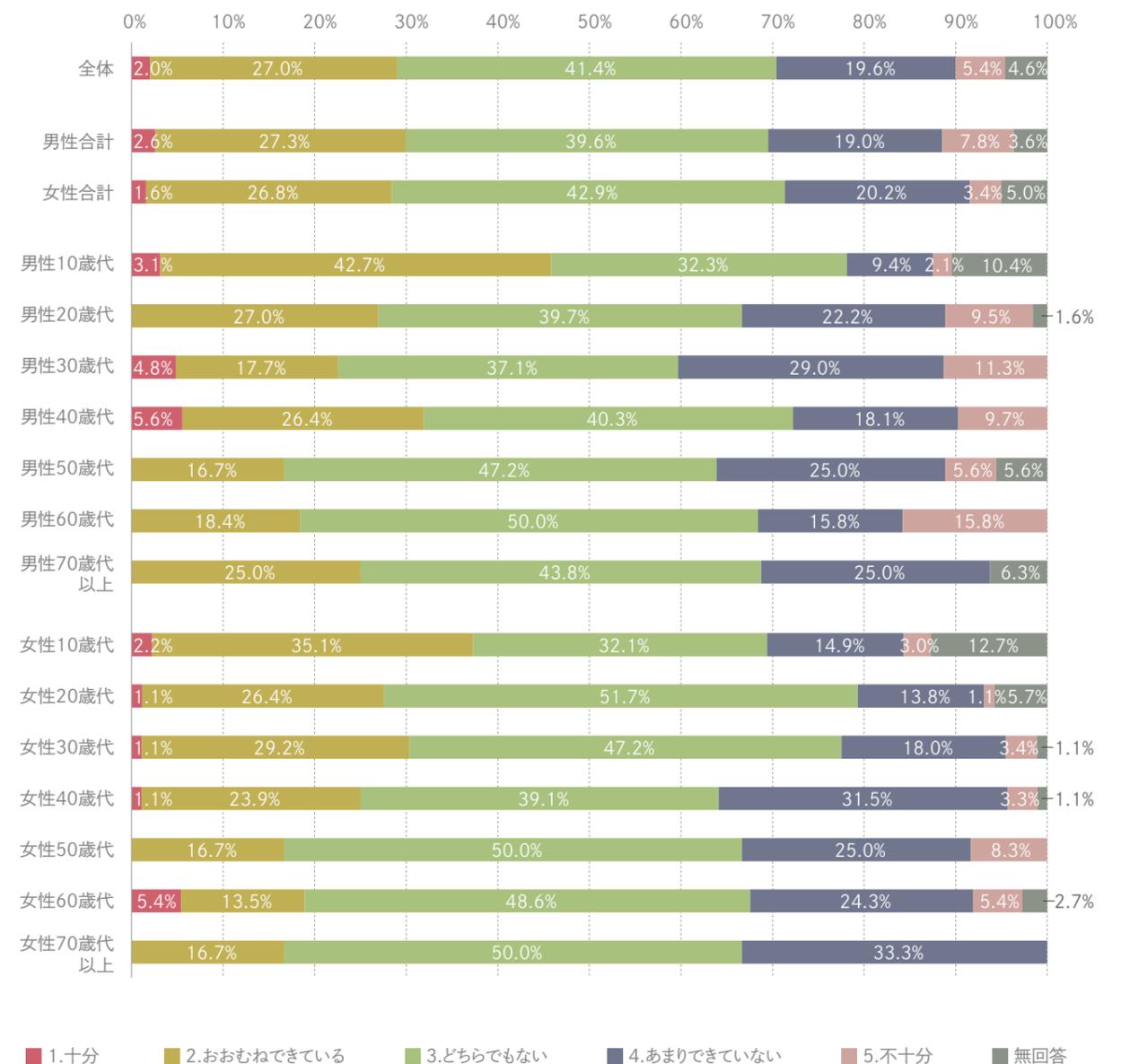
全体

- ・「十分」2%、「おおむねできている」27%となっており、29%が情報提供はある程度できていると感じている。一方、「あまりできていない」19.6%、「不十分」5.4%であり、情報提供ができていないと感じている割合は25%となっている。
- ・「どちらでもない」は41.4%と、最も回答が多くなっている。



性・年齢別

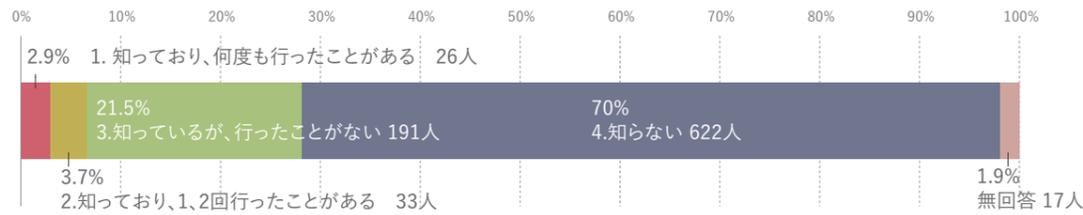
- ・男女で大差は見られないが、約3%の差があるのは「不十分」(男性>女性)である。
- ・行政からの情報提供についてポジティブな意見(十分・おおむねできている)となっているのは、男性では10歳代が最も多く(45.8%)、次いで40歳代(32%)、20歳代(27%)となっている。女性でも10歳代が最も多く(37.3%)、次いで30歳代(30.3%)、20歳代(27.5%)となっている。
- ・行政からの情報提供についてネガティブな意見(不十分・あまりできていない)となっているのは、男性では30歳代が最も多く(40.3%)、次いで20歳代(31.7%)、60歳代(31.6%)、50歳代(30.6%)となっている。女性では40歳代が最も多く(34.8%)、次いで50歳代(33.3%)、70歳代以上(33.3%)、60歳代(29.7%)となっている。
- ・「どちらでもない」とする回答は、男女とも比較的60歳代～70歳代以上で多くみられる。



問36-1 下記それぞれについて、市民参画協働についてどの程度知っているかを選んでください。リードあしや(あしや市民活動センター) SA/n=889

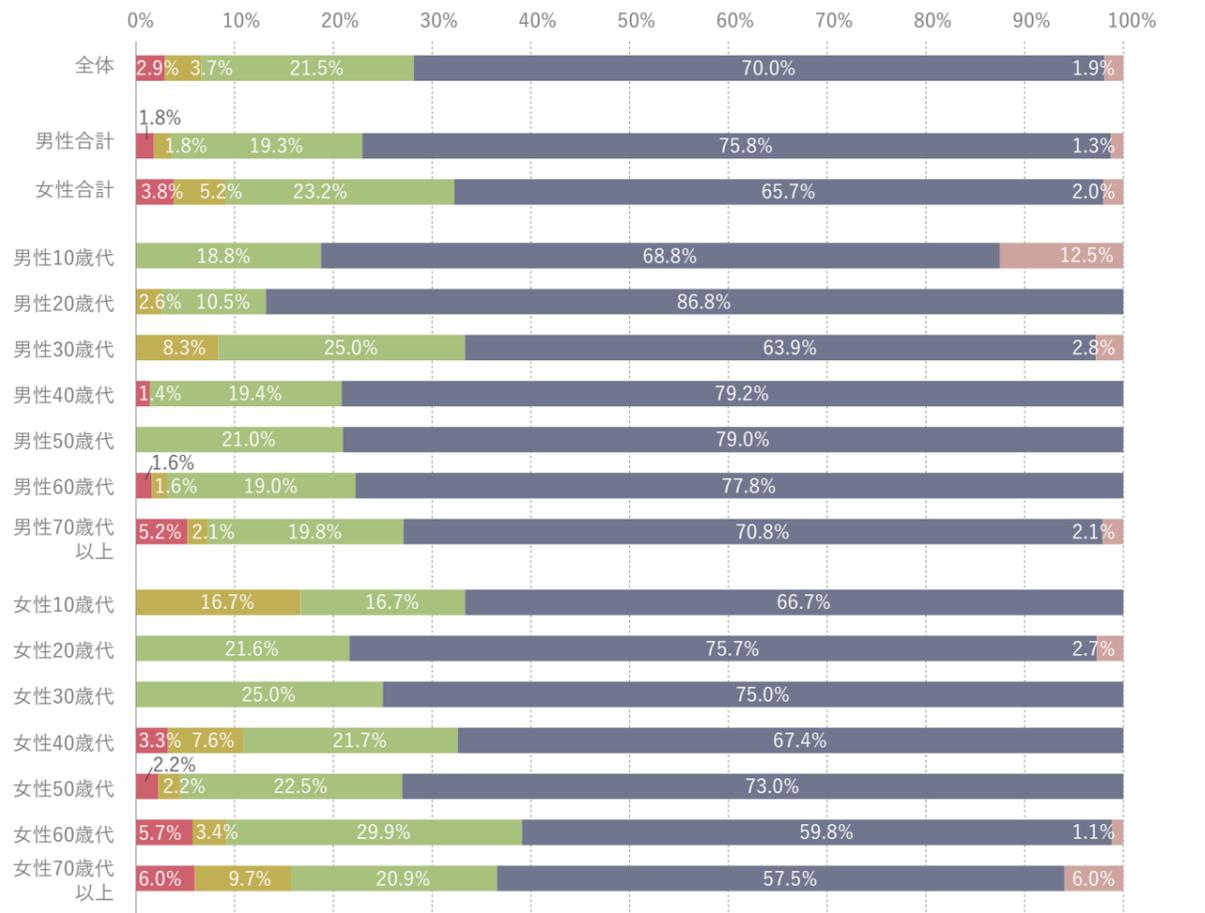
全体

・回答が多いものから順に「知らない」70%、「知っているが、行ったことがない」21.5%、「知っており、1、2回行ったことがある」3.7%、「知っており、何度も行ったことがある」2.9%となっている。



性・年齢別

- ・男女で比べると、「知らない」とする回答は男性で多く、「少なくとも1、2回は行ったことがある」という回答は、女性で多くしている。
- ・「少なくとも1、2回は行ったことがある」という回答は、男性では10歳代、50歳代で最も低く、70歳代以上の7.3%が最も多い。女性では、20歳代～30歳代が最も低く、10歳代(16.7%)、70歳代以上(15.7%)が多い。
- ・「知らない」とする回答は男女とも、20歳代が最も多くしている。

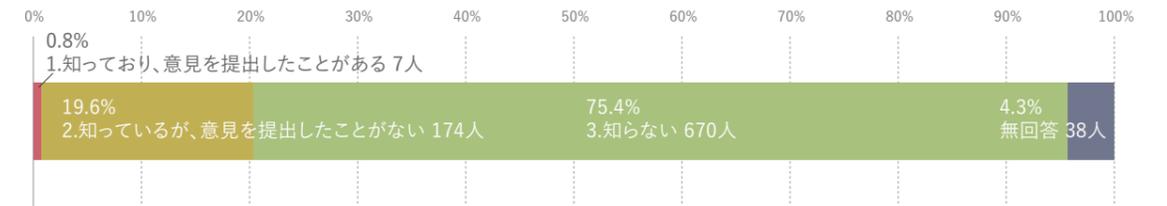


■ 1. 知っており、何度も行ったことがある ■ 2. 知っており、1、2回行ったことがある ■ 3. 知っているが、行ったことがない ■ 4. 知らない ■ 無回答

問36-2 下記それぞれについて、市民参画協働についてどの程度知っているかを選んでください。パブリックコメント制度(市民意見募集) SA/n=889

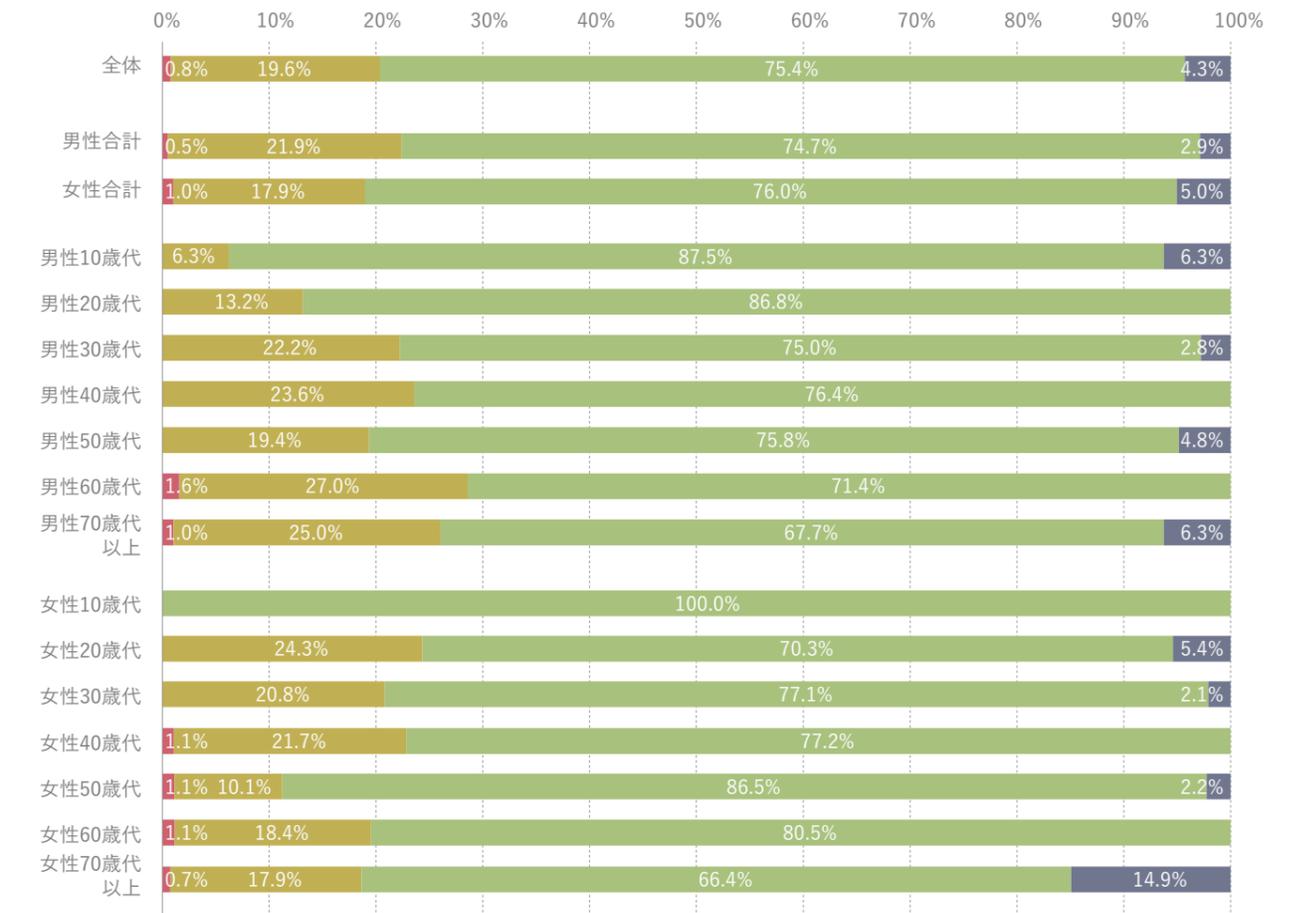
全体

・回答が多いものから順に「知らない」75.4%、「知っているが、意見を提出したことがない」19.6%、「知っており、意見を提出したことがある」0.8%となっている。



性・年齢別

- ・男女で比べると、「知らない」は女性に多く、少なくとも制度を知っていると回答は男性が多い。
- ・少なくとも制度を知っている人は、男性では60歳代が最も多く(28.6%)、次いで70歳代以上(26%)、40歳代(23.6%)である。女性では20歳代が最も多く(24.3%)、次いで40歳代(22.8%)、30歳代(20.8%)となっている。
- ・「知らない」とする回答は、男性では若い年代ほど多く女性では10歳代が最も多く(100%)、次いで50歳代(86.5%)、60歳代(80.5%)となっている。

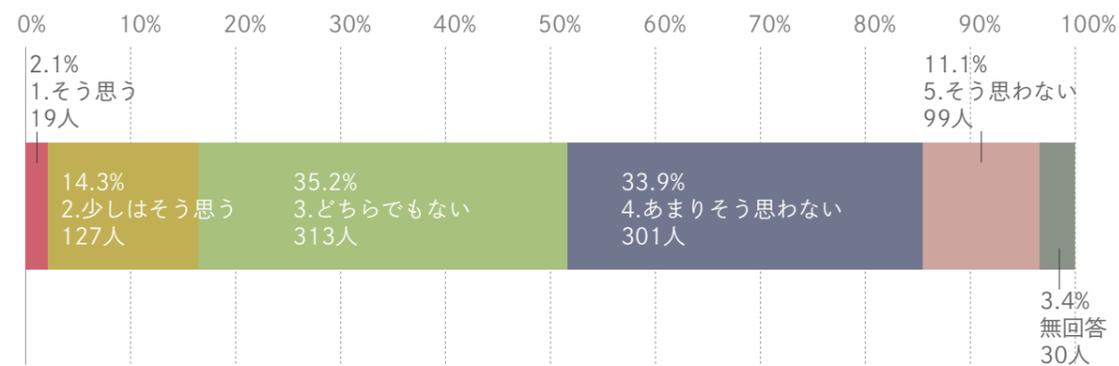


■ 1. 知っており、意見を提出したことがある ■ 2. 知っているが、意見を提出したことがない ■ 3. 知らない ■ 無回答

問37 市政に対して市民の声を届ける機会が十分にあると思いますか。 SA/n=889

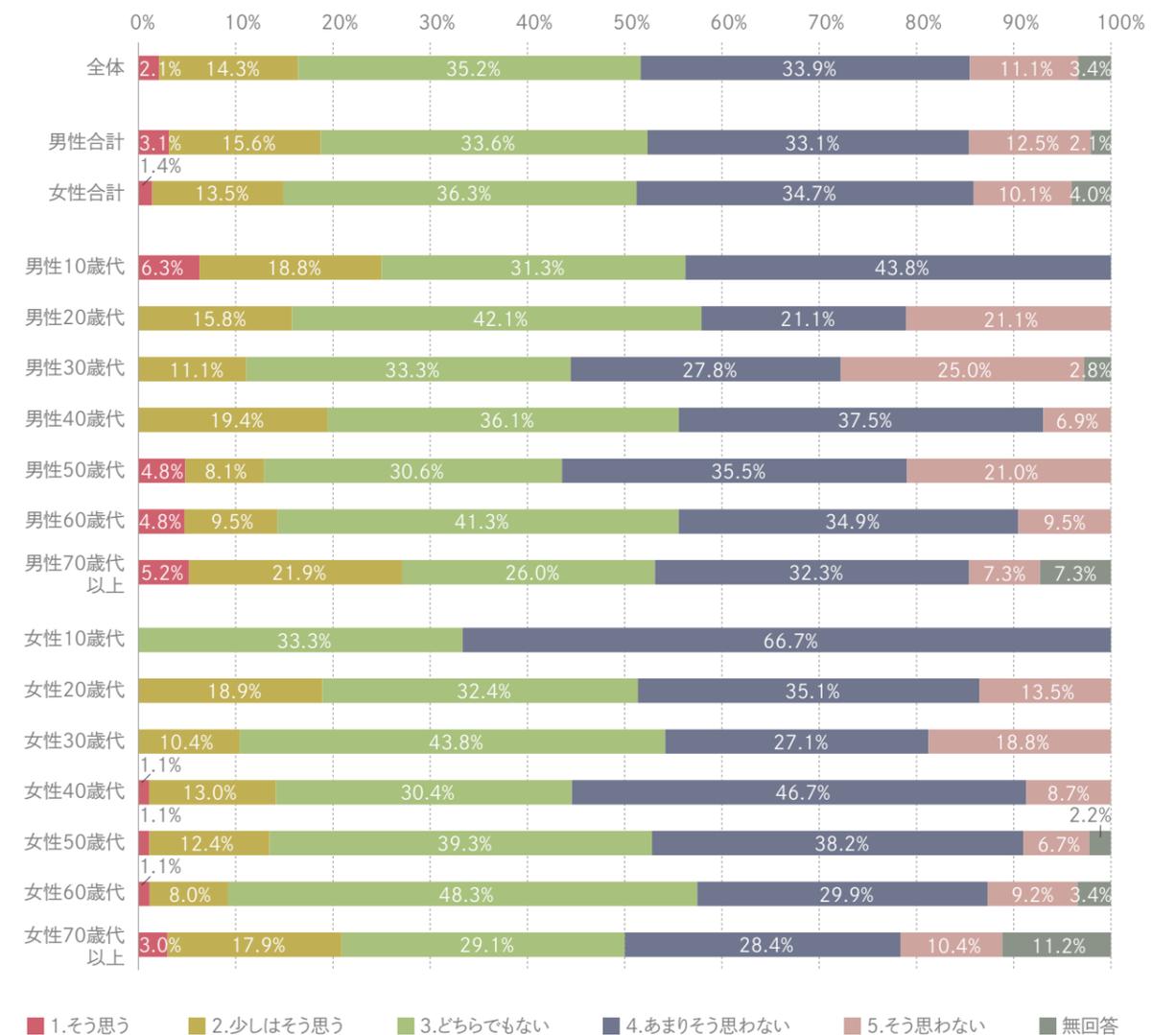
全体

- ・「そう思う」2.1%、「少しはそう思う」14.3%であり、16.3%が市民の声を届ける機会があると感じている。一方、「あまりそう思わない」33.9%、「そう思わない」11.1%であり、45%が機会がないと感じている。
- ・「どちらでもない」とする回答は35.2%となっており、機会がないという回答に次いで多くなっている。



性・年齢別

- ・男女で大きな差はないが、「そう思う」「少しはそう思う」とする回答は男性が18.7%、女性が14.9%となっており、男性で多くなっている。一方、女性では「どちらでもない」とする回答が男性に比べ約3%多くなっている。
- ・「そう思う」「少しはそう思う」とする回答は、男性で20%を超えているのは10歳代(25.1%)、70歳代以上(27.1%)の2つのみとなっており、最も少ないのは30歳代(11.1%)である。女性では20%を超えているのは70歳代以上(20.9%)のみであり、最も少ないのは10歳代(0%)となっている。
- ・「あまりそう思わない」「そう思わない」とする回答は、男性では50歳代が最も多く(56.5%)、次いで30歳代(52.8%)、その他の年代は40%前後となっている。女性では10歳代が最も多く(66.7%)、次いで40歳代(55.4%)、20歳代(48.6%)、となっており、その他の年代では40~45%程度となっている。

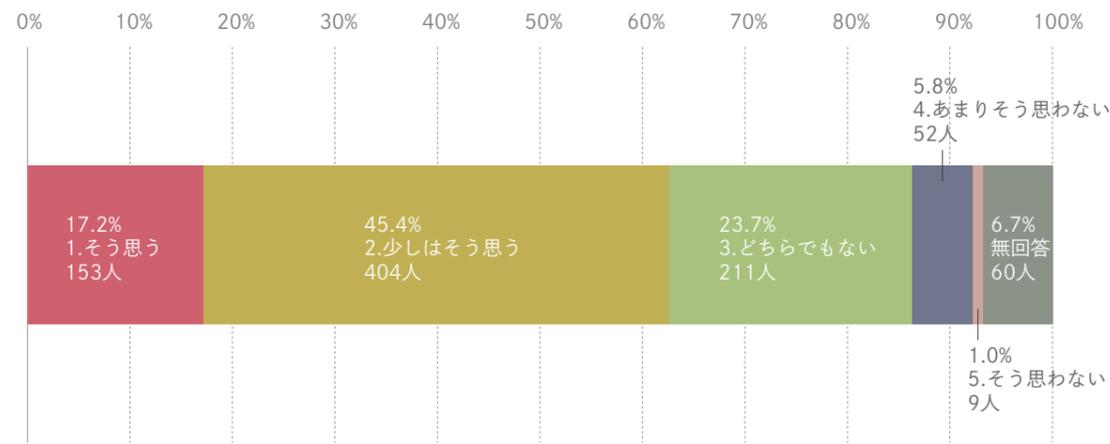


問38 市民参画協働を必要だと思いませんか。

SA/n=889

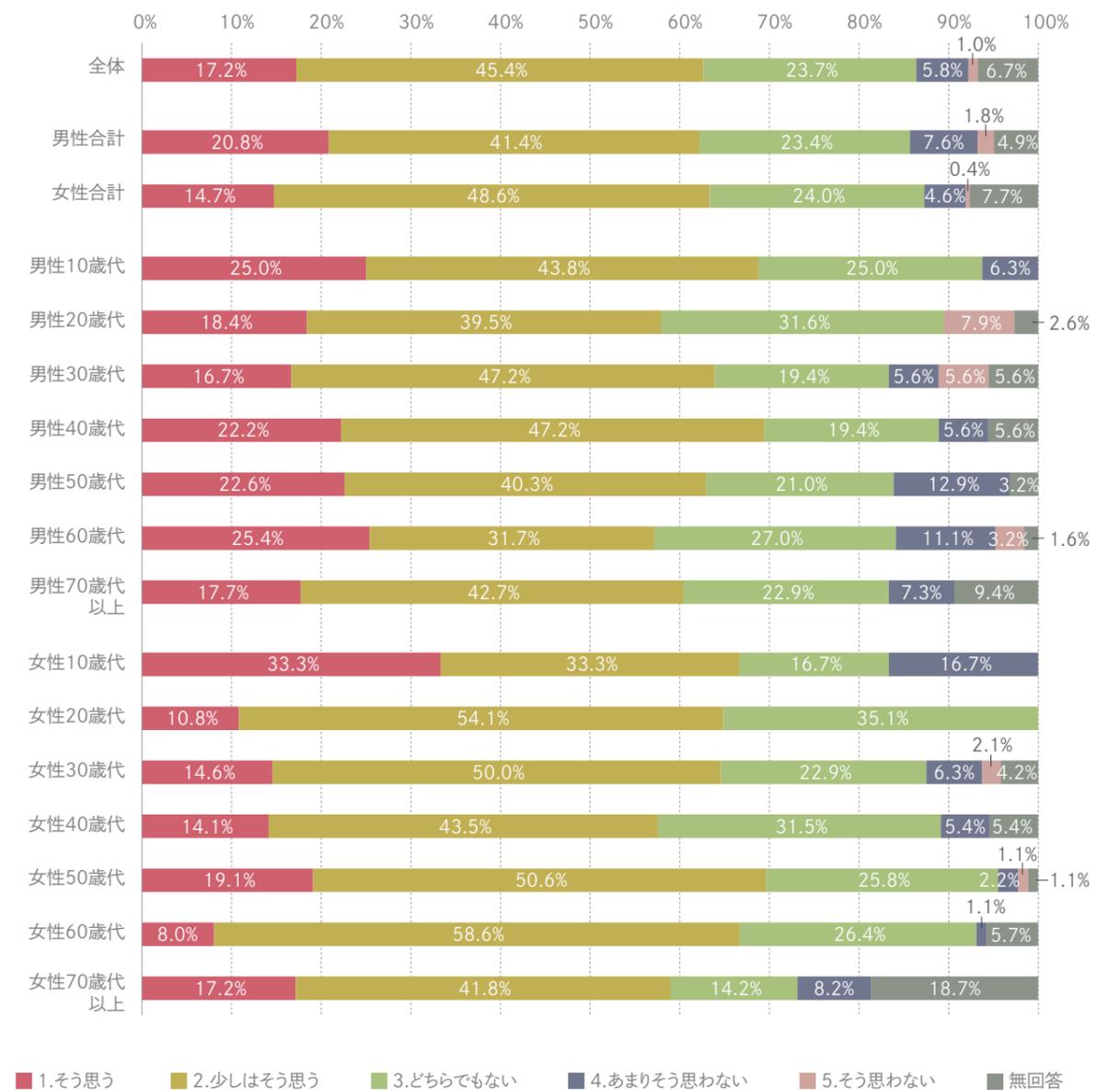
全体

- ・「そう思う」17.2%、「少しはそう思う」45.4%であり、62.6%が必要だと感じている。一方、「あまりそう
思わない」5.8%、「そう思わない」1%であり、6.8%が必要がないと感じている。
- ・「どちらでもない」とする回答は23.7%となっており、必要だとする回答に次いで多くなっている。



性・年齢別

- ・男女で比べると、「そう思う」とする回答は男性が20.8%、女性が14.7%となっており、男性で多くなっている。
- ・男女で比べると、「あまりそう思わない」「そう思わない」とする回答は男性が9.4%、女性が5%となっており、男性で多くなっている。
- ・「そう思う」とする回答は、男女とも10歳代が最も多くなっている。
- ・「あまりそう思わない」「そう思わない」とする回答は、男性では60歳代が最も多く(14.3%)、次いで50歳代(12.9%)、30歳代(11.2%)となっている。女性では10歳代が最も多く(16.7%)、次いで30歳代(8.4%)、70歳代(8.2%)となっている。

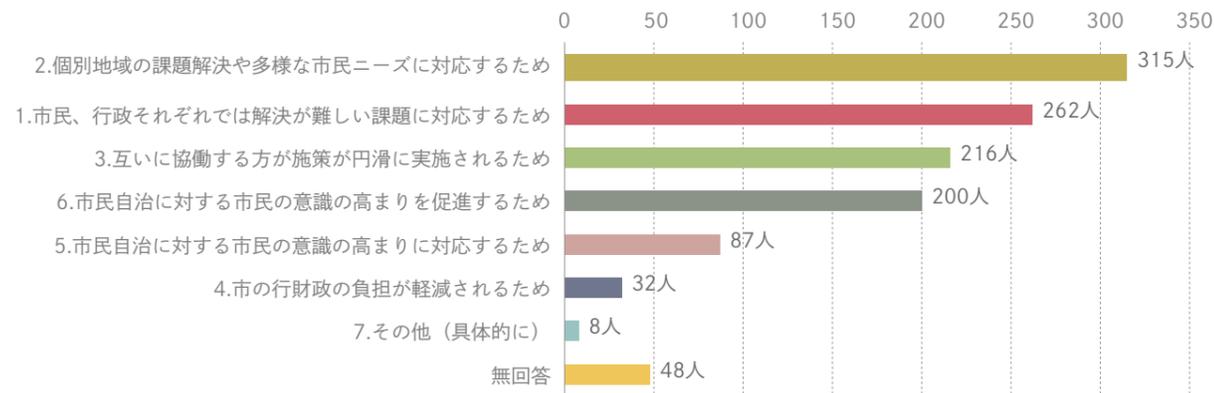


問39 必要だと思う理由は何ですか。

ML3/n=614

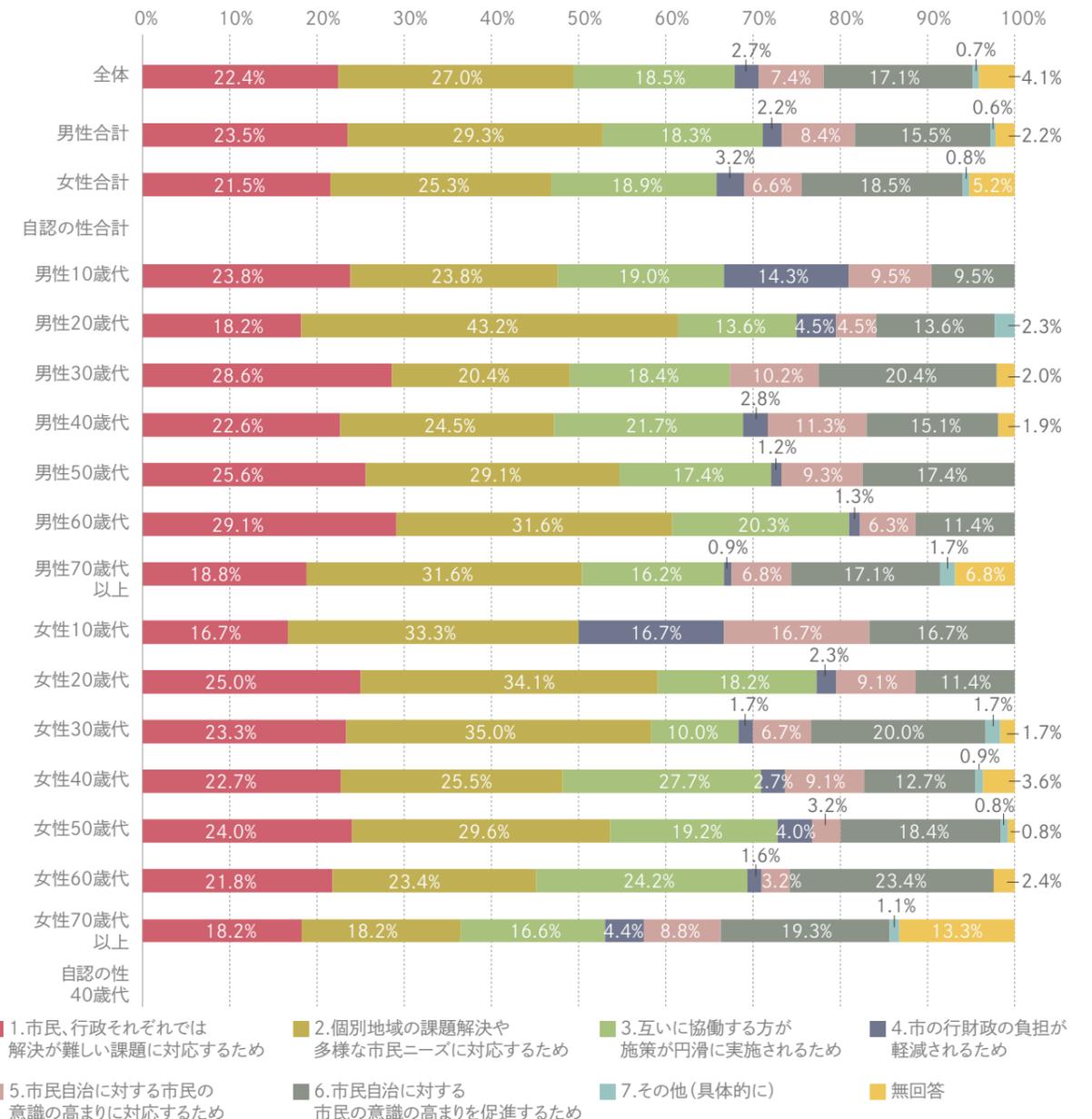
全体

・回答の多い順に、「個別地域の課題解決や多様な市民ニーズに対応するため」27.6%、「市民、行政それぞれでは解決が難しい課題に対応するため」22.9%、「互いに協働する方が施策が円滑に実施されるため」18.9%、「市民自治に対する市民の意識の高まりを促進するため」17.5%、「市民自治に対する市民の意識の高まりに対応するため」7.6%、「市の行財政の負担が軽減されるため」2.8%、「その他」0.7%となっている。



性・年齢別

- ・男女で大差は見られないが、全体と比べて「個別地域の課題解決や多様な市民ニーズに対応するため」が男性で29.3%と多くなっている(男性>女性)。
- ・「市民、行政それぞれでは解決が難しい課題に対応するため」とする回答は、全体と比べて男性では30歳代(28.6%)、60歳代(29.1%)で多くなっている。女性では全体の傾向と大差はみられない。
- ・「互いに協働する方が施策が円滑に実施されるため」とする回答は、全体と比べて男性では40歳代が最も多く(21.7%)、20歳代で少なくなっている(13.6%)。女性では60歳代が最も多く(24.2%)、次いで40歳代(22.7%)となっている。一方で30歳代は10%と全体に比べて少なくなっている。
- ・「市民自治に対する市民の意識の高まりを促進するため」とする回答は、全体と比べて男性の60歳代が特に少なくなっている(11.4%)。女性では20歳代が最も少なく(11.4%)、50歳代～70歳代以上では全体よりも割合が多くなっている。
- ・「市の行財政の負担が軽減されるため」とする回答は、全体と比べて男性では特に20歳代で多くなっており(4.5%)、女性では50歳代(4%)、70歳代(4.4%)で多くなっている。

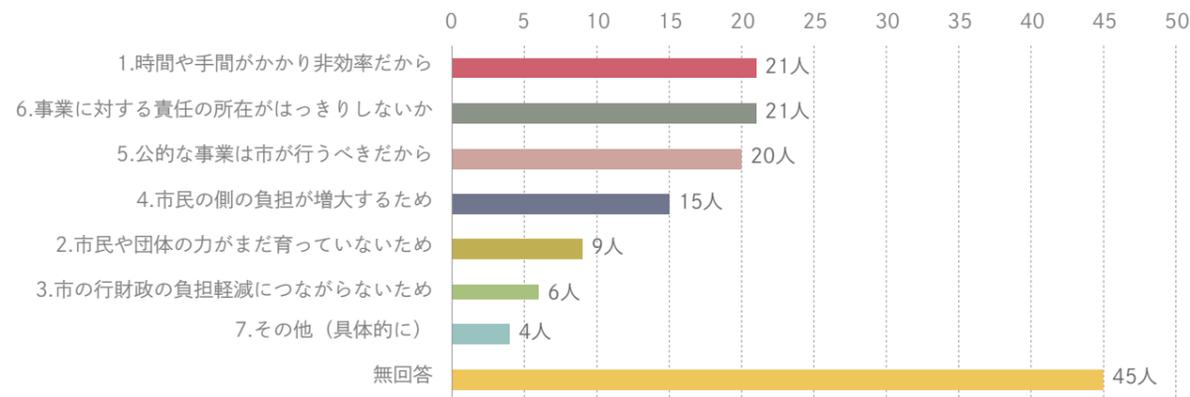


問40 不要だと思う理由は何ですか。

ML3/n=107

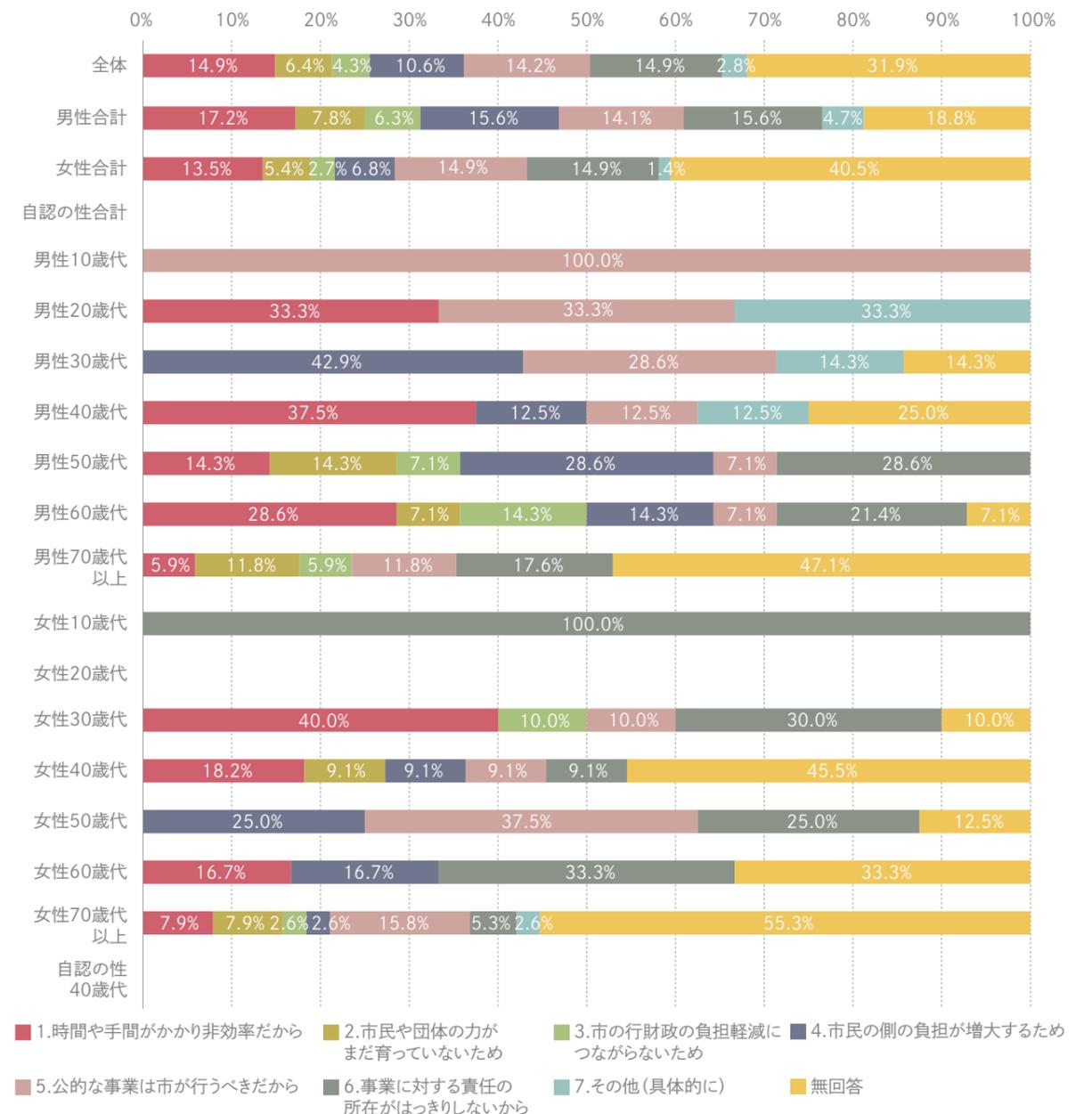
全体

・回答の多い順に、「時間や手間がかかり非効率だから」14.9%、「事業に対する責任の所在がはっきりしないから」14.9%、「公的な事業は市が行うべきだから」14.2%、「市民の側の負担が増大するため」10.6%、「市民や団体の力がまだ育っていないため」6.4%、「市の行財政の負担軽減につながらないため」4.3%、「その他」2.8%となっている。



性・年齢別

- ・男女で比べると、「時間や手間がかかり非効率だから」、「市民の側の負担が増大するため」が男性で全体と比べて多くなっている一方、女性では少ない。
- ・「時間や手間がかかり非効率だから」とする回答は、全体に比べて男性では40歳代が特に多く(37.5%)、次いで20歳代、60歳代となっている一方、10歳代、30歳代、70歳代以上では少なくなっている。女性では30歳代が特に多く(40%)、次いで40歳代、60歳代となっている一方で、10歳代、20歳代、50歳代では少ない。
- ・「事業に対する責任の所在がはっきりしないから」とする回答は、全体と比べて男性では50歳代が最も多く(28.6%)、次いで60歳代、70歳代以上となっている一方、その他の年代では0%である。女性では全体と比べて10歳代、60歳代、30歳代で多くなっているが、その他の年代では少なくなっている。
- ・「公的な事業は市が行うべきだから」とする回答は、男性では年代が低いほど割合が多くなっている。女性では50歳代が最も多く(37.5%)、次いで70歳代以上、30歳代となっている一方で、10歳代、60歳代で0%となっている。



問41 市民参画協働に対する意見をご自由にお書きください。 n= 218

合計218の意見について、調査票にもとづき「お住まいの地域に対する意識について」、「地域の人とのつながりについて」、「地域での活動との関わりについて」、「市民参画協働施策に対する意識・行動について」の4つと、それ以外は「その他」として分類・整理した。

※ひとりの回答者の意見内容が複数にわたる場合は、複数の意見として扱っている。

大項目	中項目	意見数
1.お住まいの地域に対する意識について	環境衛生に関すること	18
	子育て・教育に関すること	9
	周辺の施設等に関すること	4
	健康福祉に関すること	3
	防災防犯に関すること	2
	計	36
2.地域の人とのつながりについて		7
	計	7
3.地域での活動との関わりについて		33
	計	33
4.市民参画協働施策に対する意識・行動について	市民参画協働に関する前向きな意見について	8
	市民参画協働を「よくわからない・知らない」とする意見について	32
	市民参画協働を「そもそも意識していない」とする意見について	7
	情報の取得について	30
	市民の意見表明の機会について	18
	市民参画協働に関するその他意見について	2
	計	97
その他		45
	計	45
	計	218

1.お住まいの地域に対する意識について

36件の意見の内容は、環境衛生に関すること、子育て・教育に関すること、周辺の施設等に関すること、健康福祉に関すること、防災防犯に関することとなっている。その中でも特に意見が多かったのは環境衛生に関することとなっており、以下にいくつか回答を抜粋する。

- ・景観観光の視点から禁煙のまちにしてほしい。
- ・ゴミ捨て場の問題が多発している、カラスが荒らす、区画での管理体制が整わない、など。個々の意識を高めることが大切である。
- ・駐車場がない。あっても有料である。車社会には不備だと思うことがあります。

2.地域の人とのつながりについて

7件の意見が寄せられ、不安や課題もある一方、前向きな声もみられる。

- ・世代を超えたつながりを作り上げるためには、家族を動かすこと。祭り、運動会、炊き出しなど家族で行ってみよう、という小さなイベントを繰り返しやるのが、まず大事ななことかと思う。
- ・今は外との関係(友人、知人とのコミュニケーション)に問題は感じていないが、家から出られなくなった状況になったら…と思うと、今から外部との接点を築いておかななくては、と反省。

3.地域での活動との関わりについて

33件の意見が寄せられ、課題も提示されている一方で、比較的前向きな声がみられている。

- ・平日の昼間に活動をしていることが多いように感じる。それでは参加できる市民が限られてしまうように思う。
- ・企画はあっても場所会場が少ない。
- ・自治活動への行政から人材・施設・資金の援助を増やして欲しい。
- ・市民も行政に無関心ではいけないと思っています。仕事、育児で忙しいですが、何年か後、余裕があれば、積極的に地域の活動に参加したいと思っています。
- ・今まで時間がなかったが、今後(年金生活)は、自分の時間が少しはもてると思うので、いろんな事に参加できれば良いと思っています。

4.市民参画協働施策に対する意識・行動について

97件の意見の内容は、主に、市民参画協働に関する前向きな意見、市民参画協働が「よくわからない・知らない」、市民参画協働を「意識していない」、情報の取得について、市民の意見表明の機会について、となっている。

「よくわからない・知らない」は32件、「意識していない」は7件あり、市民参画協働について市民により具体的にわかりやすい情報提供や説明を求める声が多い。また、情報の取得については以下のような意見がみられる。

- ・市の行政にもっと関心を持ちたいと思います。
- ・一般市民にはあまり認知されていない気がします。意義など、もっとPRが必要。市民の意見表明の機会については、現状の機会不足を感じている声や、双方向に意見のやりとりができる場を求める声等がみられている。
- ・市民参画の場に子供同伴で気軽に参加できる場や雰囲気も作ってほしいです。
- ・幅広い年齢層が意見が出し合える場が必要。
- ・時間がなかなか取れない。意見を郵送できれば良いのに。

4

調査票様式

芦屋市

市民参画協働推進に関する市民意識調査 調査票

ご協力をお願い

市民の皆様におかれましては、日ごろから市政の推進にご理解とご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。
さて、芦屋市では市民参画と協働による住みよいまちづくりを進めるため、平成 27 年 3 月に「第 2 次芦屋市市民参画協働推進計画」を作成してこれまで取り組みを進めてきましたが、計画期間の終了に伴い、引き続き市民参画協働の推進を図るため、計画の見直しを行うことにいたしました。

この調査は、この計画の見直しの基礎資料として、市民の皆様の意識や状況について把握するために実施するもので、市内にお住いの 18 歳以上の方の中から無作為に選ばせていただいた 2,000 人を対象に調査票を送付させていただいております。つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

平成 31 年 2 月

芦屋市

To those who need English translation

(英語の翻訳を必要とする方へ)

This survey is not obligatory.

If you cooperate with this survey, please send an E-mail to the following address. Thank you.

E-mail : info@city.ashiya.lg.jp

- ◇封筒の宛名のご本人がお答えください。
- ◇回答は、選択肢の番号、または該当する場所に○をつけてください。○をつける個数が指定されている設問もありますので、案内に従ってください。
- ◇調査票に住所や名前を記入しないでください。いただいた回答は厳重に管理し、統計的に処理しますので個人が特定されることはありません。また、調査の目的以外には一切利用しませんので、ありのままをお答えください。
- ◇アンケートは右のQRコードからWebでも回答いただけます。※紙かWebどちらか一方にご回答ください。両方を提出いただいた場合には紙の回答を優先します。
- ◇ご記入後、同封の返信用封筒に入れて3月15日(金)までにポストにご投函ください。切手は不要です。
- ◇芦屋市では「市民参画」を「市民が市政に参加する意思を反映させることを目的として市の施策の企画立案、実施及び評価の過程に参加すること」、「協働」を「市民及び市がまちづくりについて、それぞれの役割と責務を自覚し、互いに尊重し、補完し、協力すること」と定めています。



◆お問い合わせ先◆

芦屋市企画部市民参画課 〒659-8501 兵庫県芦屋市精道町7-6

電話：0797-38-2007 FAX：0797-38-2004 Eメール：info@city.ashiya.lg.jp

問13 身近な生活の中で必要に思うことは何ですか。(○は3つまで)

1. 住民一人ひとりが地域に対する関心を高めること
2. 趣味や教養などさまざまなことを学ぶ機会があること
3. 市民と市が協力し合って地域の課題解決に取り組む機会
4. 地域の人同士で話し合える機会
5. 地域内で価値観の合う人と知り合える機会
6. 地域の担い手の育成
7. 地域で起きている活動間の連携・協力
8. 住民の多くが参加できるイベントや活動が盛んになること
9. 地域の細やかな情報が提供されること
10. その他 (具体的に)

3 | 地域の人とのつながり についてうかがいます

問14 お住まいの地域の人とどの程度の関わりがありますか。

- | | |
|-----------------------|---------------------------------|
| 1. お互いの家を行き来する付き合いがある | 5. 近所の人顔はわかるが、会っても挨拶することはほとんどない |
| 2. 悩みを相談したり、有事に協力し合える | 6. 全くつきあいがいい |
| 3. 日常的に立ち話をする | |
| 4. 近所の人顔がわかり、会えば挨拶する | |

問15 関わりが問14である理由は何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|--------------------------|----------------------|
| 1. 災害や病気など、いざという時に助け合いたい | 9. 精神的に余裕がない |
| 2. お祭りや運動会などの地域行事に参加している | 10. メリットがわからない |
| 3. 一緒に活動を行っている | 11. 人間関係がわずらわしい |
| 4. お互いに気持ちよく過ごしたい | 12. 既存のコミュニティに入りづらい |
| 5. 避けられない | 13. 他人の関与を歓迎しない人が増えた |
| 6. きっかけがない | 14. 定住を考えていない |
| 7. 人を知らない | 15. 特に理由はない |
| 8. 忙しく、関わっている時間が無い | |

問16 地域の人との関わりは必要だと思いますか。

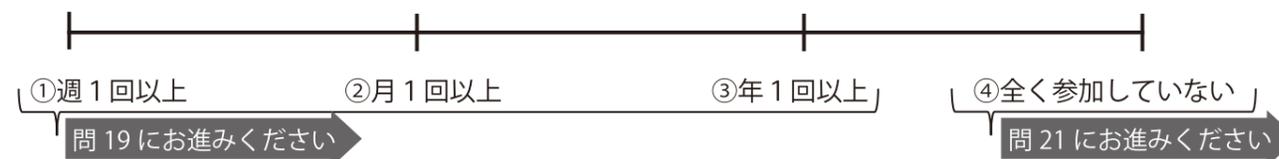
1. 関わりは必要
2. 関わりは不必要

問17 問16のように思う理由は何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|--------------------------|----------------------|
| 1. 災害や病気など、いざという時に助け合いたい | 9. 精神的に余裕がない |
| 2. お祭りや運動会などの地域行事に参加している | 10. メリットがわからない |
| 3. 一緒に活動を行っている | 11. 人間関係がわずらわしい |
| 4. お互いに気持ちよく過ごしたい | 12. 既存のコミュニティに入りづらい |
| 5. 避けられない | 13. 他人の関与を歓迎しない人が増えた |
| 6. きっかけがない | 14. 定住を考えていない |
| 7. 人を知らない | 15. 特に理由はない |
| 8. 忙しく、関わっている時間が無い | |

4 | 地域での活動との関わり についてうかがいます

問18 地域の活動にどの程度参加していますか。



問19 参加している地域の活動はどのようなものですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 迷惑駐車や駐輪、歩道や通学路など交通安全に関すること
2. ゴミ出しやポイ捨て、リサイクルなど環境衛生に関すること
3. 看板や空き地の放置、緑化や園芸など景観に関すること
4. 避難場所やルートなど災害への備えに関すること
5. 夜道の暗さや治安など防犯に関すること
6. 見守り・支援など高齢者に関すること
7. 見守り・支援など障がい者に関すること
8. 保育、学習支援など教育や子育てに関すること
9. 地域行事や祭りなど、地域の伝統や、文化・芸術に関すること
10. 通訳や生活サポート、交流など国際協力に関すること
11. 健康づくりやスポーツに関すること
12. 地域の賑わいや活気に関すること
13. その他 (具体的に)

問20 参加している理由は何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|-----------------------|-------------------------------|
| 1. 活動に興味があった | 7. 活動に対する時間的負担が少なかった |
| 2. 地域の人とのつながりが欲しかった | 8. 体力的に無理なく活動できそう |
| 3. 知り合いや家族が参加していた | 9. 自身のスキルや経験を活かせると感じた |
| 4. 地域の情報が欲しかった | 10. 特に理由はない |
| 5. 活動内容や参加方法について情報を得た | 11. その他 <small>(具体的に)</small> |
| 6. 活動に対する金銭的負担が少なかった | |

問22にお進みください

問21 参加していない理由は何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|--------------------------|-------------------------------|
| 1. 興味のある活動がない | 7. 体力面で負担を感じる |
| 2. 人間関係がわずらわしい | 8. 自身のスキルや経験が足りないと感じる |
| 3. 知り合いと一緒に参加する仲間がない | 9. 居住地域以外の活動に参加している |
| 4. 内容や参加方法など、活動に関する情報がない | 10. 特に理由はない |
| 5. 活動に対する金銭的負担がある | 11. その他 <small>(具体的に)</small> |
| 6. 活動に対する時間的負担がある | |

問22 今後(も)、お住まいの地域の活動に参加したいと思いますか。



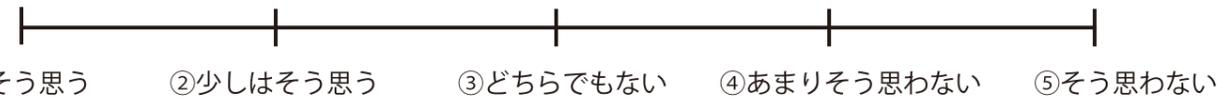
問23 今後参加したい地域の活動はどのようなものですか。

1. 迷惑駐車や駐輪、歩道や通学路など交通安全に関すること
2. ゴミ出しやポイ捨て、リサイクルなど環境衛生に関すること
3. 看板や空き地の放置、緑化や園芸など景観に関すること
4. 避難場所やルートなど災害への備えに関すること
5. 夜道の暗さや治安など防犯に関すること
6. 見守り・支援など高齢者に関すること
7. 見守り・支援など障がい者に関すること
8. 保育、学習支援など教育や子育てに関すること
9. 地域行事や祭りなど、地域の伝統や、文化・芸術に関すること
10. 通訳や生活サポート、交流など国際協力に関すること
11. 健康づくりやスポーツに関すること
12. 地域の賑わいや活気に関すること
13. その他 (具体的に)

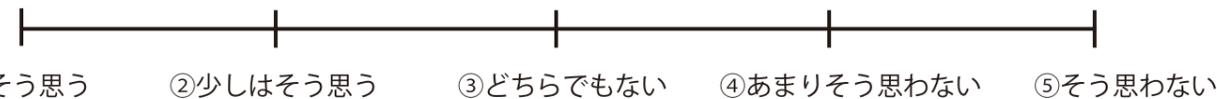
問24 所属している地域の活動団体はどのようなものですか。(あてはまるもの全てに○)

- | | | |
|----------------|---------------------|-----------------|
| 1. 自治会・町内会 | 5. 消防団 | 9. NPO 団体 |
| 2. 老人会 | 6. PTA | 10. ボランティア活動団体 |
| 3. 子ども会 | 7. 婦人会 | 11. どれにも所属していない |
| 4. コミュニティ・スクール | 8. 青少年団体 (ボーイスカウト等) | 12. その他 (具体的に) |

問25 活動を行う機会・場所が十分にあると思いますか。

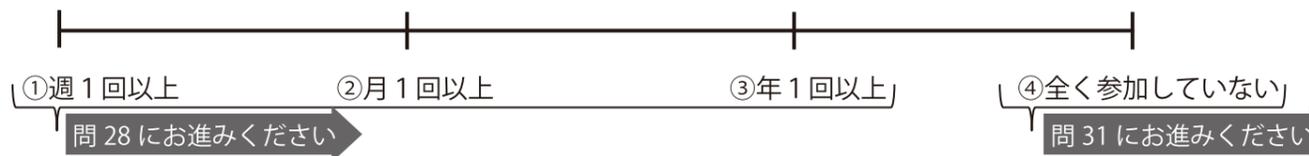


問26 活動に参加する人が十分にいますか。



以降の設定では、あなたが参加している活動のうち、お住まいの地域にとらわれない活動 (問 18~26 の活動ではない) の状況と、それに対する考えについてうかがいます。

問27 活動にどの程度参加していますか。



問28 参加している活動はどのようなものですか。(あてはまるもの全てに○)

- | | | |
|--------------|--------------|--------------------------|
| 1. まちづくり | 8. 食 | 15. ファッション・美容 |
| 2. アウトドア | 9. 文化・伝統 | 16. ペット・動物 |
| 3. IT・テクノロジー | 10. 旅行・観光 | 17. 交流・コミュニケーション |
| 4. 健康・福祉 | 11. 国際協力・語学 | 18. 芸術・アート・デザイン |
| 5. 子ども・教育 | 12. 音楽 | 19. スポーツ (フィットネス・ダンスを含む) |
| 6. 写真 | 13. 映画 | 20. その他 (具体的に) |
| 7. 本 | 14. ものづくり・工作 | |

問29 活動に関する情報をどのように得ましたか。(○は3つまで)

- | | | |
|-------------|---------------|-----------------|
| 1. チラシ・ポスター | 4. SNS | 7. テレビ、ラジオ、広報番組 |
| 2. 雑誌・広報誌 | 5. HP | 8. その他 (具体的に) |
| 3. 友人・知人 | 6. 情報コーナーや掲示板 | |

問30 参加している理由は何ですか。(○は3つまで)

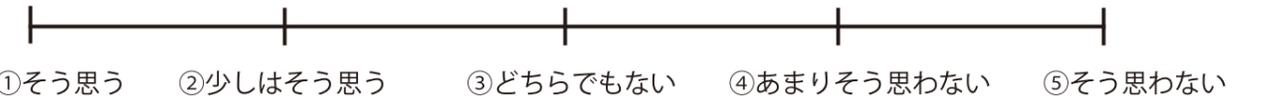
- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 活動に興味があった | 6. 活動に対する時間的負担が少なかった |
| 2. 人とのつながりが欲しかった | 7. 体力的に無理なく活動できそう |
| 3. 知り合いが参加している | 8. 自身のスキルや経験を活かせると感じた |
| 4. 活動内容や参加方法について情報を得た | 9. 特に理由はない |
| 5. 活動に対する金銭的負担が少なかった | 10. その他 (具体的に) |

問 32 にお進みください

問31 参加していない理由は何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| 1. 興味のある活動がない | 6. 活動に対する時間的負担がある |
| 2. 人間関係がわずらわしい | 7. 体力面で負担を感じる |
| 3. 知り合いや一緒に参加する仲間がない | 8. 自身のスキルや経験が足りないと感じる |
| 4. 内容や参加方法など活動に関する情報がない | 9. 特に理由はない |
| 5. 活動に対する金銭的負担がある | 10. その他 (具体的に) |

問32 今後 (も)、活動に参加したいと思いますか。



問33 今後 (も)、参加するとすればどのような活動に興味がありますか。(○は3つまで)

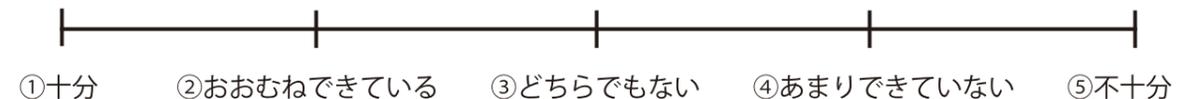
- | | | |
|--------------|---------------|--------------------------|
| 1. まちづくり | 9. 文化・伝統 | 17. 交流・コミュニケーション |
| 2. アウトドア | 10. 旅行・観光 | 18. 芸術・アート・デザイン |
| 3. IT・テクノロジー | 11. 国際協力・語学 | 19. スポーツ (フィットネス・ダンスを含む) |
| 4. 健康・福祉 | 12. 音楽 | 20. その他 (具体的に) |
| 5. 子ども・教育 | 13. 映画 | 21. 具体的な活動内容はまだ考えていない |
| 6. 写真 | 14. ものづくり・工作 | 22. 特に取り組みたいとは思わない |
| 7. 本 | 15. ファッション・美容 | |
| 8. 食 | 16. ペット・動物 | |

5 | 市民参画協働施策に対する意識・行動 についてうかがいます

問34 市民参画協働においてどのような機会を行政に求めますか。(○は3つまで)

1. 市民間の交流を促進する機会
2. 市民が地域での活動について行政に相談できる機会 (負担や不安の解消)
3. 市民が地域社会への関心を高めるための情報を得る機会 (地域住民の意識啓発)
4. 研修や学習会など人材育成・スキルアップの場
5. その他 (具体的に)

問35 市政に関する行政からの情報提供は十分だと思いますか。



問36 下記それぞれについて、市民参画協働についてどの程度知っているかを選んでください。

リードあしや（あしや市民活動センター）

- 1. 知っており、何度も行ったことがある
- 2. 知っており、1、2回行ったことがある
- 3. 知っているが、行ったことがない
- 4. 知らない

パブリックコメント制度（市民意見募集）

（市が施策を策定するにあたり広く市民の意見を求め、その意見に対する市の考えなどを公表する手続き）

- 1. 知っており、意見を提出したことがある
- 2. 知っているが、意見を提出したことがない
- 3. 知らない

問37 市政に対して市民の声を届ける機会が十分にあると思いますか。



- ① そう思う
- ② 少しはそう思う
- ③ どちらでもない
- ④ あまりそう思わない
- ⑤ そう思わない

問38 市民参画協働を必要だと思いませんか。



- ① 必要
 - ② おおむね必要
 - ③ どちらでもない
 - ④ あまり必要でない
 - ⑤ 不必要
- 問39にお進みください → 問41にお進みください → 問40にお進みください →

問39 必要だと思う理由は何ですか。（○は3つまで）

- 1. 市民、行政それぞれでは解決が難しい課題に対応するため
- 2. 個別地域の課題解決や多様な市民ニーズに対応するため
- 3. 互いに協働する方が施策が円滑に実施されるため
- 4. 市の行財政の負担が軽減されるため
- 5. 市民自治に対する市民の意識の高まりに対応するため
- 6. 市民自治に対する市民の意識の高まりを促進するため
- 7. その他（具体的に）

問41にお進みください →

問40 不要だと思う理由は何ですか。（○は3つまで）

- 1. 時間や手間がかかり非効率だから
- 2. 市民や団体の力がまだ育っていないため
- 3. 市の行財政の負担軽減につながらないため
- 4. 市民の側の負担が増大するため
- 5. 公的な事業は市が行うべきだから
- 6. 事業に対する責任の所在がはっきりしないから
- 7. その他（具体的に）

問41 市民参画協働に対する意見をご自由にお書きください。

最後までアンケートにご回答いただきまして、誠にありがとうございました。
お手数ですが、同封の返信用封筒にて3月15日（金）までにご投函ください。切手は不要です。

発行日 | 2019年3月

発行者 | 芦屋市企画部市民参画課

住所 | 〒659-8501 芦屋市精道町7番6号

TEL | 0797-38-2007

FAX | 0797-38-2004

E-mail | shiminsankaku@city.ashiya.lg.jp